

# 地域コミュニティに関するアンケート 調査結果報告書

平成 24 年 3 月

地域コミュニティ活性化検討会・津島市

## 目 次

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査期間	1
	(4) 調査方法	1
	(5) 回収状況	1
	(6) 調査結果の表示方法	1
2	調査結果の概要（校区別）	2
3	調査結果	5
	(1) 住民調査	5
	(2) 町内会長・嘱託員調査	56
	(3) アンケート調査票	105



# 1 調査概要

## (1) 調査の目的

地域住民、町内会を対象に、地域コミュニティに関するアンケートを実施し、その分析結果を、今後、地域コミュニティ施策を検討していくための基礎資料として活用することを目的としています。

## (2) 調査対象

住民 市内在住の20歳以上2,000人を無作為抽出  
町内会長・囑託員 市内220町内会

## (3) 調査期間

平成23年10月17日から11月4日まで

## (4) 調査方法

住民 郵送による配布・回収  
町内会長・囑託員 調査員による聞き取り調査・回収

## (5) 回収状況

調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率
住民	2,000通	895通	44.8%
町内会長・囑託員	220通	162通	73.6%

## (6) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

### ○住んでいる地域の土地柄について

- ・ 「庶民的で、うちとけやすい」の割合が3割以上の校区は、東小学校区（39.0%）、西小学校区（37.5%）、南小学校区（31.0%）、北小学校区（30.5%）蛭間小学校区（35.7%）。
- ・ 「お互い無関心で、よそよそしい」の割合が高いのは、北小学校区（21.0%）、東小学校区（19.5%）。

### ○自分の住んでいる地域の愛着について

- ・ 愛着がある（「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた）の割合が7割以上の校区は、西小学校区（75.0%）。

### ○地域のために、何か役立つことがしたいかについて

- ・ したいことがある（「したいことが具体的にある（または現在している）」と「何かをしたいと考えている」を合わせた）の割合が高いのは、神島田小学校区（40.0%）。

### ○10年前と比較した地域のつながりについて

- ・ 弱くなっている（「やや弱くなっている」と「弱くなっている」を合わせた）の割合が3割以上の校区は、西小学校区（30.8%）、南小学校区（33.0%）、北小学校区（30.5%）、高台寺小学校区（31.0%）、神島田小学校区（31.6%）。

### ○つながりが弱くなっていると思う理由について

- ・ 東小学校区は「人々の地域に対する親近感の薄れ」（45.2%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（41.9%）。
- ・ 西小学校区は「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（56.3%）、「人々の地域に対する親近感の薄れ」（40.6%）。
- ・ 南小学校区は「地域のつながりを培うリーダーが少なくなった」（51.5%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（45.5%）。
- ・ 北小学校区は、「他人の関与を歓迎しない人が増えた」（43.8%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（43.8%）。
- ・ 神守小学校区は「人々の地域に対する親近感の薄れ」（50.0%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（36.7%）。
- ・ 蛭間小学校区は「地域のつながりを培うリーダーが少なくなった」（76.2%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（61.9%）。
- ・ 高台寺小学校区は「人々の地域に対する親近感の薄れ」（48.6%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（48.6%）。
- ・ 神島田小学校区は「人々の地域に対する親近感の薄れ」（53.3%）、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」（43.3%）。

### ○今後の隣近所との付き合いについて

- ・ 「あまりつきあいたくない」の割合が1割以上の校区は、北小学校区（12.4%）、神守小学校区（10.8%）、蛭間小学校区（10.4%）。

### ○地域の中に信頼して相談できる人の有無について

- ・ 「同じ地域にはひとりもいない」の割合が2割以上の校区は、東小学校区（22.8%）、北小学校区（21.0%）。

### ○信頼感や助け合い意識を高めるために効果的なもの

- ・ すべての校区で「ふだんからあいさつや声かけをする」の割合が高い。

### ○住まいで満足している点について

- ・ 「特になし」の割合が高い校区は、南小学校区（32.0%）、神守小学校区（31.7%）、蛭間小学校区（30.4%）、高台寺小学校区（38.9%）、神島田小学校区（44.2%）。
- ・ 東小学校区は「お店が近くにあり、生活しやすい」（47.2%）。
- ・ 西小学校区は「公園など、公共の広場が多い」（17.3%）。
- ・ 南小学校区は「お店が近くにあり、生活しやすい」（29.0%）。
- ・ 北小学校区は「お店が近くにあり、生活しやすい」（48.6%）。
- ・ 神守小学校区は「お店が近くにあり、生活しやすい」（27.5%）。
- ・ 蛭間小学校区は「電車・バス等、交通の便がよい」（17.4%）。
- ・ 高台寺小学校区は「幹線道路があり、車での移動がしやすい」（18.6%）。
- ・ 神島田小学校区は「お店が近くにあり、生活しやすい」（21.1%）。

### ○地域で取り組むべき課題について

- ・ すべての校区で、「地域の防犯、治安の向上」「防災・防火、災害時の対応」の割合が高い。
- ・ 最も優先すべき課題について、「防災・防火、災害時の対応」の割合が高い校区は、東小学校区（33.3%）、西小学校区（28.8%）、南小学校区（30.0%）、北小学校区（23.8%）、神守小学校区（22.5%）、蛭間小学校区（31.3%）、神島田小学校区（29.5%）。
- ・ 最も優先すべき課題について、「地域の防犯、治安の向上」の割合が高い校区は、高台寺小学校区（25.7%）。

### ○町内会の行事や活動への参加程度について

- ・ 「加入はしているが、行事や活動には参加していない」の割合が高い校区は、東小学校区（38.7%）、南小学校区（37.5%）。

### ○町内会の行事や活動等に参加して得たことについて

- ・すべての校区で「さまざまな人とのつながりができた」の割合が高い。
- ・「特に得るものはなかった」の割合が高い校区は、東小学校区（22.6%）、西小学校区（20.7%）、南小学校区（22.7%）、北小学校区（23.2%）、神守小学校区（20.8%）。

### ○これまで行っている活動やこれから行ってみたい活動について

- ・東小学校区は「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（19.5%）、「健康づくり・医療に関わる活動」「防犯、防災、交通安全に関わる活動」（18.7%）。
- ・西小学校区は「高齢者に関わる活動」（24.0%）、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（23.1%）。
- ・南小学校区は「防犯、防災、交通安全に関わる活動」（28.0%）、「健康づくり・医療に関わる活動」（22.0%）。
- ・北小学校区は「高齢者に関わる活動」（21.9%）、「防犯、防災、交通安全に関わる活動」（19.0%）。
- ・神守小学校区は「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（30.8%）、「健康づくり・医療に関わる活動」（23.3%）。
- ・蛭間小学校区は「防犯、防災、交通安全に関わる活動」（34.8%）、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（20.9%）。
- ・高台寺小学校区は「健康づくり・医療に関わる活動」（23.0%）、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（23.0%）。
- ・神島田小学校区は「高齢者に関わる活動」（25.3%）、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」（25.3%）。

### ○コミュニティ推進協議会の認知度について

- ・「聞いたことがなく、知らない」の割合が4割以上の校区は、南小学校区（45.0%）、神島田小学校区（40.0%）。

### ○コミュニティ推進協議会への期待する活動について

- ・すべての校区で「犯罪防止活動（防犯パトロールなど）」「災害時の対策（防災訓練など）」の割合が高い。

### 3 調査結果

#### (1) 住民調査

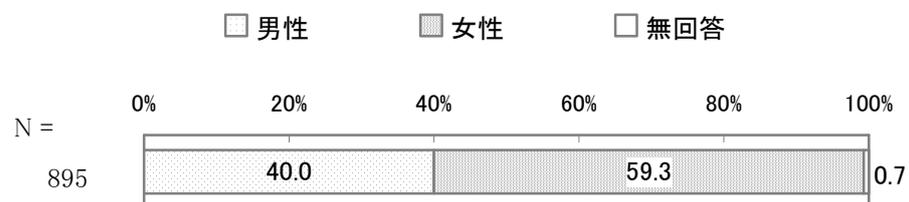
##### 調査項目

区分	質問項目	
回答者属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	世帯構成
	問4	子どもの年代
	問5	住んでいる校区
	問6	居住年数
	問7	住まいの形態
	問8	就労形態
居住地域について	問9	住んでいる地域の土地柄
	問10	地域への愛着の有無
	問11	地域への貢献の意向
	問12	10年前と比較した地域のつながりの状況
	問12-1	地域のつながりが弱くなっている理由
近所関係や日頃のつきあいについて	問13	隣近所とのつきあいの状況
	問14	隣近所とのつきあいに対する意向
	問15	助け合える人や信頼して相談できる人の有無
地域への満足度について	問16	住民同士の信頼感等を高めるために必要なきっかけ
	問17	地域に対して満足している点
住まいの地域で取り組むべき課題について	問18	地域として取り組むべき課題
	問19	最も優先すべき課題
	問20	地域として取り組むべき課題の解決方法
	問21	居留意向
町内会をはじめとした地域住民組織・団体について	問22	町内会の加入状況
	問22-1	町内会の行事や活動等への参加状況
	問22-2	町内会の行事や活動等への参加で得た点
	問22-3	町内会を辞めた理由
	問22-4	町内会への未加入の理由
	問23	P T A や子ども会、老人クラブ等団体役員の経験の有無
	問23-1	役員を経験して感じた問題点、やってよかった点、
	問23-2	役員を経験して得た点
	問24	今後行いたい活動
	問25	成果があがってきた活動
	問26	コミュニティ推進活動協議会の認知度
	問27	コミュニティ推進活動協議会に期待する活動
	問28	コミュニティ推進活動協議会に期待する意見
問29	津島市の情報入手方法	
	自由意見	

## ア 回答者属性

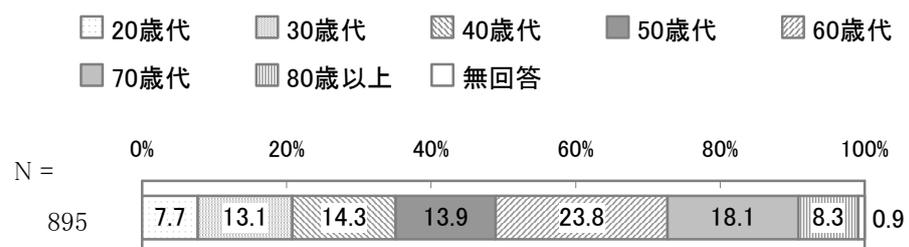
### 問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つだけ)

「男性」の割合が40.0%、「女性」の割合が59.3%となっています。



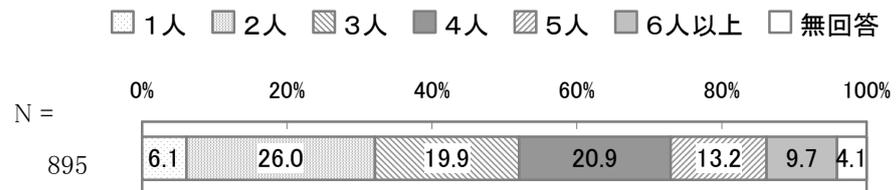
### 問2 あなたの年齢を教えてください。(10月1日現在)

「60歳代」の割合が23.8%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が18.1%、「40歳代」の割合が14.3%となっています。

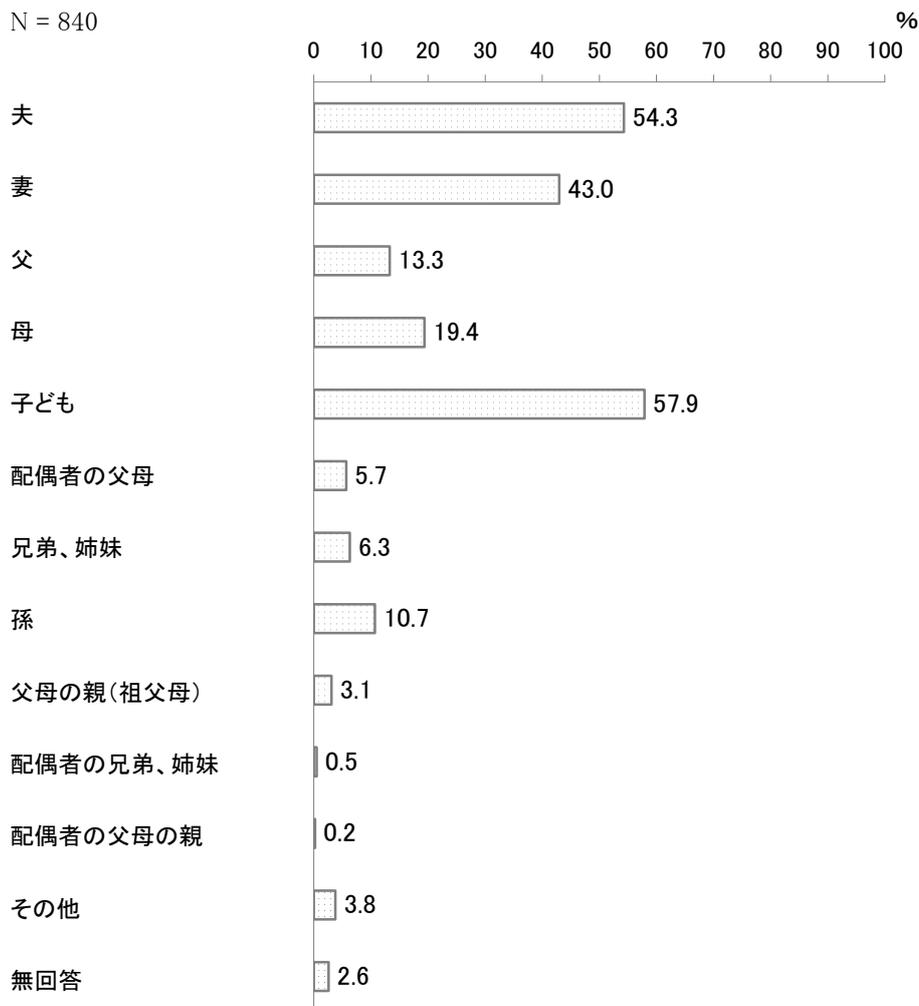


問3 あなたの世帯は何人家族ですか。ご自分を含めた人数を（ ）内にご記入ください。また、ひとり暮らし以外の方は、同居している家族すべてに○をつけてください。あなたからみた続柄でお答えください。

「2人」の割合が26.0%と最も高く、次いで「4人」の割合が20.9%、「3人」の割合が19.9%となっています。

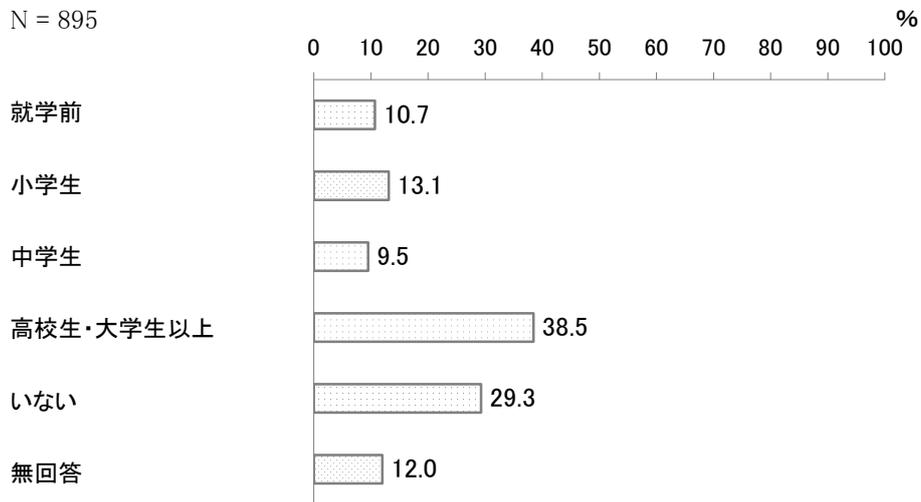


同居している家族については、「子ども」の割合が57.9%と最も高く、次いで「夫」の割合が54.3%、「妻」の割合が43.0%となっています。



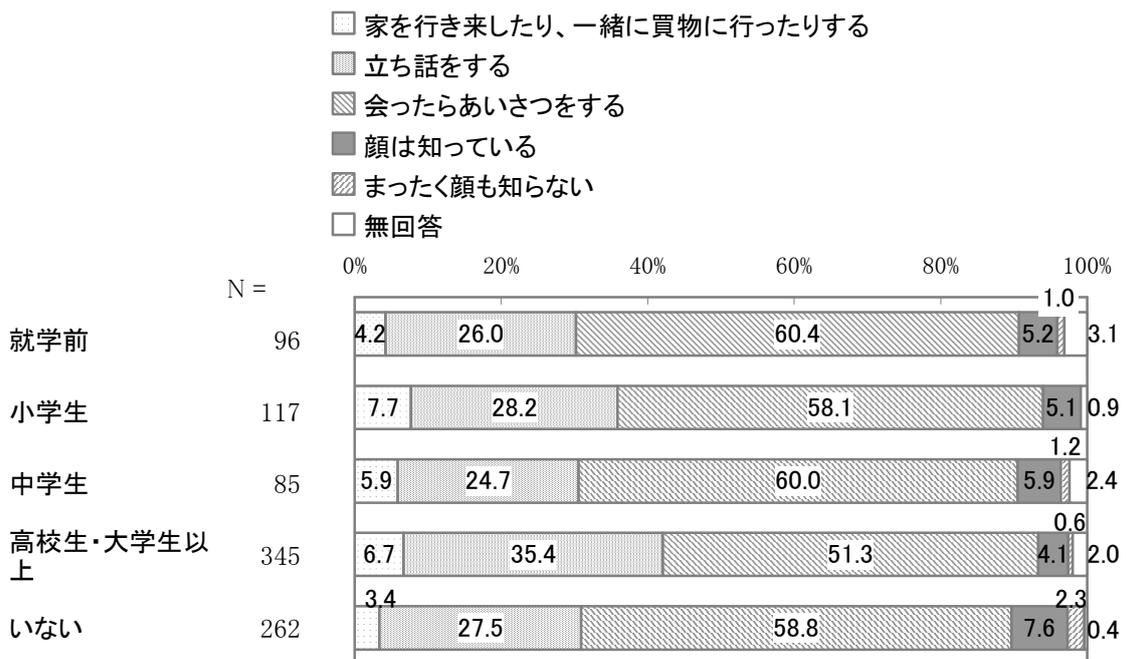
問4 どの年代のお子さんがいらっしゃいますか。  
(○はあてはまるものすべて)

「高校生・大学生以上」の割合が38.5%と最も高く、次いで「いない」の割合が29.3%、「小学生」の割合が13.1%となっています。



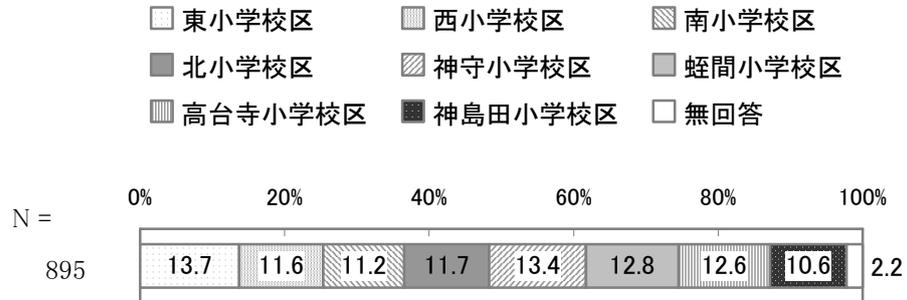
【近所づきあいの程度について】

子どもの有無と近所づきあいの関係性をみると、子どもがいる人に比べ、いない人で、「顔は知っている」「まったく顔も知らない」をあわせた、近所づきあいがない人の割合が高く、約1割となっています。



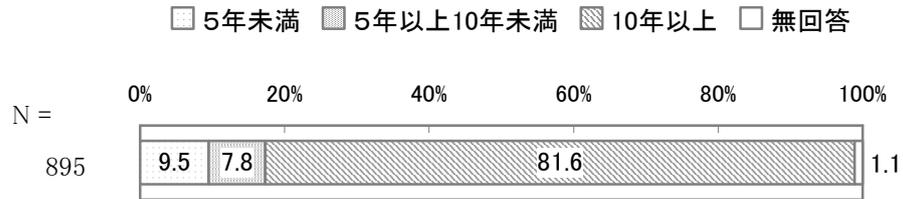
**問5 現在のお住まいの校区はどこですか。(〇は1つだけ)**

「東小学校区」の割合が13.7%と最も高く、次いで「神守小学校区」の割合が13.4%、「蛭間小学校区」の割合が12.8%となっています。



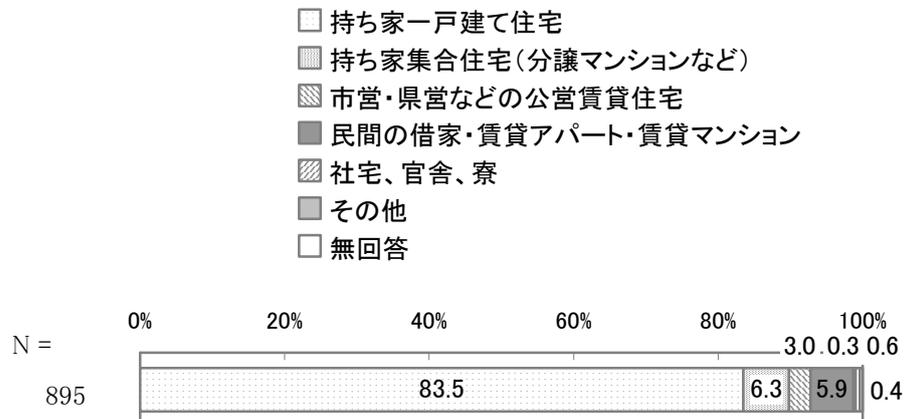
**問6 その校区に住むようになって、今年で何年目になりますか。**

「10年以上」の割合が81.6%と最も高く、次いで「5年未満」の割合が9.5%、「5年以上10年未満」の割合が7.8%となっています。



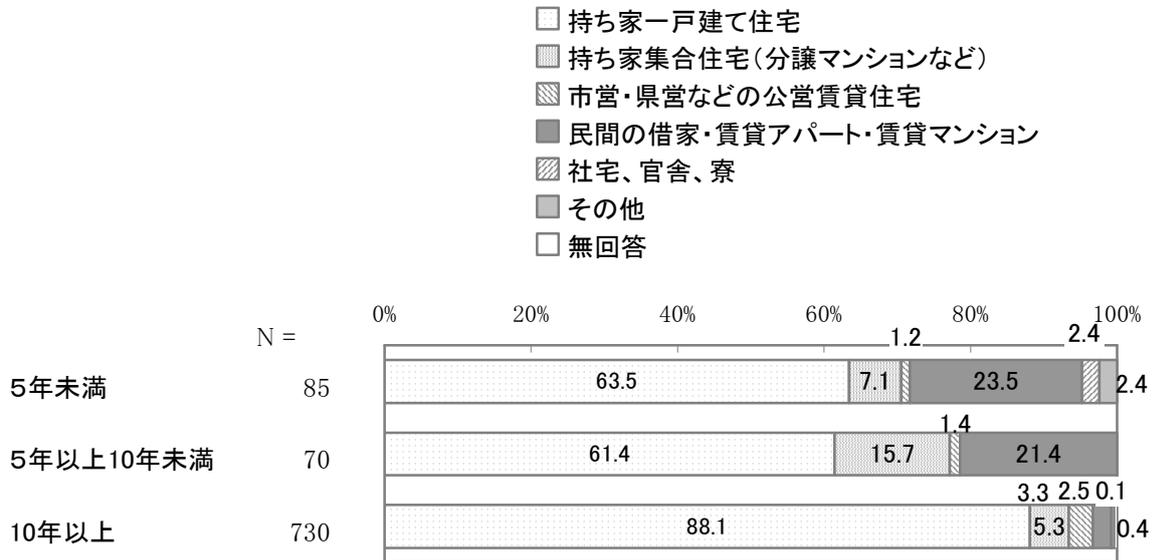
**問7 お住まいは、以下のどれに該当しますか。(〇は1つだけ)**

「持ち家一戸建て住宅」の割合が83.5%と最も高く、次いで「持ち家集合住宅(分譲マンションなど)」の割合が6.3%、「民間の借家・賃貸アパート・賃貸マンション」の割合が5.9%となっています。



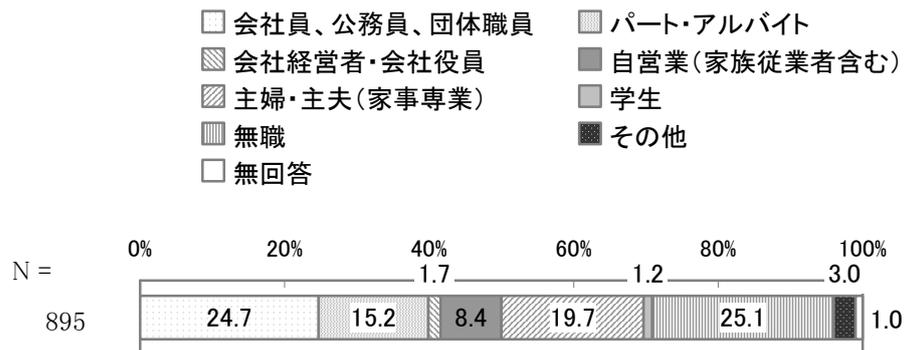
### 【居住年数別】

居住年数別にみると、居住年数が短いほど、「民間の借家・賃貸アパート・賃貸マンション」の割合が高くなっています。



### 問8 現在、何をなされていますか。(〇は1つだけ)

「無職」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「会社員、公務員、団体職員」の割合が 24.7%、「主婦・主夫(家事専業)」の割合が 19.7%となっています。

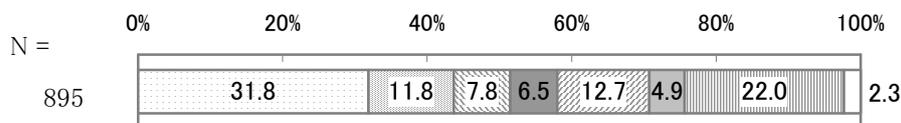


## イ 居住地域について

問9 住んでいる地域の土地柄について、どのように感じていますか。  
(○は1つだけ)

「庶民的で、うちとけやすい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.0%、「お互い無関心で、よそよそしい」の割合が12.7%となっています。

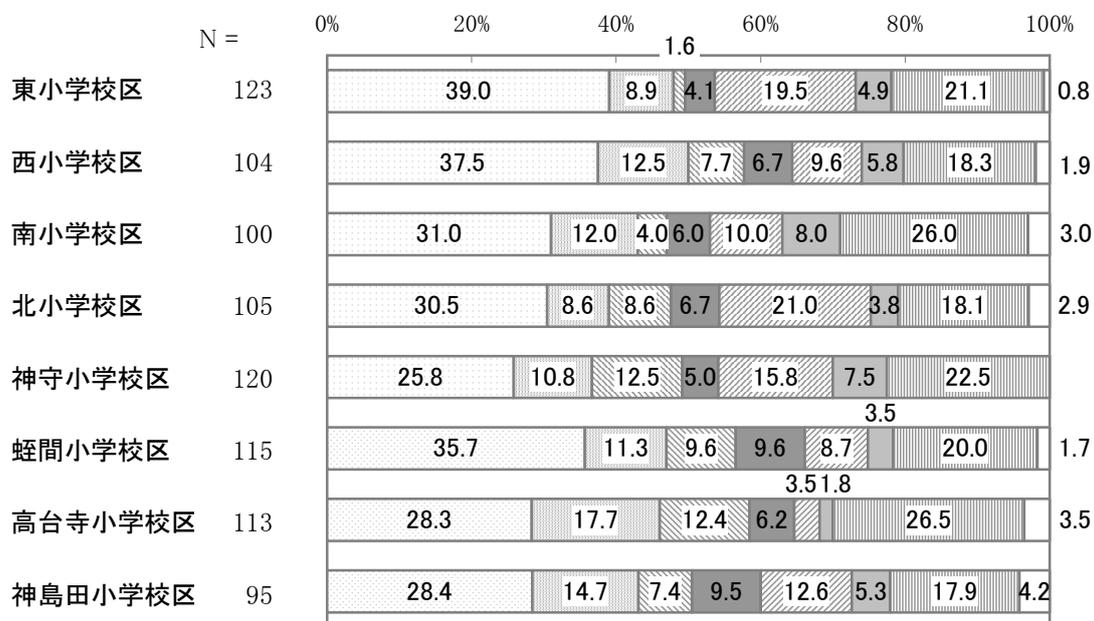
- 庶民的で、うちとけやすい
- なにかと相談しあい、助け合う
- ▨ お互いが干渉しあい、ややうるさい
- 権利意識が強く、自分本位の感じ
- ▨ お互い無関心で、よそよそしい
- その他
- わからない
- 無回答



### 【校別】

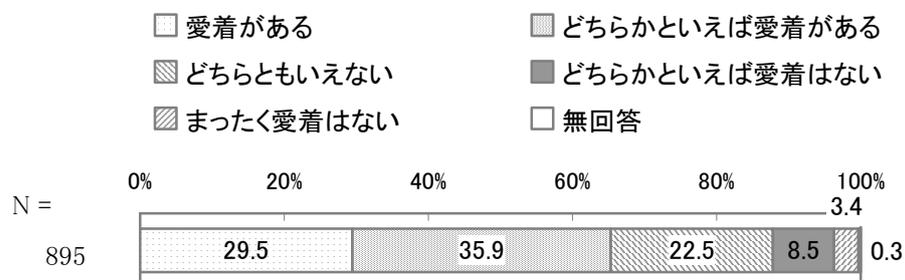
「庶民的で、うちとけやすい」の割合が3割以上の校別は、東小学校区 (39.0%)、西小学校区 (37.5%)、南小学校区 (31.0%)、北小学校区 (30.5%) 蛭間小学校区 (35.7%) となっています。

「お互い無関心で、よそよそしい」の割合が高いのは、北小学校区 (21.0%)、東小学校区 (19.5%) となっています。



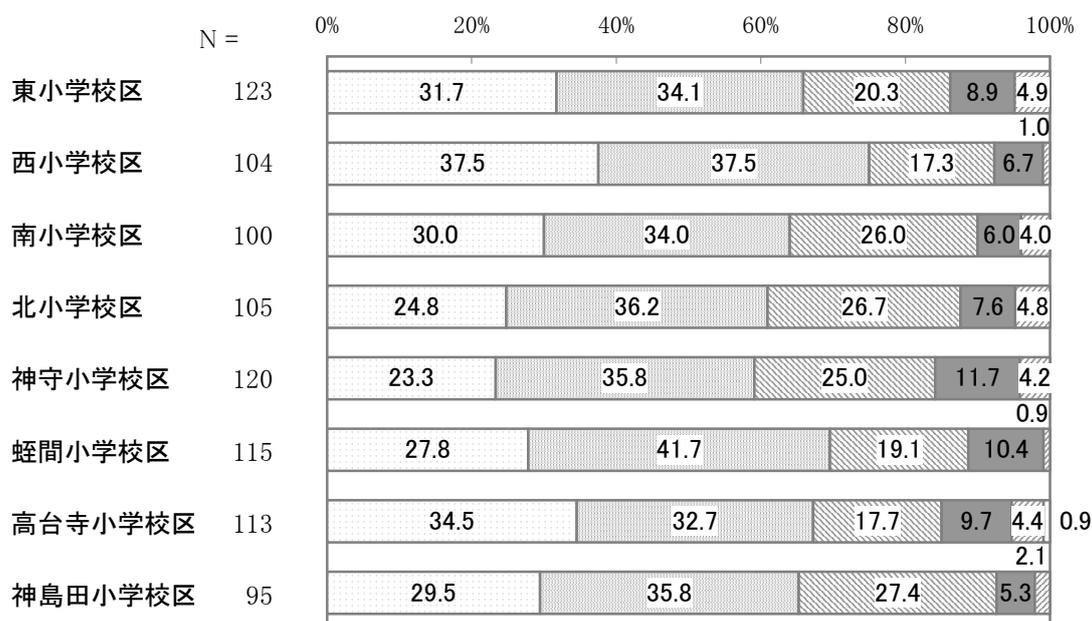
### 問10 自分の住んでいる地域に愛着がありますか。(〇は1つだけ)

「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」をあわせた愛着がある人の割合が65.4%、「どちらかといえば愛着はない」と「まったく愛着はない」をあわせた愛着がない人の割合が11.9%となっています。



#### 【校區別】

愛着がある（「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた）の割合が7割以上の校区は、西小学校区（75.0%）となっています。

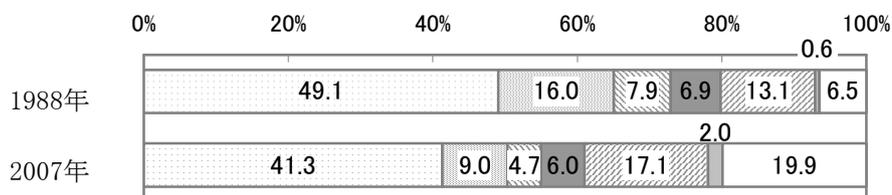


【参考資料】（平成 19 年度国民生活白書より）

問 あなたが住んでおられる地域の土地柄について、どのように感じていますか。次の中からお答えください。（○は1つ）

お互いに関心で、よそよそしい地域が増えている

- 庶民的で、うちとけやすい感じ
- なにかと相談しあい、助け合う感じ
- お互いが干渉しあい、ややうるさい感じ
- 権利意識が強く、自分本位の感じ
- お互い無関心で、よそよそしい感じ
- その他
- わからない・無回答

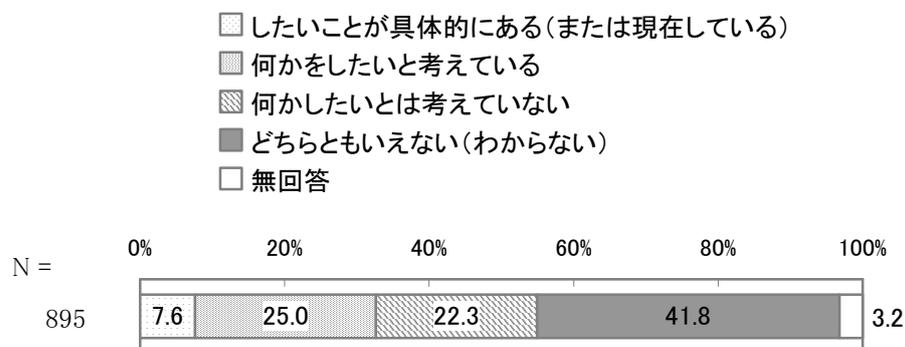


【備考】

1. 内閣府「家庭と地域の教育力に関する世論調査」（1988年）、「国民生活選好度調査」（2007年）により作成。
2. 「あなたが住んでおられる地域の土地柄について、どのように感じていますか。次の中からお答えください。（○は1つ）」という問いに対し、回答した人の割合。
3. 回答者は、1988年は全国の20歳以上の者2,281人。2007年は全国の20歳以上80歳未満の男女3,213人。

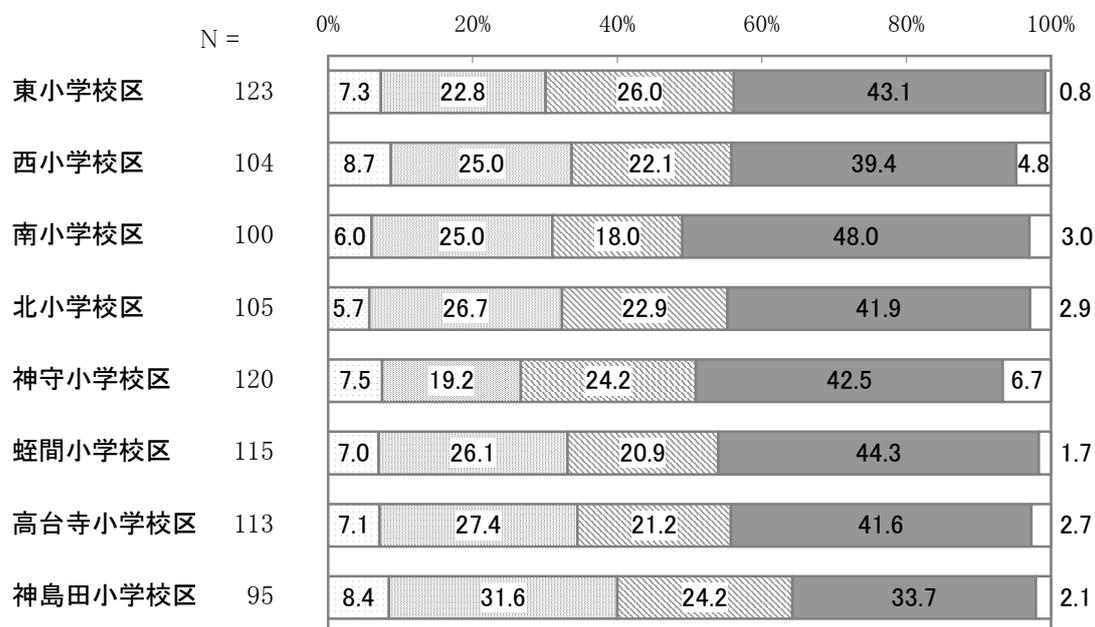
問11 この地域のために、何か役立つことがしたいと思いますか。  
(○は1つだけ)

「どちらともいえない(わからない)」の割合が41.8%と最も高く、次いで「何かをしたいと考えている」の割合が25.0%、「何かしたいとは考えていない」の割合が22.3%となっています。



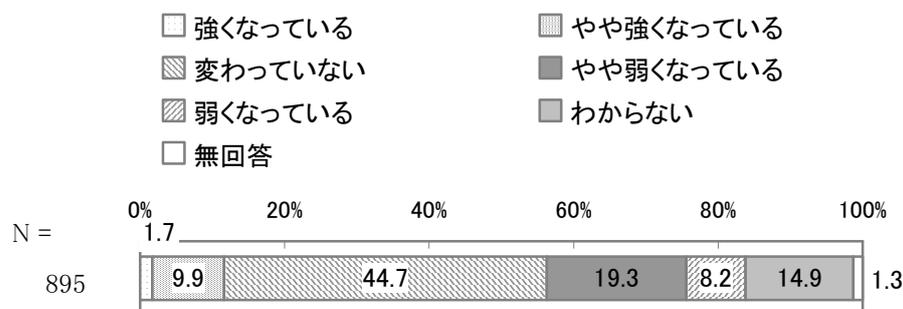
【校別】

したいことがある(「したいことが具体的にある(または現在している)」と「何かをしたいと考えている」を合わせた)の割合が高いのは、神島田小学校区(40.0%)となっています。



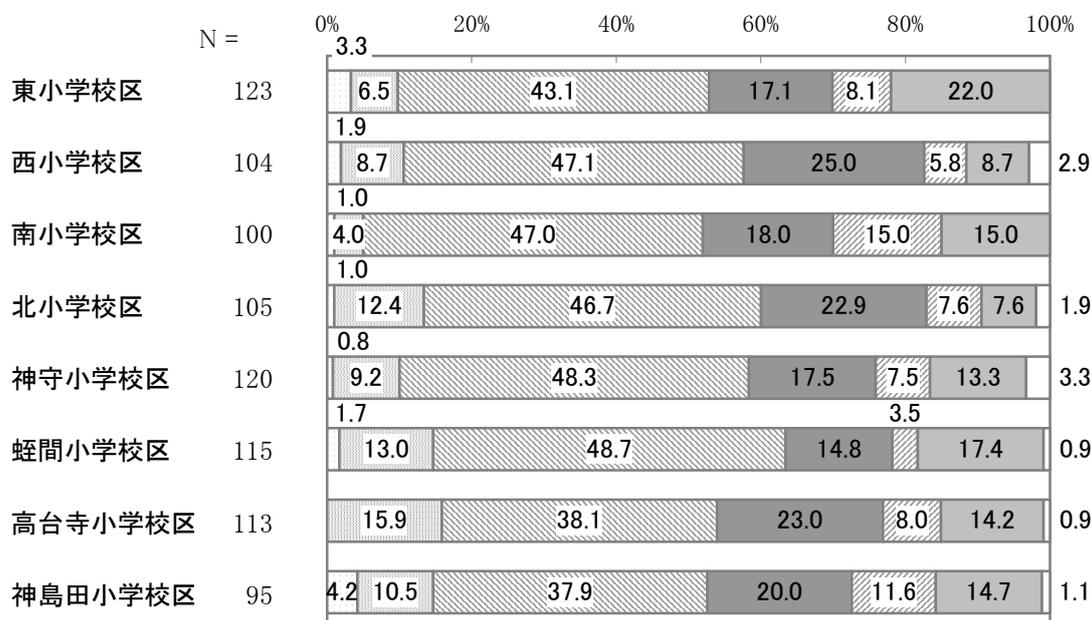
問12 あなたが住んでいる地域のつながりは、10年前と比べてどうですか。  
10年間住んでいない方も、想定してお答えください。(〇は1つだけ)

「強くなっている」と「やや強くなっている」をあわせた強くなっていると感じている人の割合が11.6%、「やや弱くなっている」と「弱くなっている」をあわせた弱くなっていると感じている人の割合が27.5%となっています。



【校区别】

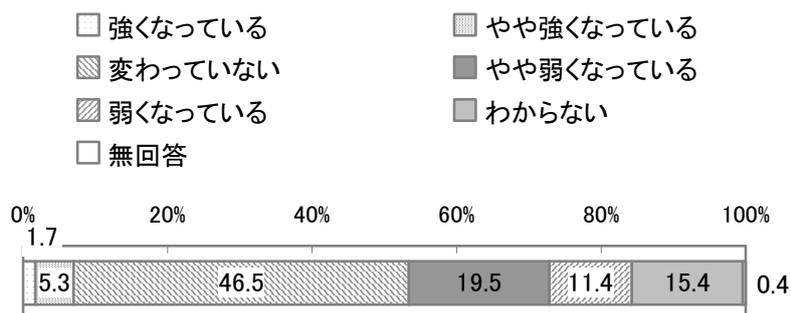
弱くなっている（「やや弱くなっている」と「弱くなっている」を合わせた）の割合が3割以上の校区は、西小学校区（30.8%）、南小学校区（33.0%）、北小学校区（30.5%）、高台寺小学校区（31.0%）、神島田小学校区（31.6%）となっています。



【参考資料】（平成 19 年度国民生活白書より）

問 あなたが住んでおられる地域のつながりは、10年前と比べてどのようになっているとお考えですか。10年間住んでいない方も想定してお答えください。（○は1つ）

地域のつながりは10年前に比べて弱くなっていると考える人が約3割



【備考】

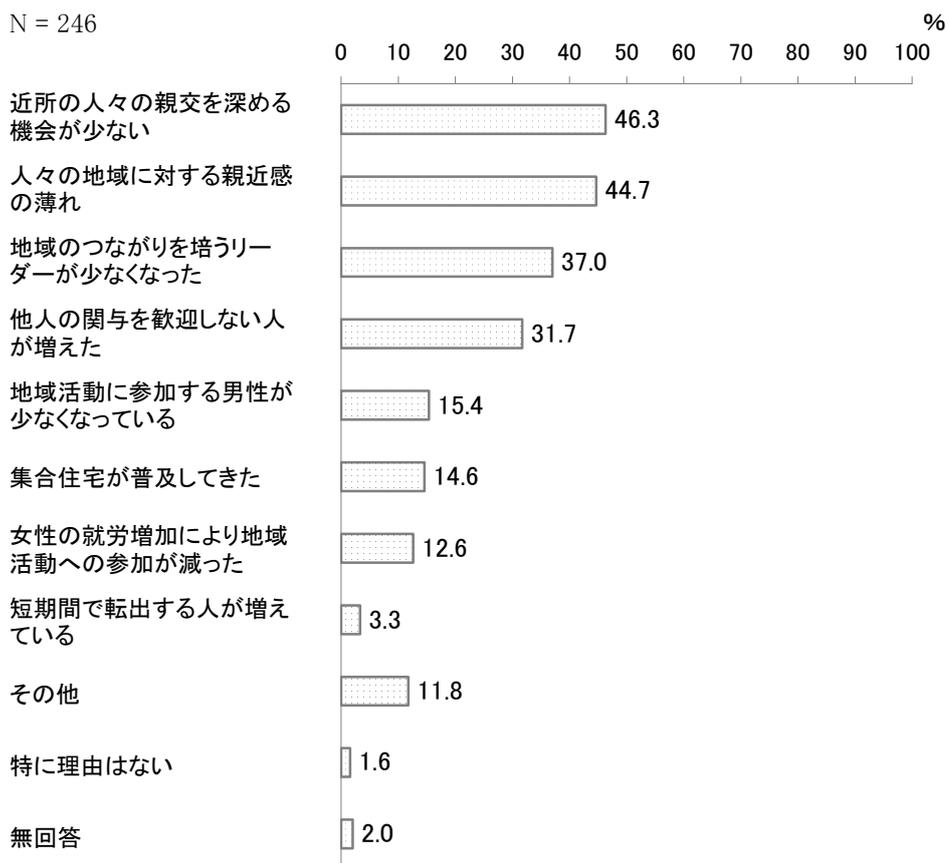
1. 内閣府「国民生活選好度調査」（2007年）により作成。
2. 「あなたが住んでおられる地域のつながりは、10年前と比べてどのようになっているとお考えですか。10年間住んでいない方も想定してお答えください。（○は1つ）」という問に対し、回答した人の割合。
3. 回答者は、全国の15歳以上80歳未満の男女3,383人。

問12で「やや弱くなっている」「弱くなっている」と回答された方にお聞きします。

問12-1 地域のつながりが弱くなっていると思う理由は何ですか。  
(○は3つまで)

「近所の人々の親交を深める機会が少ない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「人々の地域に対する親近感の薄れ」の割合が44.7%、「地域のつながりを培うリーダーが少なくなった」の割合が37.0%となっています。

N = 246



## 【校區別】

東小学校区で割合が高いのは、「人々の地域に対する親近感の薄れ」(45.2%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(41.9%)。

西小学校区で割合が高いのは、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(56.3%)、「人々の地域に対する親近感の薄れ」(40.6%)。

南小学校区で割合が高いのは、「地域のつながりを培うリーダーが少なくなった」(51.5%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(45.5%)

北小学校区で割合が高いのは、「他人の関与を歓迎しない人が増えた」(43.8%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(43.8%)

神守小学校区で割合が高いのは、「人々の地域に対する親近感の薄れ」(50.0%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(36.7%)

蛭間小学校区で割合が高いのは、「地域のつながりを培うリーダーが少なくなった」(76.2%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(61.9%)

高台寺小学校区で割合が高いのは、「人々の地域に対する親近感の薄れ」(48.6%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(48.6%)

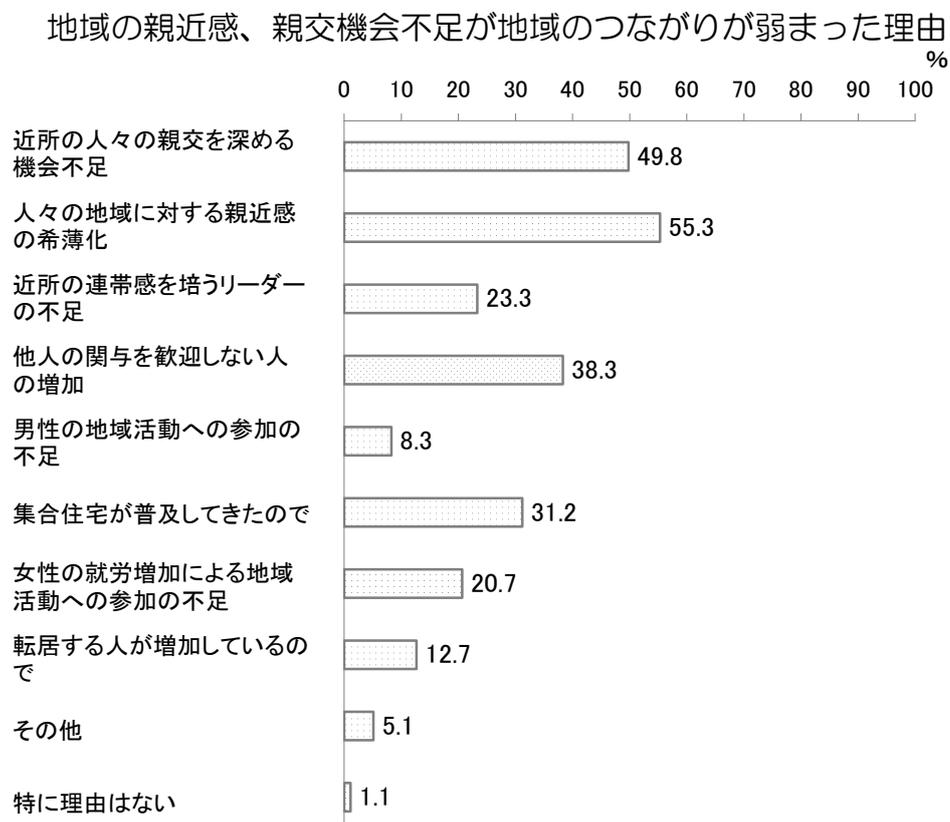
神島田小学校区で割合が高いのは、「人々の地域に対する親近感の薄れ」(53.3%)、「近所の人々の親交を深める機会が少ない」(43.3%)

単位：%

区分	有効回答数(件)	近所の人々の親交を深める機会が少ない	人々の地域に対する親近感の薄れ	地域のつながりを培うリーダーが少なくなった	他人の関与を歓迎しない人が増えた	地域活動に参加する男性が少なくなっている	集合住宅が普及してきた	域活動への参加が減った	女性の就労増加により地域活動への参加が減った	短期間で転出する人が増えている	その他	特に理由はない	無回答
東小学校区	31	41.9	45.2	25.8	35.5	12.9	22.6	22.6	6.5	6.5	—	6.5	
西小学校区	32	56.3	40.6	34.4	25.0	18.8	12.5	15.6	6.3	12.5	—	3.1	
南小学校区	33	45.5	42.4	51.5	24.2	15.2	12.1	9.1	3.0	18.2	—	—	
北小学校区	32	43.8	40.6	34.4	43.8	15.6	21.9	12.5	9.4	6.3	9.4	—	
神守小学校区	30	36.7	50.0	26.7	30.0	3.3	20.0	10.0	—	20.0	3.3	3.3	
蛭間小学校区	21	61.9	28.6	76.2	23.8	33.3	23.8	—	—	4.8	—	—	
高台寺小学校区	35	48.6	48.6	28.6	34.3	17.1	—	14.3	—	14.3	—	—	
神島田小学校区	30	43.3	53.3	26.7	36.7	13.3	10.0	10.0	—	10.0	—	3.3	

【参考資料】（平成 19 年度国民生活白書より）

問 地域のつながりが弱くなっていると思う理由は何ですか。お考えに合うものを3つまでお答えください。（〇は3つまで）



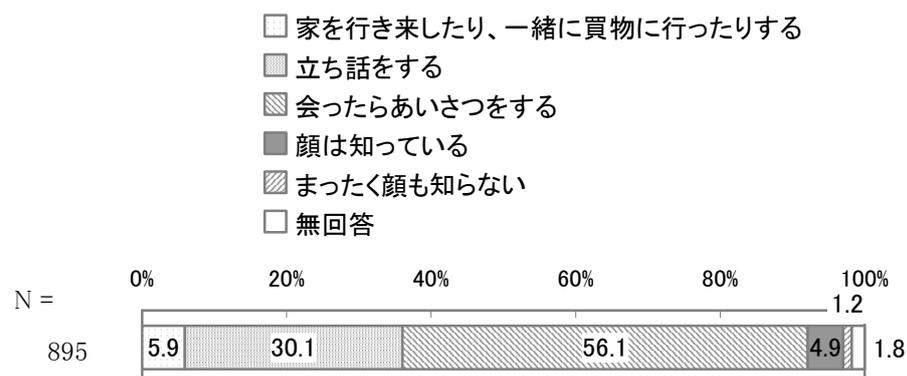
【備考】

1. 内閣府「国民生活選好度調査」（2007年）により作成。
2. 「あなたが住んでおられる地域のつながりは、10年前と比べてどのようになっているとお考えですか。10年間住んでいない方も想定してお答えください。（〇は1つ）」という問いに対し、「やや弱くなっている」、「弱くなっている」と答えた人に、「地域のつながりが弱くなっていると思う理由は何ですか。お考えに合うものを3つまでお答えください。（〇は3つまで）」と尋ね、回答した人の割合。
3. 回答者は、全国の15歳以上80歳未満の男女1,042人。

## ウ 近所関係や日頃のつきあいについて

問13 あなたはふだん、隣近所の方と、どの程度のおつきあいをなさっていますか。(○は1つだけ)

「会ったらあいさつをする」の割合が56.1%と最も高く、次いで「立ち話をする」の割合が30.1%、「家を行き来したり、一緒に買物に行ったりする」の割合が5.9%となっています。

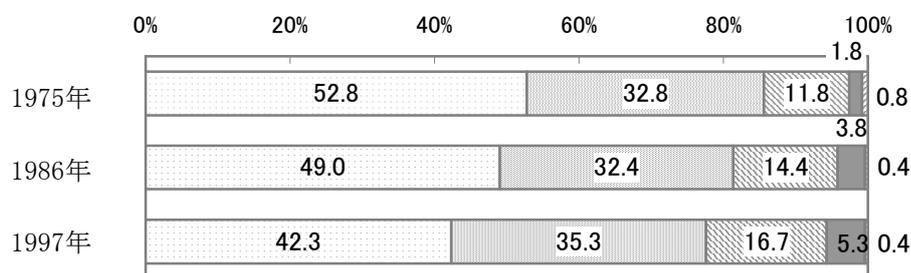


【参考資料】（平成 19 年度国民生活白書より）

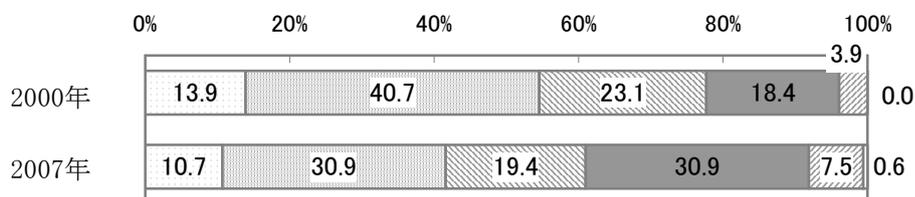
問 あなたは現在、次にあげる人たち（「隣近所の人」）とどのくらい行き来していますか。（○はそれぞれ1つずつ）

近隣関係は希薄になっている

- 親しくつき合っている
- ▨ つき合いはしているがあまり親しくない
- ▩ あまりつき合っていない
- つき合いはしていない
- ▧ わからない



- よく行き来している
- ▨ ある程度行き来している
- ▩ あまり行き来していない
- ほとんど行き来していない
- ▧ あてはまる人がいない
- 無回答

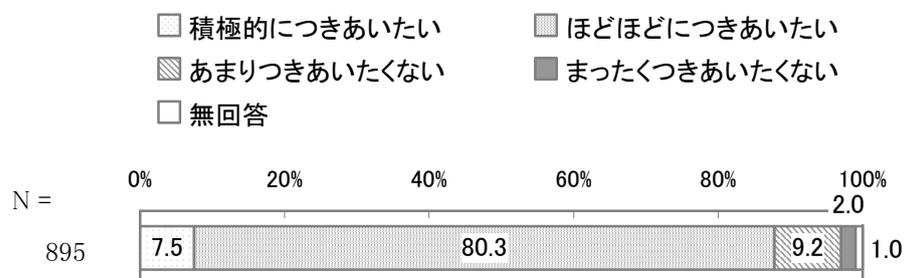


【備考】

1. 内閣府「社会意識に関する世論調査」（1975、86、97年）により作成および「国民生活選好度調査」（2000、2007年）により特別集計。
2. 1975、86、97年は「あなたは、地域での付き合いをどの程度していらっしゃいますか。この中ではどうでしょうか。」という問いに対し、回答した人の割合。2000、2007年は「あなたは現在、次にあげる人たち（「隣近所の人」）とどのくらい行き来していますか。（○はそれぞれ1つずつ）」という問いに対し、回答した人の割合。
3. 回答者は、1975、86、97年は全国の20歳以上の者。2000年は、全国の20歳以上70歳未満の男女。2007年は、全国の20歳以上80歳未満の男女。

問 14 あなたは、隣近所の方と、どの程度お付き合いをしていきたいですか。  
(○は1つだけ)

「ほどほどにつきあいたい」の割合が 80.3%と最も高く、次いで「あまりつきあいたくない」の割合が 9.2%、「積極的につきあいたい」の割合が 7.5%となっています。



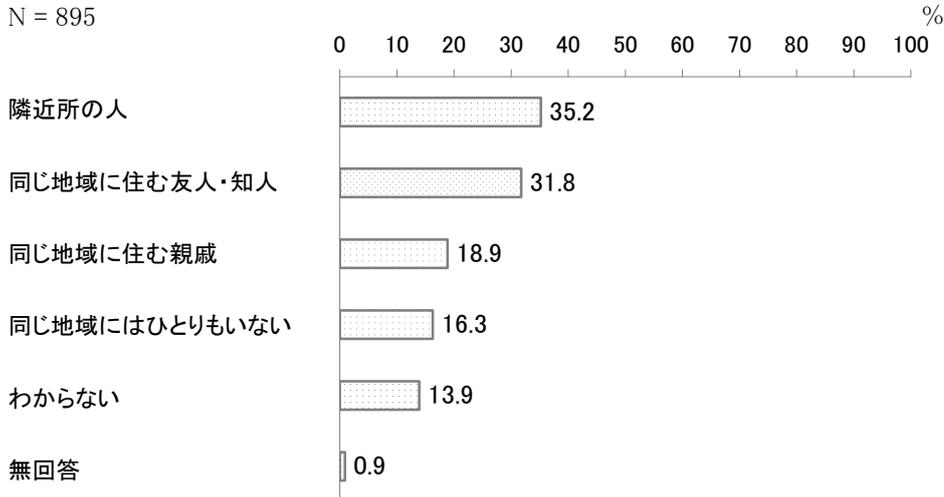
【校別】

「あまりつきあいたくない」の割合が 1 割以上の校区は、北小学校区 (12.4%)、神守小学校区 (10.8%)、蛭間小学校区 (10.4%) となっています。



問15 あなたには、お住まいの地域の中に、いざというとき助け合える人や、信頼して相談できる人がいますか。(〇はいくつでも)

「隣近所の人」の割合が35.2%と最も高く、次いで「同じ地域に住む友人・知人」の割合が31.8%、「同じ地域に住む親戚」の割合が18.9%となっています。



【校区别】

「同じ地域にはひとりもない」の割合が2割以上の校区は、東小学校区 (22.8%)、北小学校区 (21.0%) となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	隣近所の人	友人・知人 同じ地域に住む	親戚 同じ地域に住む	同じ地域にはひとりもない	わからない	無回答
東小学校区	123	34.1	22.8	19.5	22.8	15.4	0.8
西小学校区	104	42.3	31.7	22.1	9.6	10.6	1.9
南小学校区	100	32.0	33.0	16.0	18.0	16.0	—
北小学校区	105	31.4	26.7	15.2	21.0	15.2	1.0
神守小学校区	120	29.2	35.8	14.2	15.8	17.5	0.8
蛭間小学校区	115	40.9	37.4	24.3	13.9	8.7	2.6
高台寺小学校区	113	36.3	31.0	28.3	9.7	14.2	—
神島田小学校区	95	36.8	38.9	13.7	15.8	12.6	—

### 【就労形態別】

就労体系別にみると、「会社員、公務員、団体職員」や「会社経営者・会社役員」は「同じ地域にはひとりもいない」の割合が高く、サラリーマン化により、地域とのつながりが希薄化していることが伺えます。

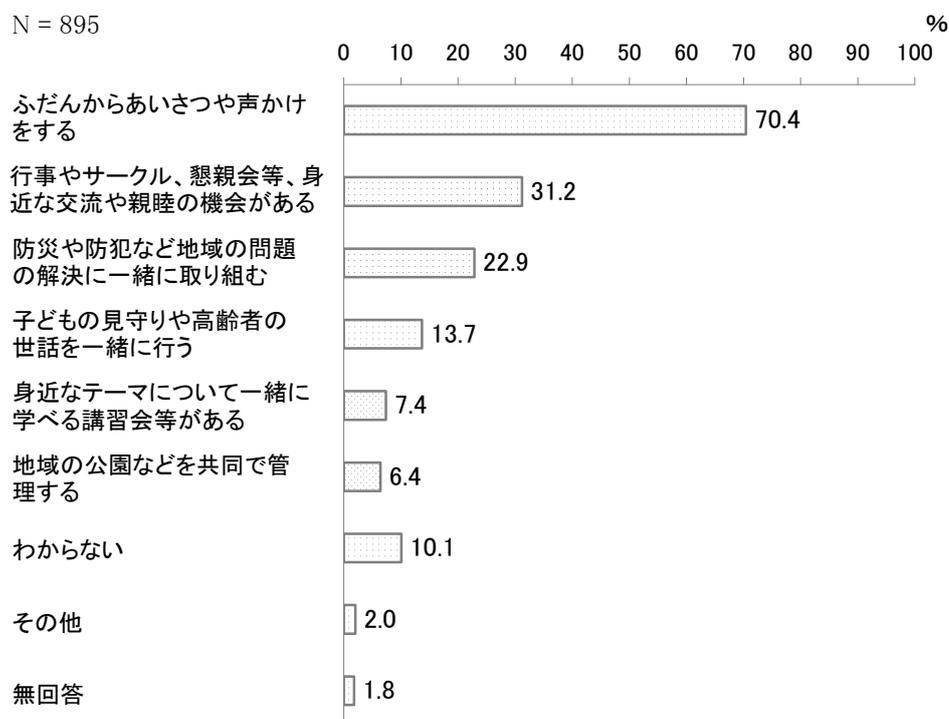
単位：%

区分	有効回答数 (件)	隣近所の人	友人・知人 同じ地域に住む	親戚 同じ地域に住む	同じ地域にはひ とりもいない	わからない	無回答
会社員、公務員、団体職員	221	23.5	25.3	23.1	24.0	15.8	0.5
パート・アルバイト	136	36.8	40.4	13.2	18.4	8.8	2.2
会社経営者・会社役員	15	26.7	26.7	20.0	26.7	13.3	—
自営業(家族従業者含む)	75	37.3	38.7	21.3	12.0	14.7	—
主婦・主夫(家事専業)	176	42.0	35.2	16.5	13.1	12.5	0.6
学生	11	9.1	18.2		36.4	45.5	—
無職	225	39.1	29.3	20.9	12.0	12.9	1.3
その他	27	40.7	22.2	14.8	3.7	29.6	—

問 16 お住まいの地域で住民同士の信頼感や助け合い意識を高めるためには、  
どのようなきっかけがあれば効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

「ふだんからあいさつや声かけをする」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「行事やサークル、懇親会等、身近な交流や親睦の機会がある」の割合が 31.2%、「防災や防犯など地域の問題の解決と一緒に取り組む」の割合が 22.9%となっています。

N = 895



## 【校區別】

すべての校区で「ふだんからあいさつや声かけをする」の割合が高くなっています。

単位：％

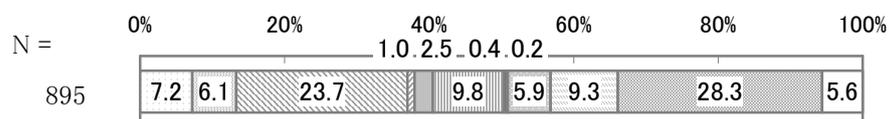
区分	有効回答数(件)	ふだんからあいさつや声かけをする	行事やサークル、懇親会等、身近な交流や親睦の機会がある	防災や防犯など地域の問題の解決に取り組む	子どもの見守りや高齢者の世話を一緒に行う	身近なテーマについて一緒に学べる講習会等がある	地域の公園などを共同で管理する	わからない	その他	無回答
東小学校区	123	71.5	24.4	22.0	16.3	8.9	4.9	14.6	0.8	—
西小学校区	104	75.0	26.0	26.9	9.6	5.8	4.8	12.5	2.9	1.9
南小学校区	100	71.0	27.0	20.0	13.0	6.0	10.0	8.0	4.0	1.0
北小学校区	105	74.3	29.5	23.8	12.4	8.6	2.9	7.6	2.9	1.9
神守小学校区	120	65.8	39.2	16.7	10.0	8.3	7.5	13.3	0.8	2.5
蛭間小学校区	115	71.3	29.6	31.3	14.8	8.7	8.7	7.8	0.9	2.6
高台寺小学校区	113	69.0	37.2	26.5	18.6	6.2	7.1	7.1	0.9	0.9
神島田小学校区	95	68.4	38.9	17.9	15.8	6.3	6.3	7.4	1.1	3.2

## エ 地域への満足度について

問17 お住まいの小学校区で、あなたが満足している点はどれですか。  
(○は1つだけ)

「特になし」の割合が28.3%と最も高く、次いで「お店が近くにあり、生活しやすい」の割合が23.7%、「治安がよく、安心して住める」の割合が9.8%となっています。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> お祭りや伝統行事が盛んである     | <input type="checkbox"/> 住民のつながりや助け合いがある |
| <input type="checkbox"/> お店が近くにあり、生活しやすい    | <input type="checkbox"/> 町に活気がある         |
| <input type="checkbox"/> 街並みや景観がよい          | <input type="checkbox"/> 公園など、公共の広場が多い   |
| <input type="checkbox"/> 治安がよく、安心して住める      | <input type="checkbox"/> 子どもの遊び場が多い      |
| <input type="checkbox"/> 高齢者・障がい者向けの施設が多い   | <input type="checkbox"/> 電車・バス等、交通の便がよい  |
| <input type="checkbox"/> 幹線道路があり、車での移動がしやすい | <input type="checkbox"/> 特になし            |
| <input type="checkbox"/> 無回答                |  |



## 【校區別】

「特になし」の割合が高い校区は、南小学校区（32.0%）、神守小学校区（31.7%）、蛭間小学校区（30.4%）、高台寺小学校区（38.9%）、神島田小学校区（44.2%）となっています。

東小学校区で割合が高いのは、「お店が近くにあり、生活しやすい」（47.2%）。

西小学校区で割合が高いのは、「公園など、公共の広場が多い」（17.3%）。

南小学校区で割合が高いのは、「お店が近くにあり、生活しやすい」（29.0%）。

北小学校区で割合が高いのは、「お店が近くにあり、生活しやすい」（48.6%）。

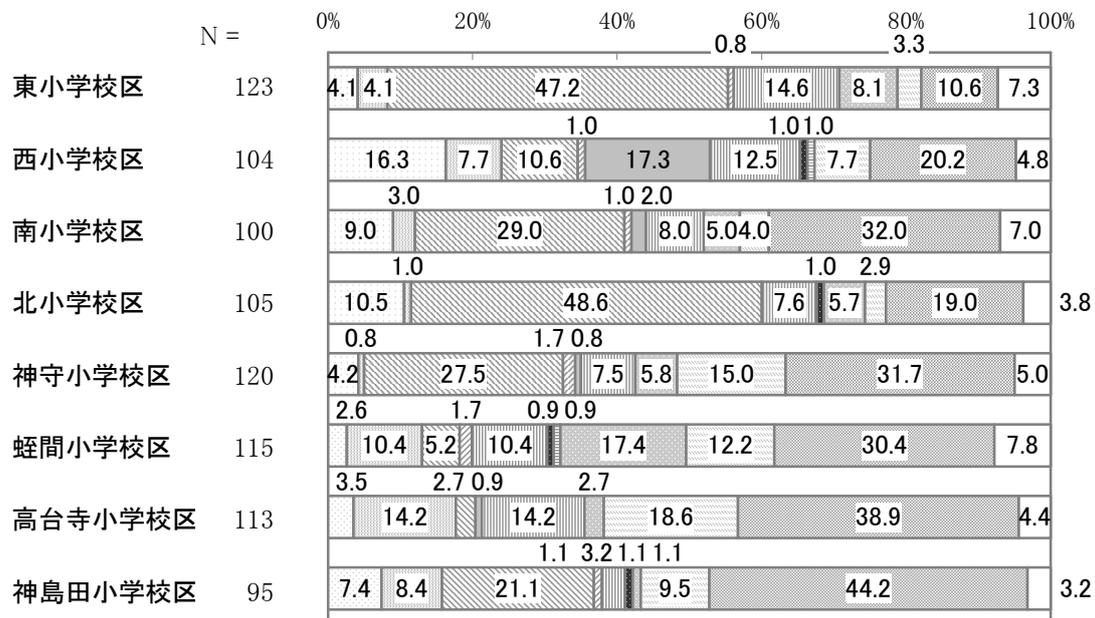
神守小学校区で割合が高いのは、「お店が近くにあり、生活しやすい」（27.5%）。

蛭間小学校区で割合が高いのは、「電車・バス等、交通の便がよい」（17.4%）。

高台寺小学校区で割合が高いのは、「幹線道路があり、車での移動がしやすい」（18.6%）。

神島田小学校区で割合が高いのは、「お店が近くにあり、生活しやすい」（21.1%）。

- お祭りや伝統行事が盛んである
- ▨ お店が近くにあり、生活しやすい
- ▨ 街並みや景観がよい
- ▨ 治安がよく、安心して住める
- ▨ 高齢者・障がい者向けの施設が多い
- ▨ 幹線道路があり、車での移動がしやすい
- 無回答
- ▨ 住民のつながりや助け合いがある
- 町に活気がある
- ▨ 公園など、公共の広場が多い
- 子どもの遊び場が多い
- ▨ 電車・バス等、交通の便がよい
- ▨ 特になし



## オ 住まいの地域で取り組むべき課題について

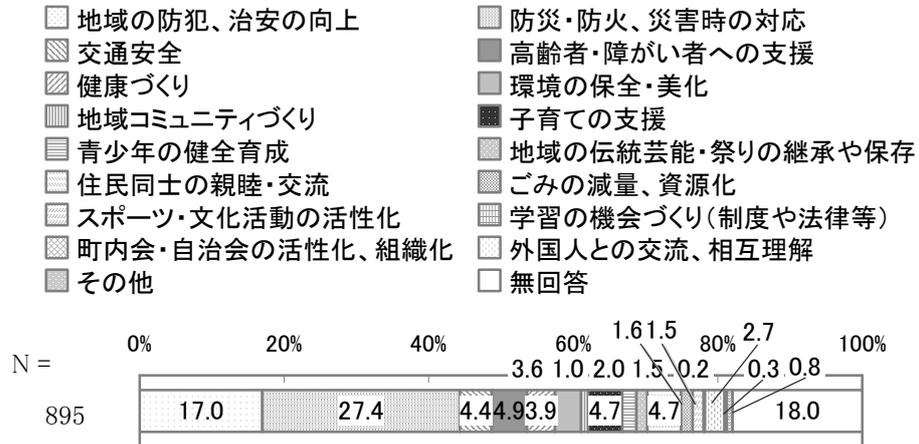
### 問18 地域で取り組むべき課題は、どんなことでしょうか。(〇は3つまで)

「防災・防火、災害時の対応」の割合が47.5%と最も高く、次いで「地域の防犯、治安の向上」の割合が43.1%、「住民同士の親睦・交流」の割合が18.9%となっています。



問19 問18で○をつけたもので、当面、最も優先して取り組むべき課題は何ですか。あてはまる番号を1つ記入ください。

「防災・防火、災害時の対応」の割合が27.4%と最も高く、次いで「地域の防犯、治安の向上」の割合が17.0%、「高齢者・障がい者への支援」の割合が4.9%となっています。

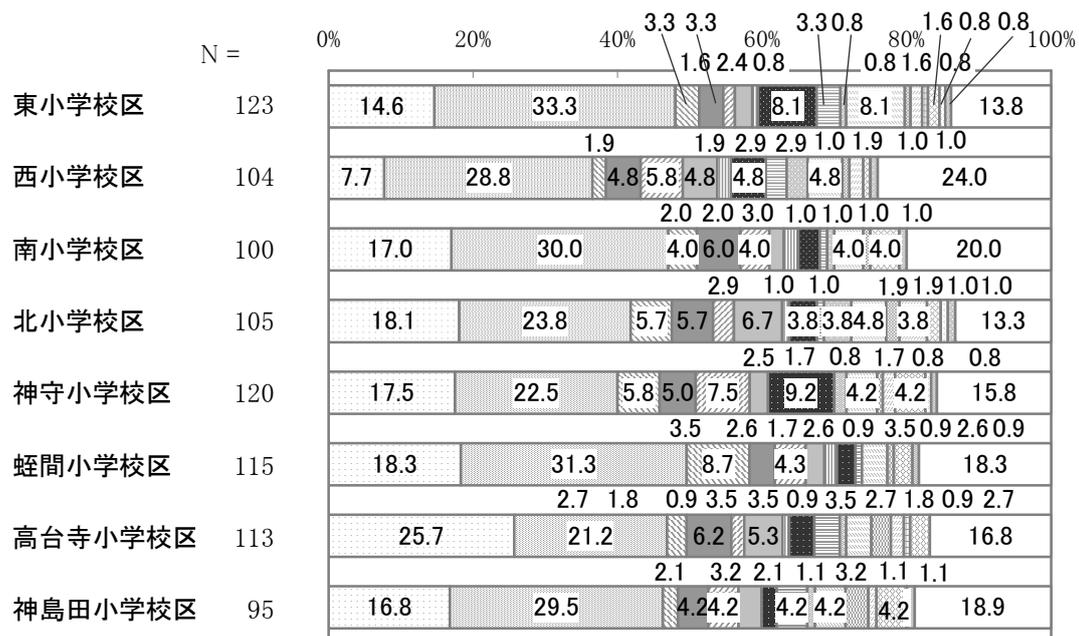


### 【校区別】

すべての校区で、「地域の防犯、治安の向上」「防災・防火、災害時の対応」の割合が高くなっています。

最も優先すべき課題について、「防災・防火、災害時の対応」の割合が高い校区は、東小学校区 (33.3%)、西小学校区 (28.8%)、南小学校区 (30.0%)、北小学校区 (23.8%)、神守小学校区 (22.5%)、蛭間小学校区 (31.3%)、神島田小学校区 (29.5%) となっています。

最も優先すべき課題について、「地域の防犯、治安の向上」の割合が高い校区は、高台寺小学校区 (25.7%) となっています。



問 20 問 19 で選択した課題について、誰とどのように解決すべきだと思いますか。

## 総 括

問 19 で回答の割合が高かった「防災・防火、災害時の対応」「地域の防犯、治安の向上」については、地域住民と行政、警察などが連携していくことが必要であるという意見があがっています。

「防災・防火、災害時の対応」については、地域住民同士の災害時の対応マニュアルの作成やハザードマップの活用、一人暮らし高齢者等への対応、住民同士の役割分担の明確化の必要性があがっています。

また町内会などと行政が連絡を取り合い、対策をスピーディに行っていくことが重要であると考えられます。

「地域の防犯、治安の向上」については、地域での防犯パトロールやみまもり隊による地域の安全性の向上が重要視されており、警察や行政との連携が必要であると考えられます。

地域の課題を解決していくためには、地域住民同士での話し合いやコミュニケーションなどにより、地域での課題の解決をしていくとともに、地域だけでは解決できない課題については、行政と連携を取り合い、協働して解決していくことが今後、重要となっていくことが伺えます。

### 《アンケート結果》

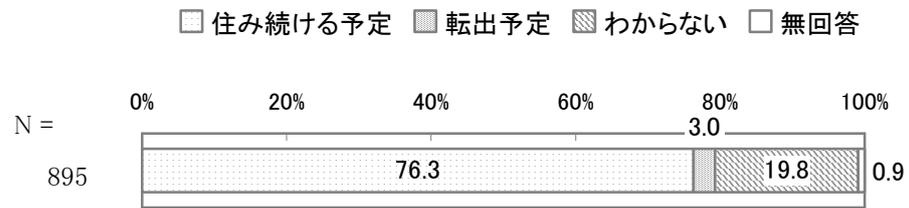
防災・防火、災害時の対応（58件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津島市がどのような被害を受けるのか具体的な情報の開示</li> <li>・情報を町内会等で議論し自分達の安全を確保する為の情報開示</li> <li>・東南海地震について、防災や災害の知識を共有</li> <li>・実際に訓練を行い住民1人1人が体感する</li> <li>・日頃から独居老人や障がい者がどこに住んでいて、どう協力してあげればお互い住みやすい地域ができるのかの環境づくり</li> <li>・住んでいる1人1人の協力と思いやり</li> </ul>	行政からの情報の開示や日ごろからの近所づきあいや地域住民の交流が必要とされます。
町内会自治会の活性化（50件）		地域の交流ができる集会所の設営や整備また新旧居住者や異世代間の交流を行うことが重要と考えます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩・自転車を通える範囲の集会所等を常時使えるようにする</li> <li>・比較的狭い地域で高齢者が気軽に集まる交流できる場をつくる</li> <li>・地域組織の一元化</li> <li>・子供会、老人会、コミュニティを町内会の下部組織とする</li> <li>・旧、新関係なく顔を知れる機会をつくる</li> <li>・転入者も地域に出やすい雰囲気をつくる</li> </ul>	

<b>地域の防犯、治安の向上（３５件）</b>		地域住民参加の夜警や警察と連携しての地域パトロールを行うことが必要と思われる。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人々と危険箇所などを話し合う</li> <li>・警察官と連携をして地域の防犯や治安の向上に取り組む</li> <li>・商店の方、自治会、青年団、警察で夜警を徹底</li> <li>・青少年が深夜営業の店への入店を禁ずる</li> <li>・青少年の親の世代の協力</li> <li>・地域パトロール等の強化</li> <li>・街灯の増設、夜間の駅周辺の警備</li> </ul>	
<b>地域の親睦・交流（３０件）</b>		公園の整備や新住民への呼びかけを唱えることが必要と思われる。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の協力で各町内会でテーマを出し実行</li> <li>・新しい住人にも声をかける</li> <li>・どの子供にも注意が出来る環境を作る</li> <li>・空地などを利用して、公園や広場をつくる</li> </ul>	
<b>地域コミュニティづくり（２８件）</b>		防災訓練やイベント型の地域コミュニティづくりが必要との意見が多いようです。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・町内での防災訓練を頻繁に行い災害に対する怖さを自覚</li> <li>・町内の防災訓練を通じて、家庭、近所、町内の役割決める</li> <li>・行政と市民が協力し地域リーダーを育成する</li> <li>・住民がふれあえる講座や行事を企画し住民が主体のコミュニティにしていく</li> <li>・公共施設を利用し「官・民・学」と一体でイベントを実施する</li> </ul>	
<b>行政の取り組みについて（２４件）</b>		行政と地域の連携や災害時マニュアルやハザードマップの配布が重要と思われます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市と地域とが連携し、高齢者、障がい者を把握し、災害時の対策をする</li> <li>・地域住民の代表と市の担当の方が、災害時の取り決めをしておく</li> <li>・各家庭に災害時のマニュアルを配布</li> </ul>	
<b>高齢者・障がい者への支援（１１件）</b>		行政の情報提供と地域内の連携が必要であると伺えます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会ごとに、災害弱者を把握し対応マニュアルを作る</li> <li>・地域と行政が一緒になり災害弱者の見守りの体制をつくる</li> <li>・地域の見守り「おせっかい役」の育成</li> </ul>	
<b>交通安全、運転マナー（８件）</b>		子どもの頃からの交通マナーの教育が必要と思われる。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や家庭で最低限のマナーを指導する</li> <li>・自転車の運転マナーの向上を啓発</li> <li>・街路灯の設置</li> </ul>	
<b>ゴミ出しマナーについて（８件）</b>		地域をあげてのごみゼロ運動を行うことが必要であることが伺えます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会のゴミゼロ運動を利用</li> <li>・一斉ゴミひろいで町内を美化</li> <li>・市、地域、家族等で美化について話し合う</li> <li>・道路、公園のゴミを率先して収拾する心を持った人づくり</li> </ul>	

<b>子育て支援（6件）</b>		行政や地域住民の支援が必要と考えます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て経験者と子育て中の人気が楽しく話し合える場所がほしい</li> <li>・近所のおばさんたちにいろいろ教えてもらえる環境づくり</li> <li>・子育ての支援、乳幼児医療費の拡大</li> </ul>	
<b>清掃活動、ペットマナー（6件）</b>		啓発及び実施活動が必要であると思われます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に全家庭で清掃・美化をする日を設定する</li> <li>・住民へペットのフンの処理が適切か監視を呼びかけ</li> </ul>	
<b>健康づくり（5件）</b>		参加型の健康イベントを行うことが必要と思われます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々が誰でも参加できる健康セミナーの開催</li> <li>・年齢別の独自の体操をつくり市民に定期的集う機会を設ける</li> </ul>	
<b>伝統芸能、祭り、行事（5件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、地域住民一体となり承継・保存</li> <li>・保存会等への市からのサポート</li> <li>・おはやしを保育園・小学生に授業で教える</li> </ul>	
<b>道路、公園等の整備（4件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親近感、安心感がありのびのびと運動ができる公園づくり</li> <li>・歩道の拡張など、インフラ整備の充実を図る</li> </ul>	
<b>地域医療の充実（2件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人等が生活してきたその場所で見守れる地域医療の制度の確立</li> <li>・高齢化が足腰をきたえられるような健康づくりの促進</li> </ul>	

問 21 あなたは、この地域に今後も住み続ける予定ですか。(○は1つだけ)

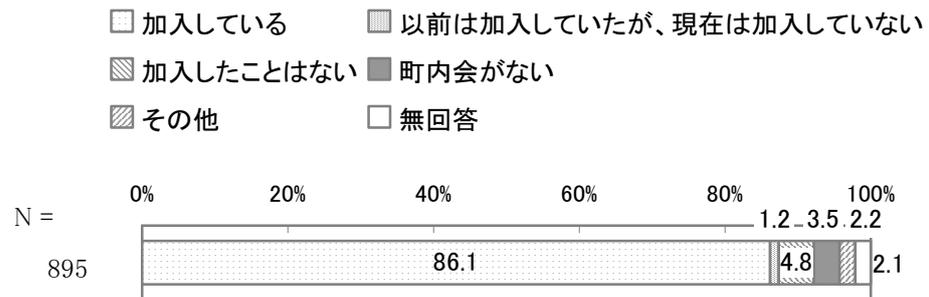
「住み続ける予定」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 19.8%、「転出予定」の割合が 3.0%となっています。



## カ 町内会をはじめとした地域住民組織・団体について

問 22 町内会に加入していますか。(○は1つだけ)

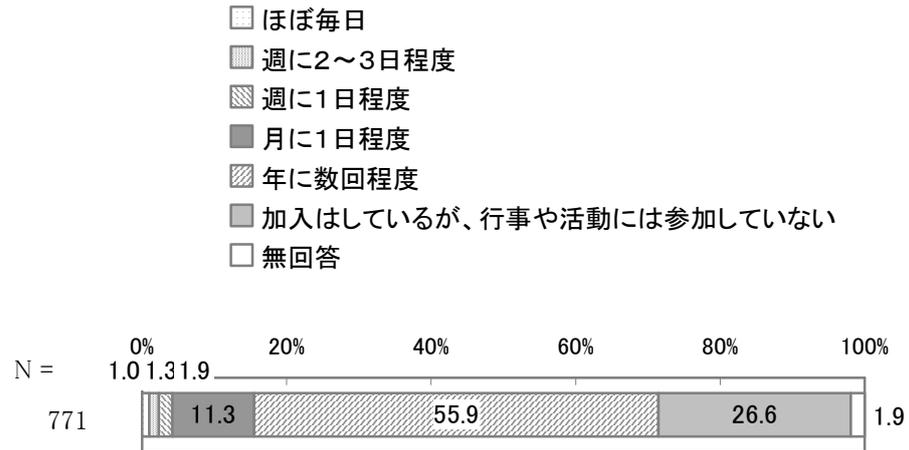
「加入している」の割合が 86.1%と最も高く、次いで「加入したことはない」の割合が 4.8%、「町内会がない」の割合が 3.5%となっています。



問 22 で「加入している」と回答された方にお聞きします。

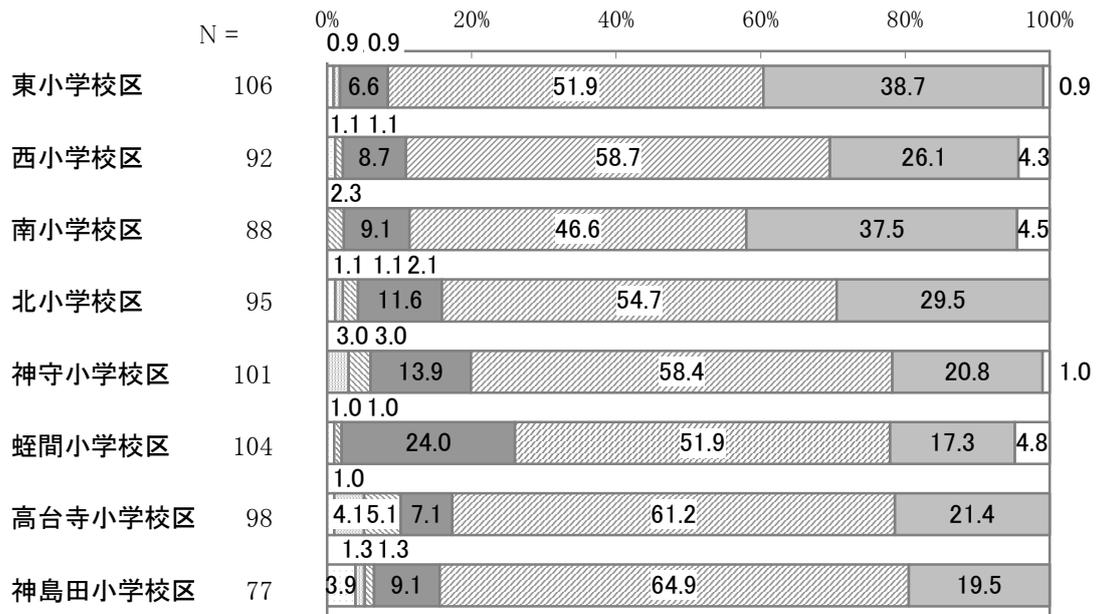
問 22-1 あなたは、町内会の行事や活動等に、どの程度参加していますか。  
(○は1つだけ)

「年に数回程度」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「加入はしているが、行事や活動には参加していない」の割合が 26.6%、「月に1日程度」の割合が 11.3%となっています。



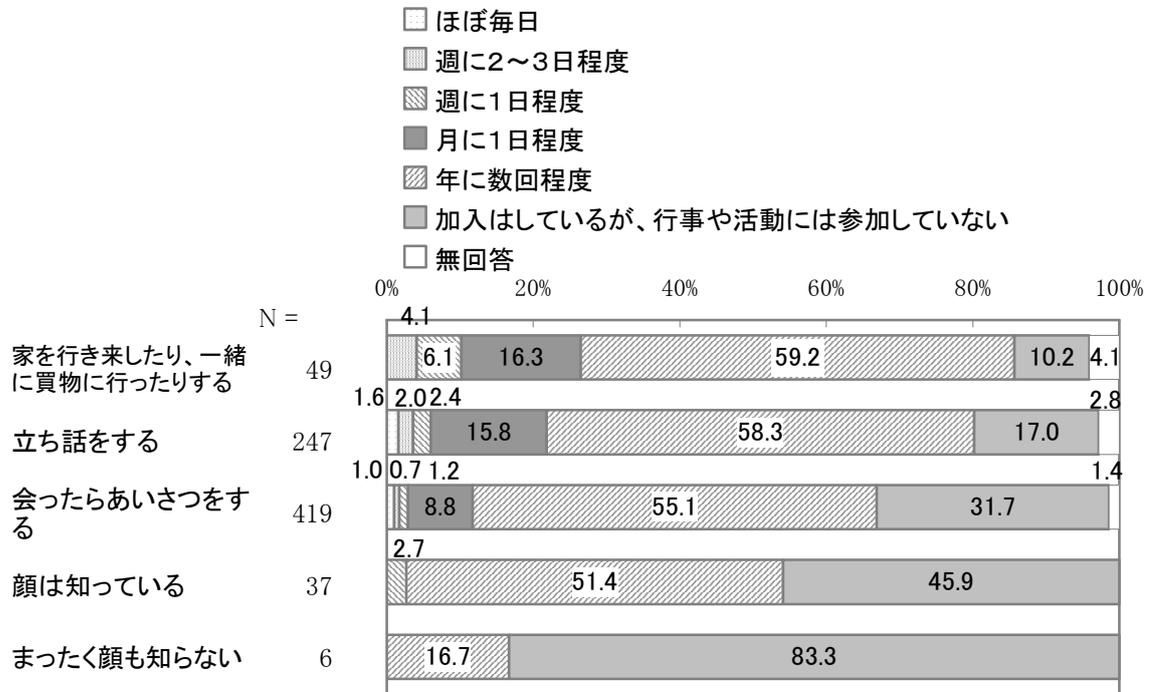
【校区別】

「加入はしているが、行事や活動には参加していない」の割合が高い校区は、東小学校区 (38.7%)、南小学校区 (37.5%) となっています。



### 【近所づきあいの程度別】

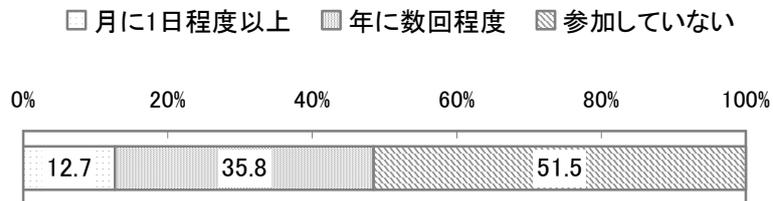
近所づきあいの程度別にみると、「家を行き来したり、一緒に買物に行ったりする」や「立ち話をする」など、近所づきあいのある人ほど、町内会の行事や活動等に参加する頻度が高くなっています。



### 【参考資料】（平成 19 年度国民生活白書より）

問 「あなたは現在、『町内会・自治会』のような活動に参加されていますか。参加の頻度についてお答え下さい。

町内会・自治会への参加は年数回程度以下が大半

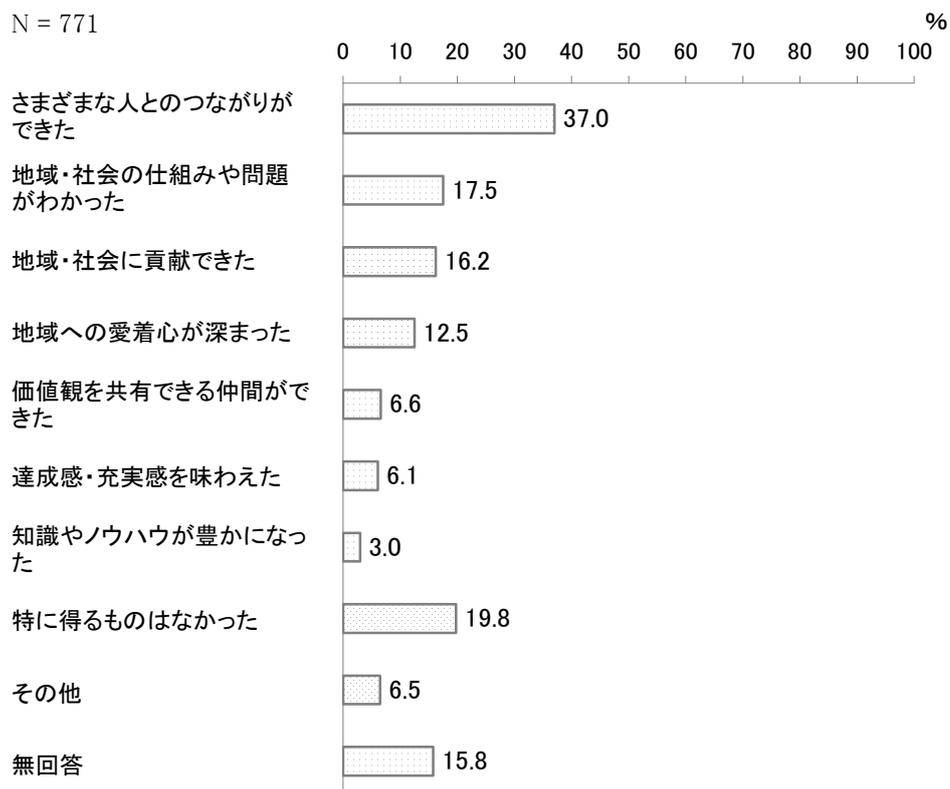


### 【備考】

1. 内閣府「国民生活選好度調査」（2007年）により作成。
2. 2007年は、「あなたは現在、『町内会・自治会』のような活動に参加されていますか。参加の頻度についてお答え下さい。」という問に対し、回答した人の割合。ただし、「ほぼ毎日」、「週に2~3日程度」、「週に1日程度」、「月に1日程度」を「月に1日程度以上」と合算して表示している。

問 22-2 町内会の行事や活動等に参加して、どんなことを得ましたか。  
(○は3つまで)

「さまざまな人とのつながりができた」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「特に得るものはなかった」の割合が 19.8%、「地域・社会の仕組みや問題がわかった」の割合が 17.5%となっています。



## 【校區別】

すべての校区で「さまざまな人とのつながりができた」の割合が高くなっています。

「特に得るものはなかった」の割合が高い校区は、東小学校区（22.6%）、西小学校区（20.7%）、南小学校区（22.7%）、北小学校区（23.2%）、神守小学校区（20.8%）となっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	さまざまな人とのつながりができた	地域・社会の仕組みや問題がわかった	地域・社会に貢献できた	地域への愛着心が深まった	価値観を共有できる仲間ができた	達成感・充実感を味わえた	知識やノウハウが豊かになった	特に得るものはなかった	その他	無回答
東小学校区	106	27.4	20.8	15.1	10.4	3.8	5.7	1.9	22.6	5.7	20.8
西小学校区	92	35.9	10.9	13.0	14.1	6.5	3.3	0.0	20.7	10.9	19.6
南小学校区	88	31.8	14.8	13.6	11.4	6.8	6.8	4.5	22.7	8.0	18.2
北小学校区	95	31.6	14.7	12.6	15.8	8.4	3.2	6.3	23.2	6.3	15.8
神守小学校区	101	33.7	11.9	15.8	16.8	8.9	5.9	3.0	20.8	2.0	16.8
蛭間小学校区	104	46.2	18.3	19.2	13.5	6.7	8.7	2.9	19.2	5.8	13.5
高台寺小学校区	98	46.9	29.6	21.4	10.2	7.1	7.1	3.1	13.3	6.1	9.2
神島田小学校区	77	45.5	19.5	19.5	7.8	5.2	9.1	2.6	15.6	7.8	10.4

問 22 で「以前は加入していたが、現在は加入していない」と回答された方にお聞きします。

問 22-3 町内会を辞めた理由は何ですか。

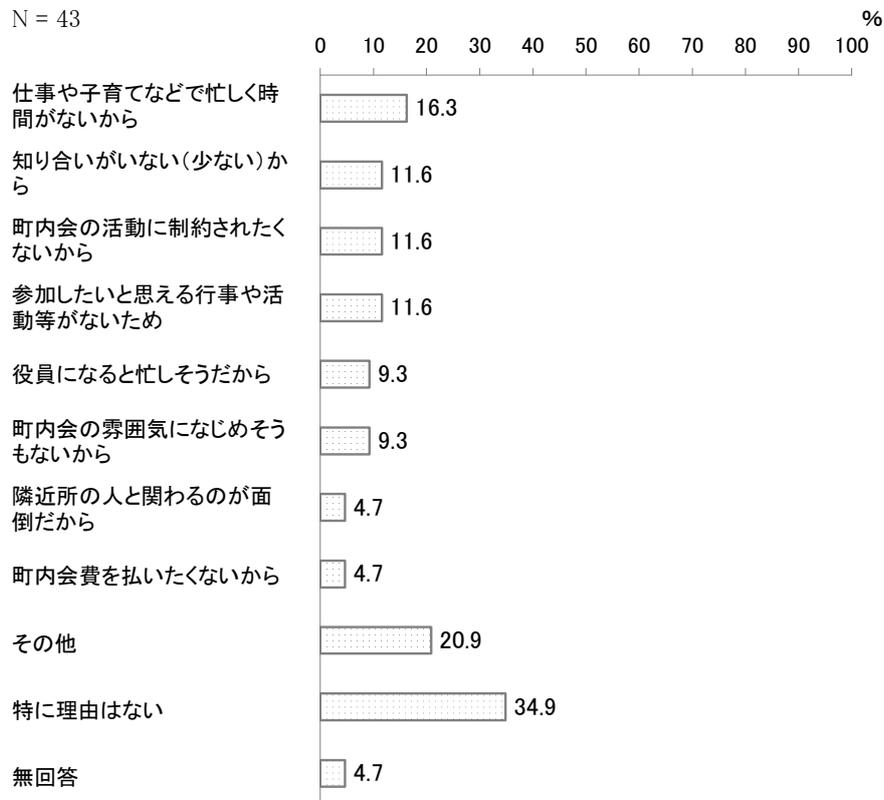
- ・ 仕事が忙しく出席できなかった。
- ・ 時間が取れなくなりました。
- ・ 75才以上引退のため。
- ・ 年齢。
- ・ 学生だから。
- ・ つきあいが多すぎる。仕事が忙しくてなかなか参加できない。平日にも何かあつたりするので、共働きでは無理がある。
- ・ 年齢と体をこわしている。

問 22 で「加入したことはない」と回答された方にお聞きします。

問 22-4 町内会に加入していない理由は何ですか。(○は3つまで)

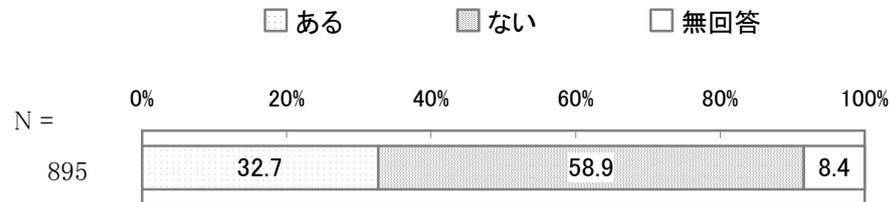
「特に理由はない」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「仕事や子育てなどで忙しく時間がないから」の割合が 16.3%、「知り合いが少ない(少ない)から」「町内会の活動に制約されたくないから」「参加したいと思える行事や活動等がないため」の割合が 11.6%となっています。

N = 43



問 23 今まで、あなたはPTAや子ども会、老人クラブなどの団体の役員を担ったことはありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が32.7%、「ない」の割合が58.9%となっています。



問 23 で「ある」と回答された方にお聞きします。

問 23-1 役員を担ってみての問題点や、やってよかった点などをお聞かせください。

## 総 括

役員をやってみて、よかった点としては、「学校や地域社会への理解ができたこと」や「顔見知り、知り合いになれたこと」などがあがっています。

役員を担ったことにより、今まで知らなかった学校や地域のことを理解することができたり、今まで知らなかった地域住民とコミュニケーションがとれ、知人がたくさんできた、さまざまな情報交換ができたなど、役員の仕事を通じて、地域や住民とのコミュニケーションが取れたことがよい点としてあがっています。

しかし、問題点として、「仕事との両立の難しさ」や「役員、会員の人材不足」「役員以外が非協力的」などがあがっています。役員になったため、仕事を休む必要があったり、役員同士の都合を合わせ集まるのが難しいなどの声があがっています。また、役員の負担が大きいことや高齢化などにより、次の担い手がないなどの声があがっています。

役員を担うことには、良い点、問題点があります。良い点を生かしながら、問題点は地域住民で協力してそれぞれの会を運営していくことが必要であると考えられます。

### 《アンケート結果》

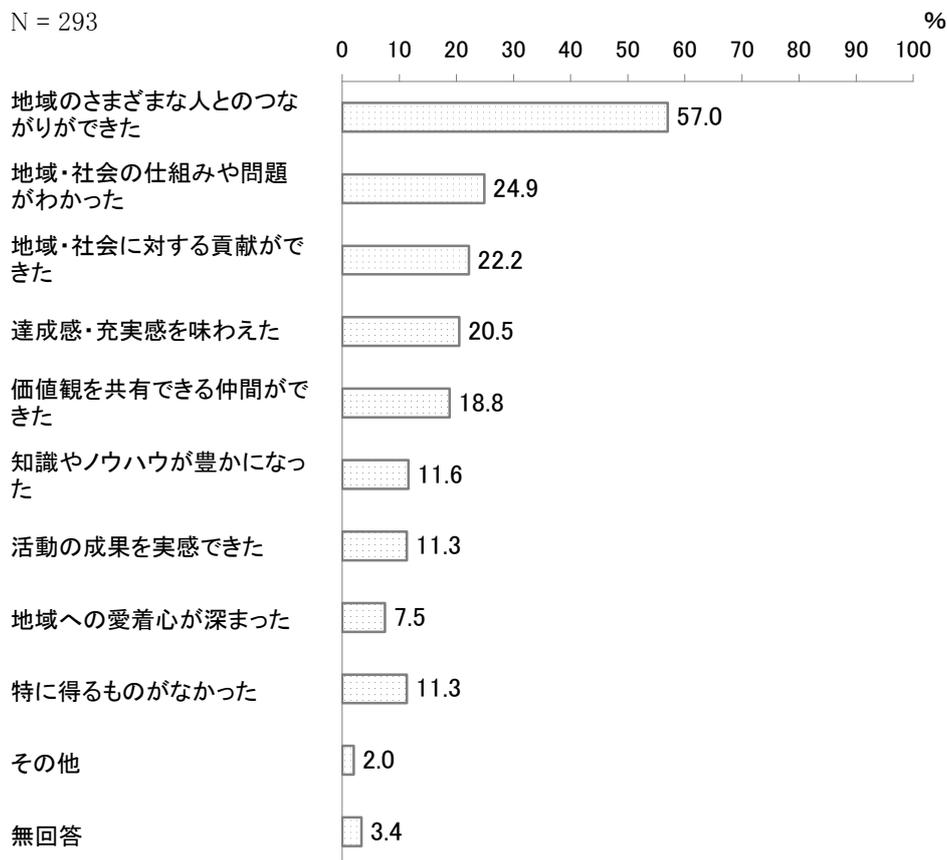
顔見知り、知り合いになれた（67件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変だったが友達も出来て情報交換できる人が増え、自分に自信がもてるた</li> <li>・学年の違う父兄の方の顔がわかり、以後の活動や連絡がしやすくなった</li> <li>・楽しさもあり困難な点もあるがよい勉強だった</li> <li>・近所の友だちが増えた</li> </ul>	役員となったことで地域の方々の顔見知りが増え、以前より住みやすく感じるようです。

<b>学校や地域社会の理解（32件）</b>		学校の先生や同世代の親同士の交流ができ、学校内のことが理解できたようです。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校の子供達を見る事ができ、子育て等に、気持ちの余裕ができた</li> <li>・地域の方々の協力を知る事ができた</li> <li>・PTAで学校へ行く機会が増え、学校の仕組みがよくわかった</li> <li>・他学年の親との交流ができた</li> </ul>	
<b>達成感、充実感あり（22件）</b>		大変な面がある反面、充実感や達成感もその分大きかったようです。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の役員は行事が多く大変だと思った</li> <li>・皆さんと協力して役目が終わった時やってよかったと思った</li> <li>・問題点を一緒に考え一緒に取り組むことの共感と達成感がよかった</li> <li>・町内広報を出して、報告したのは評判良かった</li> </ul>	
<b>役員の大変さがわかった（19件）</b>		良い点 地域住民から信頼され、地域へ貢献できる充実感等があげられました。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕組みや役員の方々の大変さがよくわかった</li> <li>・個人の主張が多く、役員は大変だが地域の方に貢献できることが嬉しかった</li> <li>・価値観のあう方と顔見知りできた</li> <li>・役員を経験することで常に公平・中立の立場で対応ができ、地域住民から信頼される</li> <li>・役員を特定の人に固定しないで、多くの人に役員をお願いすることで組織が活性化</li> </ul>	問題点 いろいろな意見をまとめることの大変さがあげられました。
<b>仕事と両立は難しい（14件）</b>		仕事を持っている方が町内会等の役員となることへの問題点が多くあげられました。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしていたので出席する時間を作るのが大変だったが前向にもの事が考えられる活動が出来た</li> <li>・女性が仕事をする事への理解が少なく、つらい思いをした</li> </ul>	
<b>役員、会員の人材不足（13件）</b>		輪番制の問題や役員の負担が大きいため引き受け手がないなどの問題があげられました。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の負担が大きく次の役員が見つからない</li> <li>・老人会に新会員が入ってくれない</li> <li>・輪番のため形式的な役割に終わり、連携がなく終わった</li> </ul>	
<b>役員以外は無関心、非協力的（12件）</b>		役員以外の地域の皆さんの協力が必要不可欠であると感じているようです。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事では役員だけが活動し、他の会員は無関心が多い</li> <li>・役員への依存、収まり意識のみで自らの責任を果たそうとしない者へのいら立ちを感じることもある</li> <li>・地域のことを知りたいと思い子どもと共に役員をしたが協力的・非協力的な人、いろいろだった</li> </ul>	
<b>意見のまとめが難しい（10件）</b>		地域内の意思統一を図ることの難しさを感じているようです。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見がわかれた時、意見のとりまとめが難しかった</li> <li>・地域内でのコミュニケーションの必要性を強く感じた</li> </ul>	
<b>その他（5件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAでは問題が起きた時は、学校サイドに立ってと言われたのが納得いかなかった</li> <li>・老人クラブでは、経験不足であるがための矛盾に迷った</li> <li>・子育て中の夕食時の親睦会は困った</li> </ul>	

問 23-2 あなたは、役員を担ってみて、どんなことを得ましたか。  
(○は3つまで)

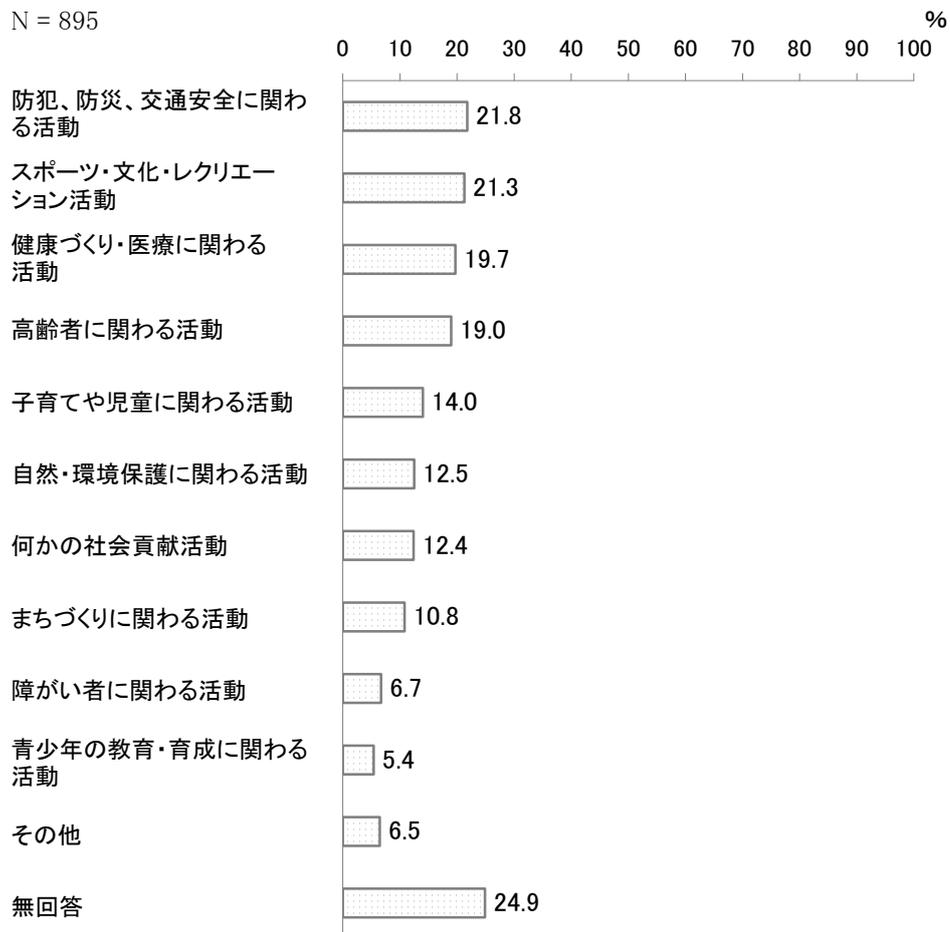
「地域のさまざまな人とのつながりができた」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「地域・社会の仕組みや問題がわかった」の割合が 24.9%、「地域・社会に対する貢献ができた」の割合が 22.2%となっています。

N = 293



問 24 あなたがこれまで行っている活動や、これから行ってみたい活動は、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「防犯、防災、交通安全に関わる活動」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「スポーツ・文化・レクリエーション活動」の割合が 21.3%、「健康づくり・医療に関わる活動」の割合が 19.7%となっています。



## 【校區別】

東小学校区で割合が高いのは、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(19.5%)、「健康づくり・医療に関わる活動」「防犯、防災、交通安全に関わる活動」(18.7%)。

西小学校区で割合が高いのは、「高齢者に関わる活動」(24.0%)、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(23.1%)。

南小学校区で割合が高いのは、「防犯、防災、交通安全に関わる活動」(28.0%)、「健康づくり・医療に関わる活動」(22.0%)。

北小学校区で割合が高いのは、「高齢者に関わる活動」(21.9%)、「防犯、防災、交通安全に関わる活動」(19.0%)。

神守小学校区で割合が高いのは、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(30.8%)、「健康づくり・医療に関わる活動」(23.3%)。

蛭間小学校区で割合が高いのは、「防犯、防災、交通安全に関わる活動」(34.8%)、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(20.9%)

高台寺小学校区で割合が高いのは、「健康づくり・医療に関わる活動」(23.0%)、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(23.0%)。

神島田小学校区で割合が高いのは、「高齢者に関わる活動」(25.3%)、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(25.3%)。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	防犯、防災、交通安全に関わる活動	スポーツ・文化・レクリエーション活動	健康づくり・医療に関わる活動	高齢者に関わる活動	子育てや児童に関わる活動	自然・環境保護に関わる活動
東小学校区	123	18.7	19.5	18.7	13.8	16.3	9.8
西小学校区	104	17.3	23.1	17.3	24.0	13.5	14.4
南小学校区	100	28.0	15.0	22.0	16.0	20.0	10.0
北小学校区	105	19.0	12.4	18.1	21.9	10.5	13.3
神守小学校区	120	16.7	30.8	23.3	18.3	14.2	10.0
蛭間小学校区	115	34.8	20.9	19.1	20.0	10.4	17.4
高台寺小学校区	113	22.1	23.0	23.0	15.9	15.9	13.3
神島田小学校区	95	16.8	25.3	15.8	25.3	12.6	13.7

区分	何かの社会貢献活動	まちづくりに関わる活動	障がい者に関わる活動	青少年の教育・育成に関わる活動	その他	無回答
東小学校区	13.0	7.3	2.4	3.3	10.6	25.2
西小学校区	9.6	11.5	9.6	6.7	7.7	27.9
南小学校区	14.0	13.0	6.0	6.0	1.0	31.0
北小学校区	13.3	14.3	5.7	3.8	7.6	24.8
神守小学校区	15.0	10.8	5.8	5.0	8.3	18.3
蛭間小学校区	12.2	8.7	12.2	2.6	1.7	28.7
高台寺小学校区	10.6	10.6	4.4	10.6	8.0	23.9
神島田小学校区	11.6	9.5	8.4	5.3	5.3	18.9

問 25 あなたがこれまで行っている活動で、成果があがってきたものがあれば、具体的にお聞かせください。

## 総 括

「コミュニティ活動」においては、協力者や、参加者が増加しており、成果があがっている、そして、この活動によって子どもが立派に育っているという意見があります。

活動をしたことによって、実際に活動を実施している人の意識の向上などが図られているとともに、活動によって、地域の子どもの育成などに大きな成果があがっていることなど、地域や周辺住民にも良い影響を与えていることがわかります。

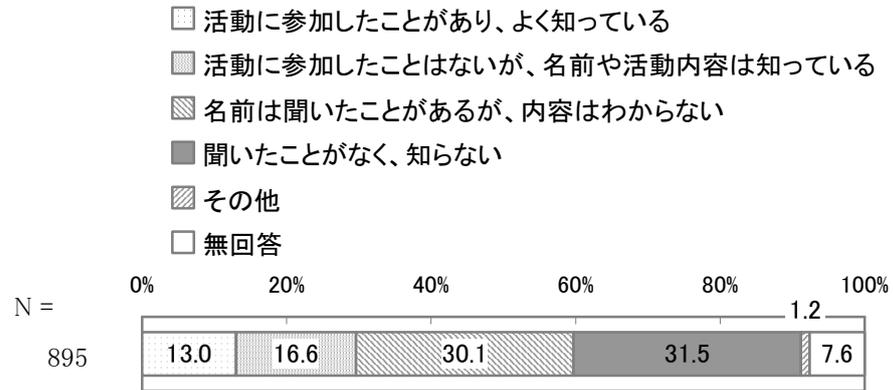
### 《アンケート結果》

子育てや児童に関わる活動（12件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の廃品回収もより簡素にし、負担が軽くなるように工夫しているが、少子化によりさらに活動が縮小されてきている</li> <li>・子どもたちにこちらから挨拶をしていたら、子どもたちの方からするようになった</li> </ul>	地域ぐるみで子どもを育てていくことが重要であると考えられます。
コミュニティ活動（10件）		コミュニティ活動を行うことにより、若い世代の参加が増加し地域の活性化が図られています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協での活動で、協力者や、参加者が増加し成果があがっている</li> <li>・地域で育てた子ども達が地元に戻ってきてくれて、一緒に活動してくれている</li> <li>・地元の町内会活動への年齢や性別の制限を取除いたことにより活性化しはじめた</li> </ul>	
各スポーツ、文化等活動（8件）		地域イベントを開催することで多くの世代の参加があり、異世代間の交流が図られています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金受給者の交流にゴルフのコンペを実施し、高齢者同志の会話等で楽しい会を続けている</li> <li>・居合道を通じて、青少年の育成をした</li> <li>・町内会全体で大運動会を開催し好評であったが現在は取りやめになっているのが残念</li> </ul>	
防犯、防災活動（6件）		自発的に地域の防犯パトロールや防災の啓発をすることで自らの地域の安全を自らで守る意識を高めています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防犯パトロールで近所の方々との交流もでき、さらには犯罪件数も減少した</li> <li>・住宅の高齢化が進み、住みよくする為に、階段などに手すりを付ける提案が通り、実行された</li> <li>・防災関係で、住人への意識を高めてもらうよう案内をしたり、防災備品を貯えたりしている</li> </ul>	

<b>高齢者、障害者に関わる活動（5件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホームへ慰問を三年間つづけている</li> <li>・高齢者リハビリセンターの訪問</li> </ul>	
<b>町内クリーン作戦（5件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを減らし、農薬等もまかないようにしている</li> <li>・衛生委員を個人にではなく、「班」に割り当て、班の全員が一年間4か所のゴミ集積所の管理をしゴミの出し方マナーがよくなり、町内の運営に関わることの大切さを確認できた</li> </ul>	
<b>健康づくり、医療に関わる活動（2件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の健康、そして仲間作り</li> <li>・高齢者体操に行き、健康の喜びを知る</li> </ul>	
<b>その他（2件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番とか順番でやってるだけであまり達成感はない</li> <li>・町内の施設（側溝の系統図）の作成を行った</li> </ul>	

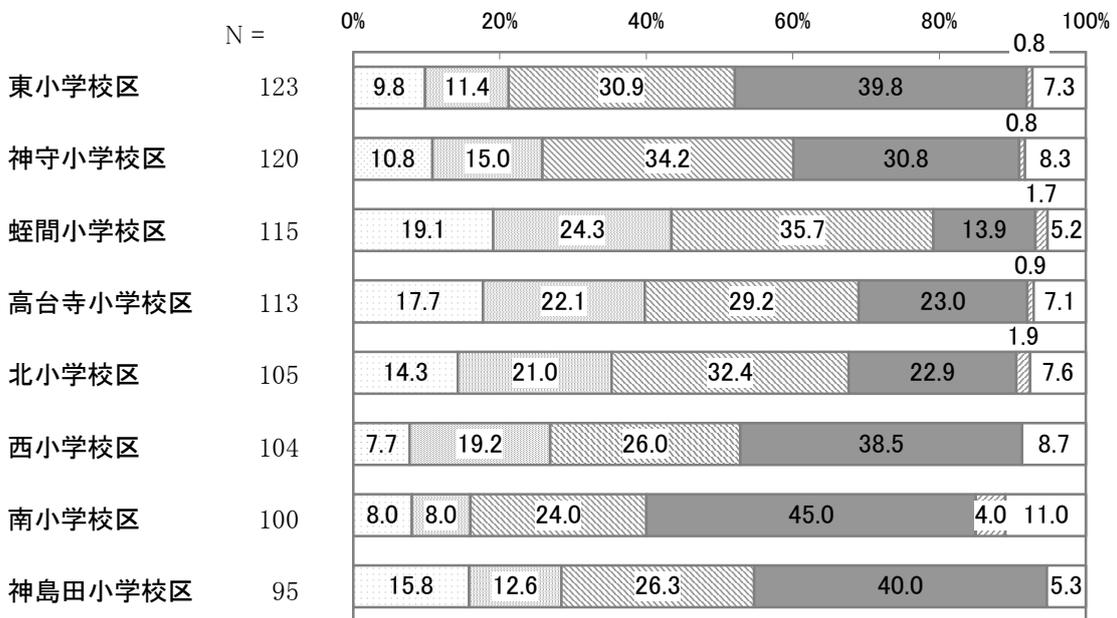
問 26 各小学校区コミュニティ推進協議会の存在や活動はご存知ですか。  
(○は1つだけ)

「聞いたことがなく、知らない」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容はわからない」の割合が 30.1%、「活動に参加したことはないが、名前や活動内容は知っている」の割合が 16.6%となっています。



【校区别】

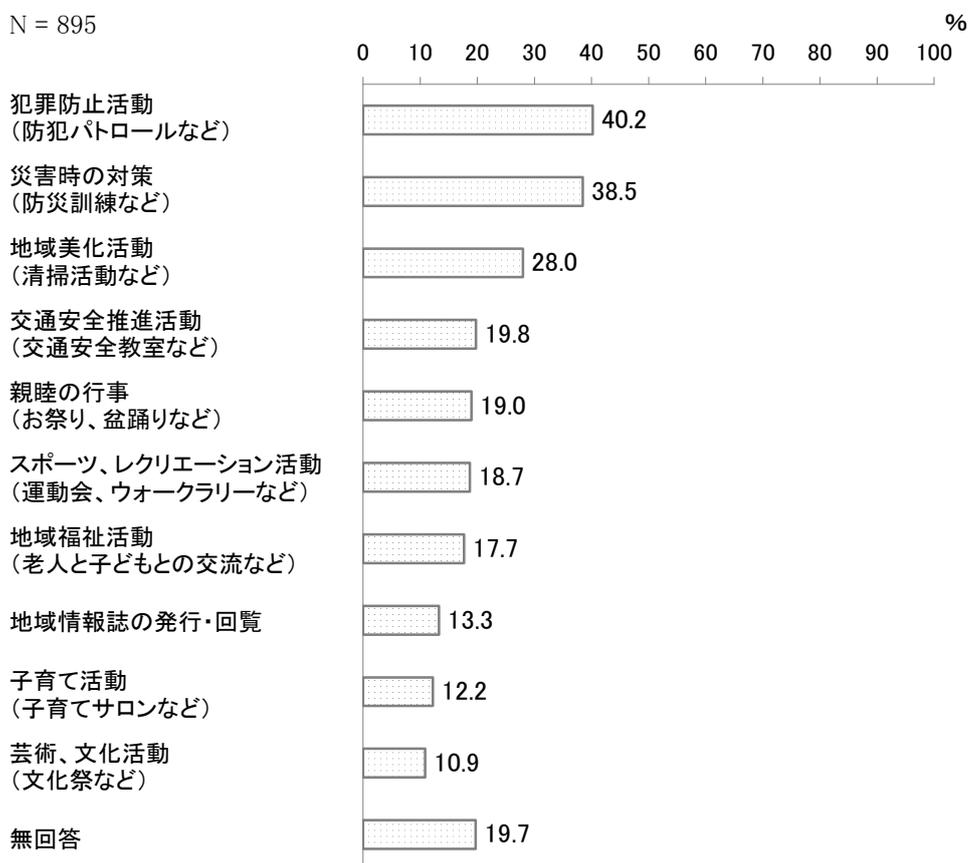
「聞いたことがなく、知らない」の割合が 4 割以上の校区は、南小学校区 (45.0%)、神島田小学校区 (40.0%) となっています。



問 27 コミュニティ推進協議会のどんな活動に期待しますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「犯罪防止活動（防犯パトロールなど）」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「災害時の対策（防災訓練など）」の割合が 38.5%、「地域美化活動（清掃活動など）」の割合が 28.0%となっています。

N = 895



## 【校區別】

すべての校区で「犯罪防止活動（防犯パトロールなど）」「災害時の対策（防災訓練など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	犯罪防止活動（防犯パトロールなど）	災害時の対策（防災訓練など）	地域美化活動（清掃活動など）	交通安全推進活動（交通安全教室など）	親睦の行事（お祭り、盆踊りなど）	スポーツ、レクリエーション活動（運動会、ウォークラリーなど）	地域福祉活動（老人と子どもとの交流など）	地域情報誌の発行・回覧	子育て活動（子育てサロンなど）	芸術、文化活動（文化祭など）	無回答
東小学校区	123	35.0	39.8	22.0	17.1	17.1	16.3	24.4	13.0	13.0	11.4	18.7
西小学校区	104	34.6	39.4	28.8	24.0	14.4	20.2	9.6	12.5	9.6	12.5	22.1
南小学校区	100	39.0	41.0	28.0	20.0	19.0	18.0	16.0	14.0	12.0	6.0	28.0
北小学校区	105	41.0	30.5	25.7	16.2	17.1	13.3	16.2	13.3	6.7	14.3	23.8
神守小学校区	120	38.3	40.8	25.8	18.3	21.7	22.5	20.0	15.8	19.2	13.3	16.7
蛭間小学校区	115	43.5	46.1	32.2	26.1	21.7	16.5	17.4	13.9	9.6	9.6	14.8
高台寺小学校区	113	50.4	36.3	37.2	23.0	23.9	23.0	19.5	9.7	15.9	8.0	17.7
神島田小学校区	95	40.0	34.7	25.3	11.6	13.7	20.0	16.8	13.7	10.5	12.6	13.7

問 28 コミュニティ推進協議会に期待することなどございましたら、ご自由にお書きください。

## 総 括

コミュニティ推進協議会に期待することとして、「住みやすいまちづくり」や「地域と交流の場の提供」「防犯、防災、交通安全対策」などがあがっています。

「住みやすいまちづくり」では、積極的な自信を持つ人が育つ地域づくりなどが求められています。

「地域と交流の場の提供」においては、地域での運動会などの地域活動が少なくなってきたことから、地域のイベントなどを開催し、地域に愛着が持てるようにしてほしいという声があがっています。

このような項目がコミュニティ推進協議会に期待されている反面、コミュニティ推進協議会の認知度が低く、住民の理解が得られていない部分も見受けられます。今後は、コミュニティ推進協議会の活動内容を周知していくとともに、コミュニティ推進協議会が地域でリーダーシップをとり、地域を活性化していくことが求められています。

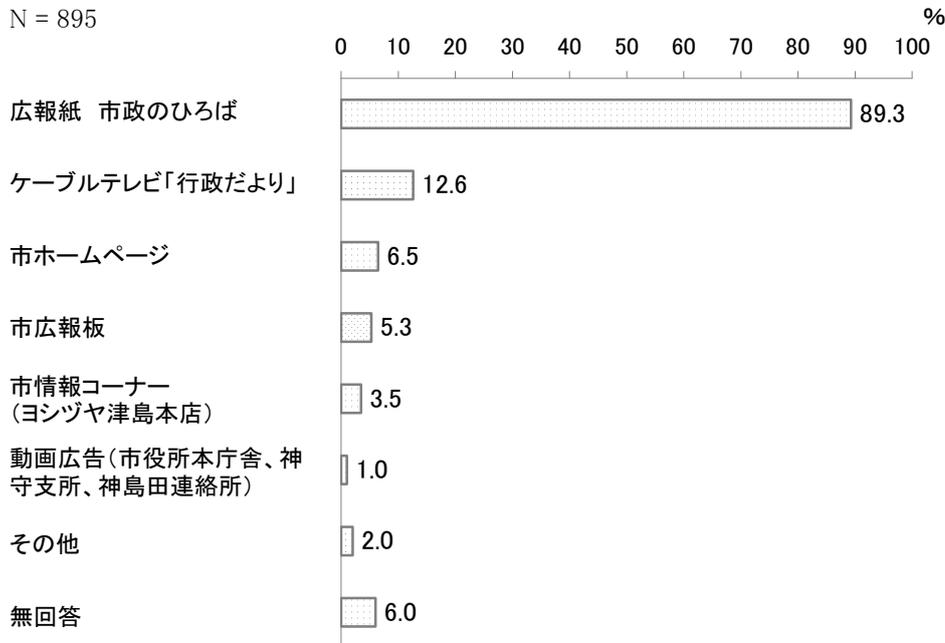
《アンケート結果》

活動の進め方について（13件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化にともない、それぞれの住民が自分の生活にあった近所付き合いを望む</li> <li>・難しい近所付き合いを円滑にする為にコミュニティ推進協議会に期待したい</li> <li>・コミュニティ推進協議会の進め方が、すべてトップダウンで行われている。自主的な活動を展開していくのなら要望や問題を拾い出して、何をしたらよいのかを考えなければならない</li> <li>・今のコミュニティ推進協議会がしているのは年に1度の「お祭」さわぎだけしか見えていないので期待しようがない</li> </ul>	<p>コミュニティへの期待と不満についての意見に分かれています。今後は地域にあった住民主体のコミュニティ活動への変革が望まれています。</p>
コミュニティ推進協議会の認知度（11件）		<p>各地域へのコミュニティの認知度に温度差があります。今後はコミュニティペーパーを利用した活動報告やイベント等での啓発が必要であると思われます。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動がみえない！中心の人たちの意見交換や活動を知らせる回数を増やし、もっと他の人の意見も取り入れるしくみがほしい</li> <li>・認知度は低いので、役員さんが、地域の人達を積極的に誘い皆が楽しんで参加できる行事を増やしてもらおうと良い</li> <li>・町内会には、積極的に参加しているつもりですが、コミュニティ推進協議会については内容がよく分からない。町内会とのつながりが希薄な気がする</li> </ul>	
参加しやすい活動の推進（11件）		<p>地域の老若男女が参加しやすいイベントを主体としたコミュニティ活動を期待していることが伺えます。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民全員が、いつでも気軽に参加できる、又、参加しやすいコミュニティ活動を望む</li> <li>・町内の有力者が高齢者中心では若者の活動範囲が狭くなる</li> <li>・他県から移り住んだ方々は、古い体制や確執に、反感を持っている方々も多い</li> <li>・もう少し若い人の交流が必要と思う。老人たちだけでなく、若い人が主体となってイベントを企画するべき</li> </ul>	
地域情報誌の発行・回覧（8件）		<p>コミュニティペーパーの発行回数を増やすことで地域の方々への認知度を上げていくことが必要であると思われます。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精力的に活動していても、それが地域に知られていないのでは仕方がない。市の広報紙のようなものだと、読む気にならないのもっと魅力的な広報づくりを</li> <li>・コミュニティに関わる役員さん方々が自分の地域にその活動、内容をもっと詳しく知らせてほしい</li> </ul>	
地域と交流の場の提供（7件）		<p>公園や広場など地域で集える場所を設けることでコミュニティ活動が活発になると思われます。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会がなくなったのでまたしてほしいと思う</li> <li>・老人と子供の交流の場を多く作る</li> <li>・無料や格安で遊べる（子供と参加できる）イベントを沢山用意すれば友達との交流が増え、地域にもっと愛着がわく</li> </ul>	
防犯、防災、交通安全対策（7件）		<p>コミュニティのイベントで防犯防災の要素を取り入れることが必要であると思われます。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会の競技の一部に防災訓練を組み入れた競技をつくり防災知識を高められる工夫をする</li> <li>・安心安全な街になるよう、防犯パトロールや交通安全（特に自転車の人）のマナー教室など行いう</li> </ul>	

<b>住みやすいまちづくり（6件）</b>		
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのような街を作っていこうか、という目的、指針が示されずに街づくりは難しいので、各界のメンバーが集まって課題と方向性を検討してほしい</li> <li>・ 行政、法人、地域住民が、まずどのような街づくりを行うのか、その課題は何か推進していく</li> <li>・ 推進する側もされる側も共に楽しく、次も「がんばりたい」と思えるような会にすることで津島の未来に希望を持てる積極的な市民が育つのではないか</li> </ul>	市民と事業者と行政とが一体となってどのようなコミュニティを作っていくのかを議論していくことが必要であると思われます。
<b>子育て活動（子育てサロンなど）（5件）</b>		
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てにおいて心のよりどころとなる場所を保健センター以外にもっとつくってほしい</li> <li>・ 孤独に子育てをしている母親は少なからずいるので頼りになる場所と人（保母、子育てを終えた先輩主婦など）をたくさんつくってほしい</li> <li>・ 老人と子どもの交流や、子育て支援の中で、老人と子どもが触れ合えるサロンがあると、子どもの情緒が安定すると思う</li> </ul>	コミュニティが中心となり子育てサロン等を充実させることが挙げられています。
<b>地域美化活動（清掃活動など）（4件）</b>		
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の小中学校とも連携し、大人と子供で取り組み、子供に見本をみせるような活動ができればいい。</li> <li>・ 協議会に属する役員や世話役の方々は時間があれば日々毎日道路等の清掃活動を率先して行えば、これを見た地域の人々が自分たちもしなくてはと思う</li> </ul>	地域の美化の側面からコミュニティ活動を支援していくことの必要性が挙げられています。
<b>学校区単位の組織化（3件）</b>		
<b>意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもがいないので、地域とのつながりがとりにくい。かつては参加を強制されていたところがあったが、そのおかげでつながりが保てた</li> <li>・ 子どもから高齢者まで住民参加できるいろいろな行事を行い地域社会の交流をはかる</li> </ul>	少子高齢化により小学校区単位でつながりをつくっていくことが挙げられています。

問 29 津島市が行っている広報活動のうち、どこから市の情報を得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「広報紙 市政のひろば」の割合が 89.3%と最も高く、次いで「ケーブルテレビ「行政だより」」の割合が 12.6%、「市ホームページ」の割合が 6.5%となっています。



その他、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

### 総 括

多くの市民が昔に比べ、地域のコミュニティの希薄化していることを問題視しています。新しく津島市に引っ越してきた人や、昼間働いており、なかなか地域活動に時間を取れない人が多くなってきていること、また町内や地域の行事が少なくなっていることなどが地域コミュニティの希薄化を進行させています。

また、町内会の活動についても、役員の負担により、担い手がないことが問題となっています。

これらの地域のコミュニティを活性化させていくための組織や活動が少なくなっています。今後は、コミュニティ推進協議会が、コミュニティを活性化していくための担い手となり、地域住民で、行政との協働のもと、地域を活性化していくことが必要となっていきます。

コミュニティを活性化していくためにも、ここを出ている「地域情報の発行・掲示・回覧」についてや「防犯、防災」「子育て支援・福祉活動」などの地域課題を解決していくことが重要となります。

《アンケート結果》

地域コミュニティ活動について（15件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの代表をしているがものすごい難しさがああり、高齢者が多く行事1つするにもものすごい時間がかかる</li> <li>・高齢者が興味を持つことは何か考える</li> <li>・防災についてもほとんどの人が、無関心であり、防災訓練への参加が少ない</li> <li>・コミュニティ活動をどのようにまとめればよいか不安</li> <li>・古い街だからこそ、新しく住んでいる（町内に入会した人）とも調和をとってほしい。新しい人を入れて新しい風を入れることも必要</li> </ul>	<p>どのようにしたら地域活動やコミュニティに興味を持ってもらえるかが課題として挙げられています。</p>
地域情報の発行・掲示・回覧（11件）		目立つ場所で地域の情報を発信する重要性が挙げられています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津島市避難所、避難場所 MAP を記載した大型掲示板を駅や主な施設などに設置すればいざという時に役立つ</li> <li>・自分の住んでいる地域の「行事・サークル・懇談会・防災・防震など」知識、情報が不足気味</li> </ul>	
行政の取り組みについて（9件）		行政が積極的に情報を発信したり、地域コミュニティを指導、先導していくことが求められています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所が中心になって何でも地域を引っ張るべき</li> <li>・市役所がコミュニティの育成の方法を教育・指導すべき</li> <li>・知識や経験の豊富な団塊の世代の方々に地域の活動（ボランティア）に参加が出来るように行政が積極的に働きかける</li> <li>・個人情報保護法により住民の名簿のが作れない。今後の防災、地域安全を考えると町内会長（囑託）だけでも丸秘書類として行政からいただきたい</li> <li>・コミュニティ推進のためには、町内全体住人の把握が一番大切と考える。</li> </ul>	
町内会の活動について（7件）		町内住民の高齢化や町内会の活動が負担となっている現状がうかがえます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋祭りや、町内での負担が多く大変である。町内会への入会という質問もあったが、町内会に入るのは当たり前の状態</li> <li>・葬儀となると受付、お茶出しなどで仕事を休み地域町内に貢献しなくてはいけない</li> <li>・町内会という枠組みの中で活動参加することは本当に大変な仕事でうまくいかなる場合が出ている。また町内全体の年齢が高くなってきて班長もできない人がいる</li> </ul>	
歴史と文化のまちづくり（6件）		津島市内にある歴史的遺産や祭りを地域が一体となって守り、継承し、活かしていくことが必要であると思われれます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津島市は古い歴史と文化を持っていると思う。それを生かして魅力ある町づくりを行い、多くの人が住みたくなる町、市にしていきたい</li> <li>・津島市には天王まつりという古い歴史を持つ、格式の高い祭りが有るが、祭りの歴史や具体的な内容など、津島に生まれ育ったものでさえ知らない人が多いのは、とても残念</li> <li>・学校教育の中で、天王まつりを始めとし、寺院が多い津島市の良さがPRする必要がある</li> <li>・小さな町で良いので、一体感ある町づくりに心掛けてほしい</li> </ul>	

<b>子育て支援・福祉活動（５件）</b>		子どもと一緒に活動できる場所やイベントが求められています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津島市に住みたいと、子育て中の親が思える町にしてほしい。そしてその子供たちが、この場で次の世代を作っていける町にしてほしい</li> <li>・子どもを預けて働けるように、託児所等があるとよい。</li> <li>・子どもが田植えや、農作物の収穫等、身近にできるとよい</li> </ul>	
<b>公園、福祉施設の充実（３件）</b>		多目的な広場や施設の整備が求められています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動ができる広場、安心して遊べる広域広場があるといい</li> <li>・子供の遊び場がないので、あれば親と子供の交流ができ、いいと思う</li> </ul>	
<b>防犯、防災について（２件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の町は災害時に避難場所が遠い。地域ごとの防災に力を入れてほしい</li> <li>・防犯灯を増設し、明るい町にしてほしい</li> </ul>	
<b>ゴミだしマナーについて（２件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを捨てぬよう啓発活動を大々的にしてほしい。</li> <li>自販機を撤去する為に津島市に新たに市条例化を取り組むことを検討する。</li> </ul>	
<b>交通機関の充実（２件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・バスの停留所を大型スーパーの玄関にしてほしい</li> <li>・コミュニティ・バスの小型化</li> </ul>	
<b>シルバーボランティア（２件）</b>		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>お年寄りも何かの役に立ちたいという実感があれば生活に張りが出ると思う</li> <li>・いろいろな能力があるお年寄りが大勢みえるので、もっと活用してあげたらと思う</li> </ul>	

## (2) 町内会長・嘱託員調査

## 調査項目

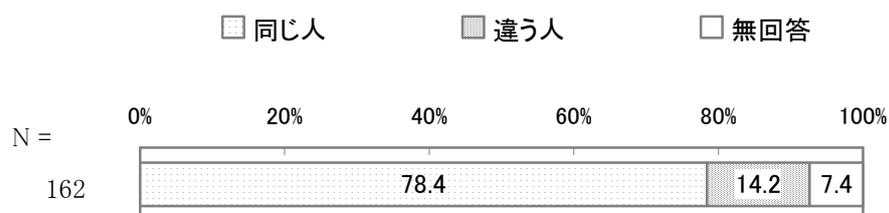
区分	質問項目	
町内会の概要	問1(1) 町内会長と嘱託員の兼務	
	(2) 町内会長、嘱託員、町内会役員の選出方法	
	(3) 加入世帯数	
	(4) 加入率	
	(5) 班の数	
	(6) 町内会の結成時期	
	(7) 所在の校区	
	(8) 平成22年度決算額	
	(9) 月額町内会費	
	(10) 規約の有無	
問2	運営上の、世帯数及び班数の規模の妥当性	
問3	総会への参加状況	
問4	未加入世帯への加入促進の有無	
問5	未加入世帯の特徴	
集会所について	問6	活動を行うとき利用している施設
	問7	集会所の有無
	問7-1	集会所の名称
	問7-2	集会所の建設時期
	問7-3	集会所の延べ床面積及び収容人数
	問7-4	集会所の建物の所有者
	問7-5	集会所の土地の所有者
問7-6	集会所の利用方法	
町内会活動について	問8	町内会の活動頻度、参加者数、共に活動している団体
	問9	特に力を入れている活動
	問10	町内会業務助成金についての意向
	問11	助成金の会計への入金の有無
	問12	役員や嘱託員への報酬の有無
	問12-1	報酬の年額
	問13	運営にあたっての課題
問14	運営で工夫している点、成果があがった点	
今後の活動について	問15	今後行いたい活動
	問16	行政に望む支援
広報紙等の配布について	問17	広報紙等の配布、回覧方法
	問18	広報紙等の配布、回覧に関して困っている点
回答者属性 (町内会長)	問19	性別
	問20	年齢
	問21	職業
	問22	町内会長としての通算年数
	問23	町内会の運営・活動についての自由意見
回答者属性 (嘱託員)	問24	性別
	問25	年齢
	問26	職業
	問27	嘱託員としての通算年数
	問28	嘱託員制度についての自由意見

## ア 町内会の概要について（町内会長が回答）

問1 町内会長・嘱託員等の概要について、教えてください。

（1）町内会長と嘱託員は、同じ人ですか。（○は1つだけ）

「同じ人」の割合が78.4%、「違う人」の割合が14.2%となっています。

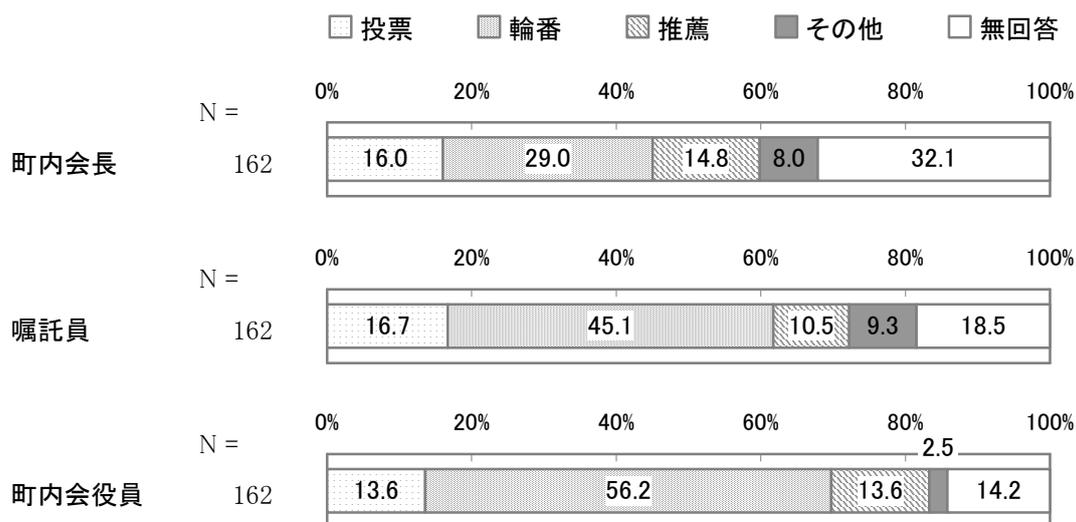


（2）町内会長、嘱託員、町内会役員は、どのように選出されていますか。（○は1つだけ）

町内会長では、「輪番」の割合が29.0%と最も高く、次いで「投票」の割合が16.0%、「推薦」の割合が14.8%となっています。

嘱託員では、「輪番」の割合が45.1%と最も高く、次いで「投票」の割合が16.7%、「推薦」の割合が10.5%となっています。

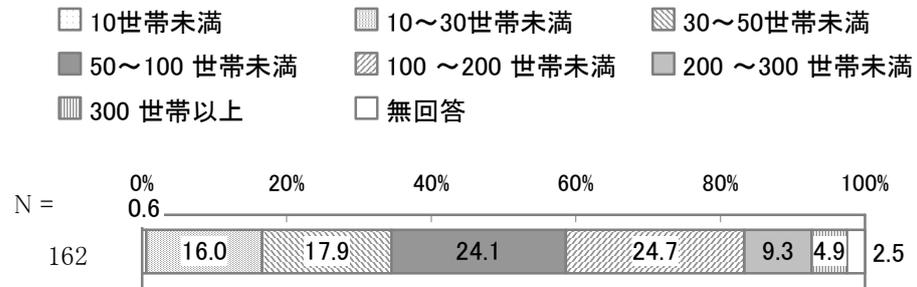
町内会役員では、「輪番」の割合が56.2%と最も高く、次いで「投票」「推薦」の割合が13.6%となっています。



その他意見として、「話し合い」「二年目役員による相談」「じゃんけん」「町内役員よりくじにて決める」などがありました。

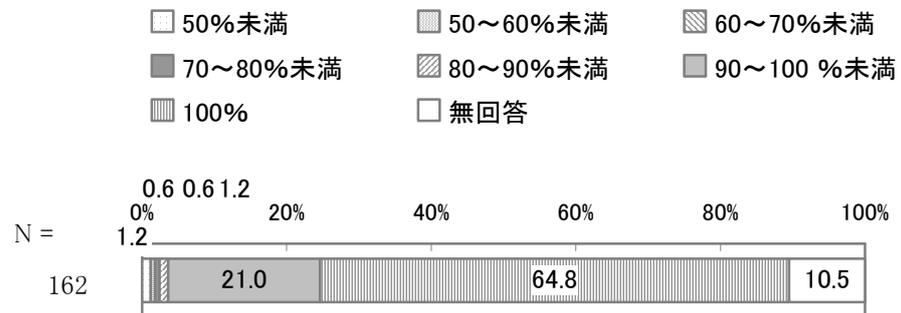
### (3) 加入世帯数

「100～200 世帯未満」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「50～100 世帯未満」の割合が 24.1%、「30～50 世帯未満」の割合が 17.9%となっています。



### (4) 加入率

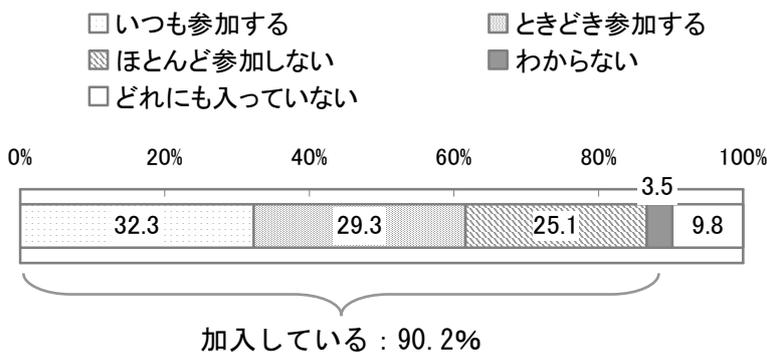
「100%」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「90～100%未満」の割合が 21.0%、「50%未満」の割合が 1.2%となっています。



【参考資料】平成19年度国民生活白書より

問 町内会（部落会）や自治会、商店会などの会合や行事には、お宅からはいつも参加していますか、ときどき参加する程度ですか、それともほとんど参加していませんか。

1970年の町内会・自治会への加入率は9割

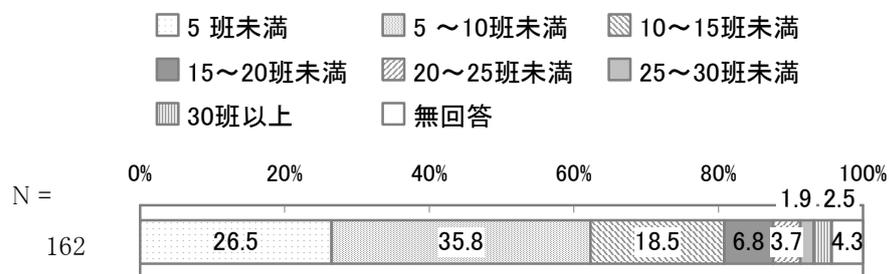


【備考】

1. 内閣府「社会的関心に関する世論調査」（1970年）により作成。
2. 「町内会（部落会）や自治会、商店会などの会合や行事には、お宅からはいつも参加していますか、ときどき参加する程度ですか、それともほとんど参加していませんか。」という問に対し、回答した人の割合。
3. 回答者は、全国の20歳以上の男女2,548人。

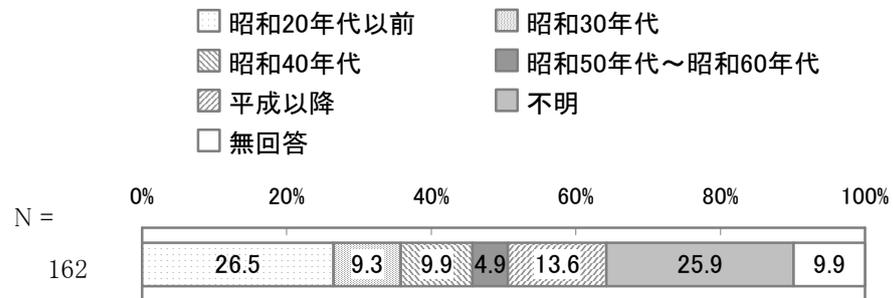
（5）班の数

「5～10班未満」の割合が35.8%と最も高く、次いで「5班未満」の割合が26.5%、「10～15班未満」の割合が18.5%となっています。



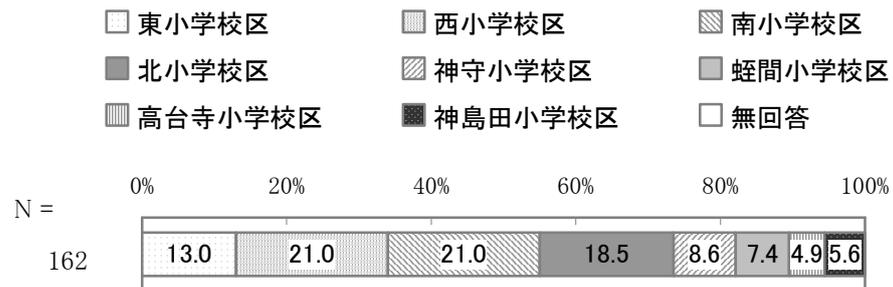
### (6) 町内会の結成時期 (〇は1つだけ)

「昭和20年代以前」の割合が26.5%と最も高く、次いで「不明」の割合が25.9%、「平成以降」の割合が13.6%となっています。



### (7) 所在の校区

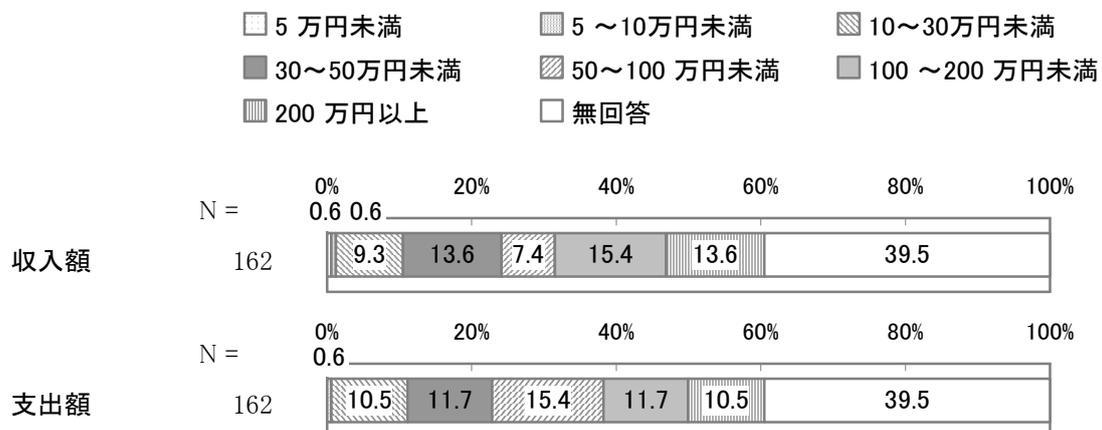
「西小学校区」「南小学校区」の割合が21.0%と最も高く、次いで「北小学校区」の割合が18.5%、「東小学校区」の割合が13.0%となっています。



### (8) 平成22年度決算額

収入額は、「100~200万円未満」の割合が15.4%と最も高く、次いで「30~50万円未満」「200万円以上」の割合が13.6%となっています。

支出額は、「50~100万円未満」の割合が15.4%と最も高く、次いで「30~50万円未満」「100~200万円未満」の割合が11.7%となっています。

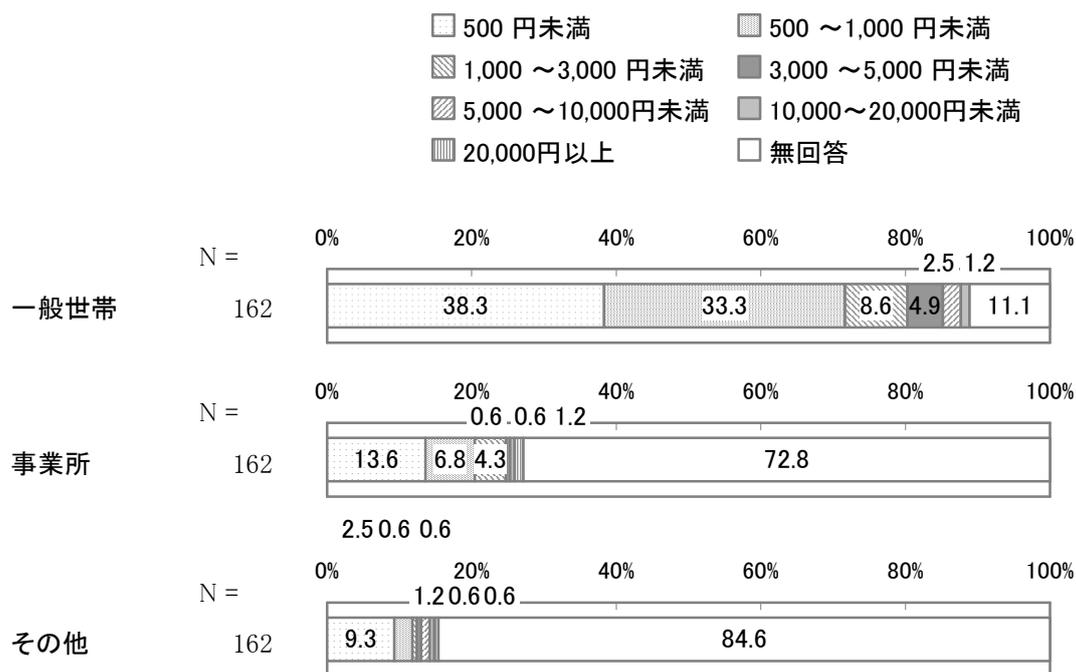


### (9) 月額町内会費

一般世帯では、「500円未満」の割合が38.3%と最も高く、次いで「500～1,000円未満」の割合が33.3%、「1,000～3,000円未満」の割合が8.6%となっています。

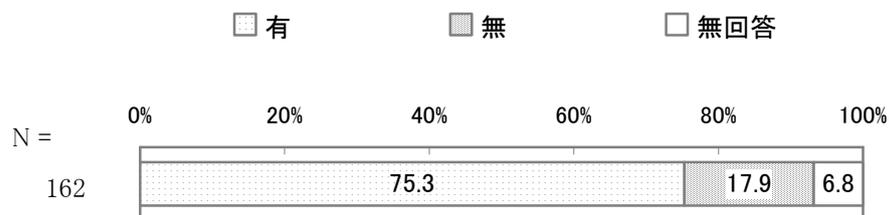
事業所では、「500円未満」の割合が13.6%と最も高く、次いで「500～1,000円未満」の割合が6.8%、「1,000～3,000円未満」の割合が4.3%となっています。

その他では、「500円未満」の割合が9.3%と最も高く、次いで「500～1,000円未満」の割合が2.5%、「5,000～10,000円未満」の割合が1.2%となっています。



### (10) 町内会に規約（町内の決め事）等がありますか。（○は1つだけ）

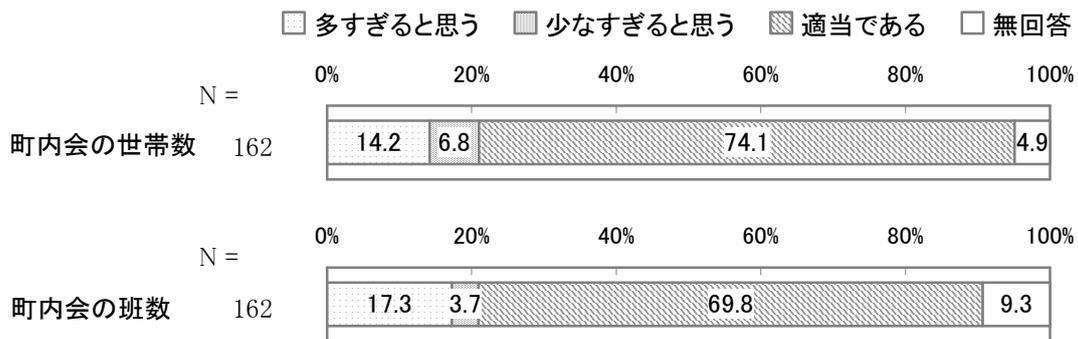
「有」の割合が75.3%、「無」の割合が17.9%となっています。



**問2 町内会を運営するうえで、現在の世帯数及び班数は、適当な規模であると思いますか。(○は1つだけ)**

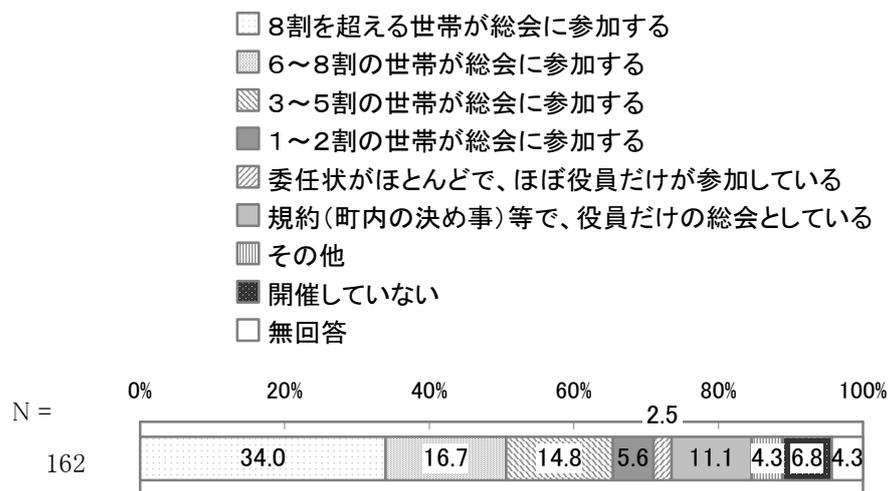
町内会の世帯数では、「適当である」の割合が74.1%と最も高く、次いで「多すぎると思う」の割合が14.2%、「少なすぎると思う」の割合が6.8%となっています。

町内会の班数では、「適当である」の割合が69.8%と最も高く、次いで「多すぎると思う」の割合が17.3%、「少なすぎると思う」の割合が3.7%となっています。



**問3 町内会の総会に、どの程度参加されていますか。(○は1つだけ)**

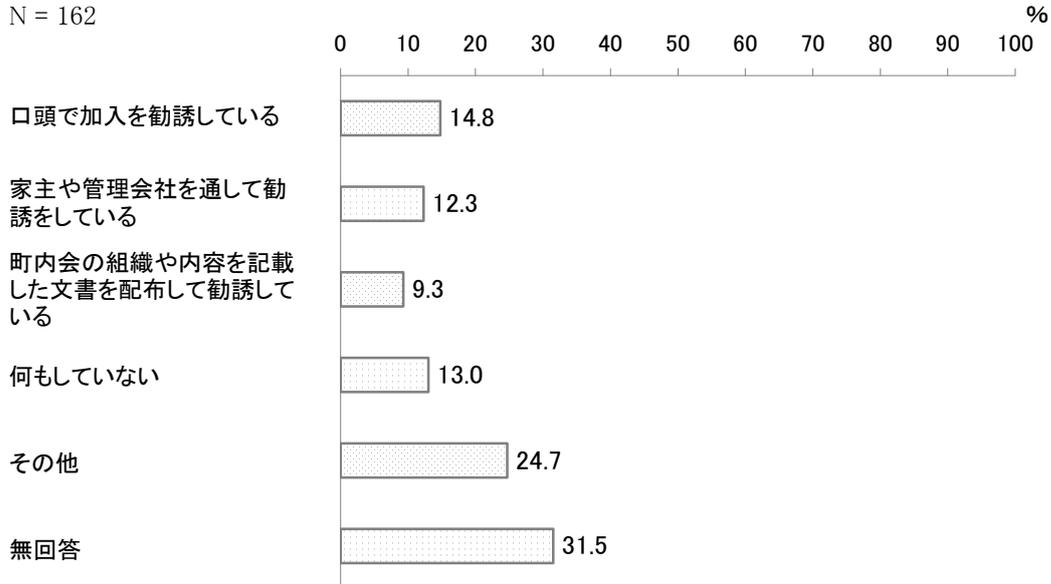
「8割を超える世帯が総会に参加する」の割合が34.0%と最も高く、次いで「6～8割の世帯が総会に参加する」の割合が16.7%、「3～5割の世帯が総会に参加する」の割合が14.8%となっています。



**問4 未加入世帯には、何らかの加入促進をしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)**

「口頭で加入を勧誘している」の割合が14.8%と最も高く、次いで「何もしていない」の割合が13.0%、「家主や管理会社を通して勧誘をしている」の割合が12.3%となっています。

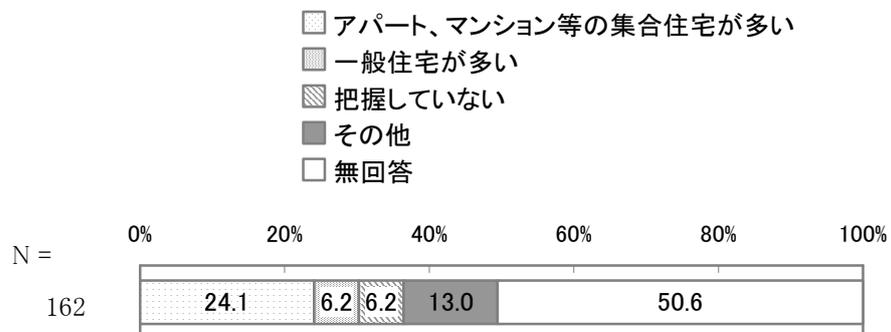
N = 162



その他意見として、「未加入を約束で入居している」「班長さんを通じて」「原則として、町内に住む場合は加入していただく」などがありました。

**問5 未加入世帯がある場合、それらの世帯には、どのような特徴がありますか。(○は1つだけ)**

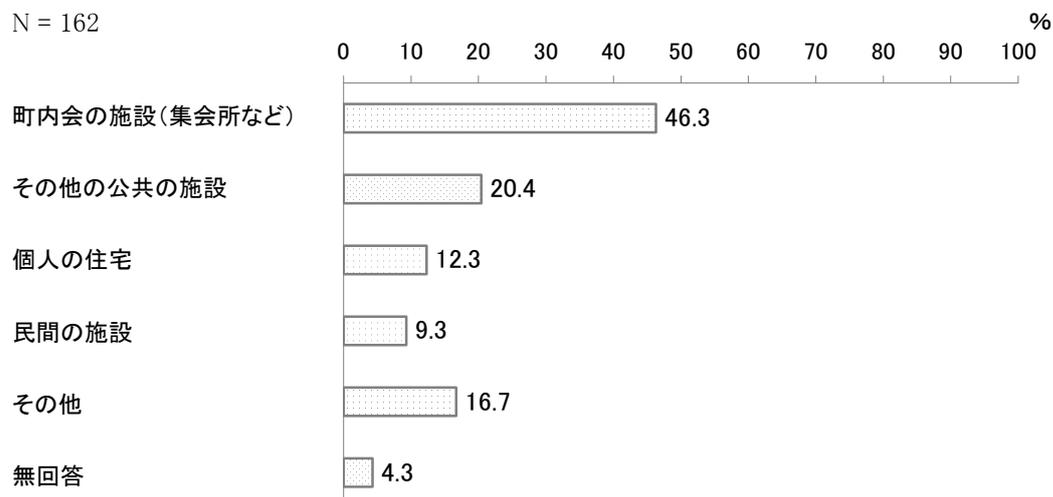
「アパート、マンション等の集合住宅が多い」の割合が24.1%と最も高く、次いで「一般住宅が多い」「把握していない」の割合が6.2%となっています。



## イ 集会所について（町内会長が回答）

問6 あなたの町内会では、活動を行うときにどのような施設を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

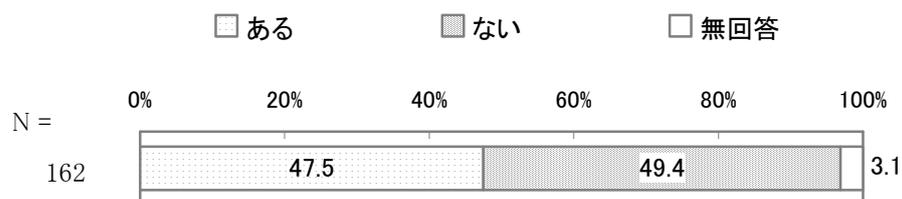
「町内会の施設（集会所など）」の割合が46.3%と最も高く、次いで「その他の公共の施設」の割合が20.4%、「個人の住宅」の割合が12.3%となっています。



その他意見として、「飲食店・喫茶店」「町内の寺院」「隣町の集会所」「マンション内スペース・マンションの集会所」「民間の施設、有料」などがありました。

問7 あなたの町内会には集会所がありますか。（○は1つだけ）

「ある」の割合が47.5%、「ない」の割合が49.4%となっています。



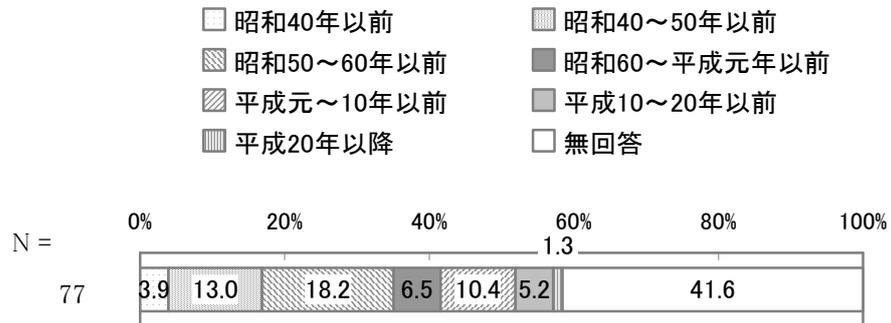
問7で「ある」と回答された方にお聞きします。

問7-1 その建物の名称は。

サンパーク津島3F	親愛集会所
瑠璃光寺薬師堂集会所	集会所とだけ呼んでいる
町民の家	瑠璃小路町集会所
愛宕集会所	参集所
(憩) いこいの家	集会場 (名称特に無い)
集会所	愛宕町参集所
消防東厚二階	秋葉神社参集所
大土社社務所	橘コーポラス
マンション	集会所
南いこいの家	白山神社
永楽町集会所	松原町集会所 (と呼んでいるが、正確にはわからな
又吉社、又吉集会所	城山町三丁目西ブロック、集会場
お寺	東愛宕町集会所
居住マンション	ソフィア津島内キッズルーム

問7-2 建物を建設した時期は。

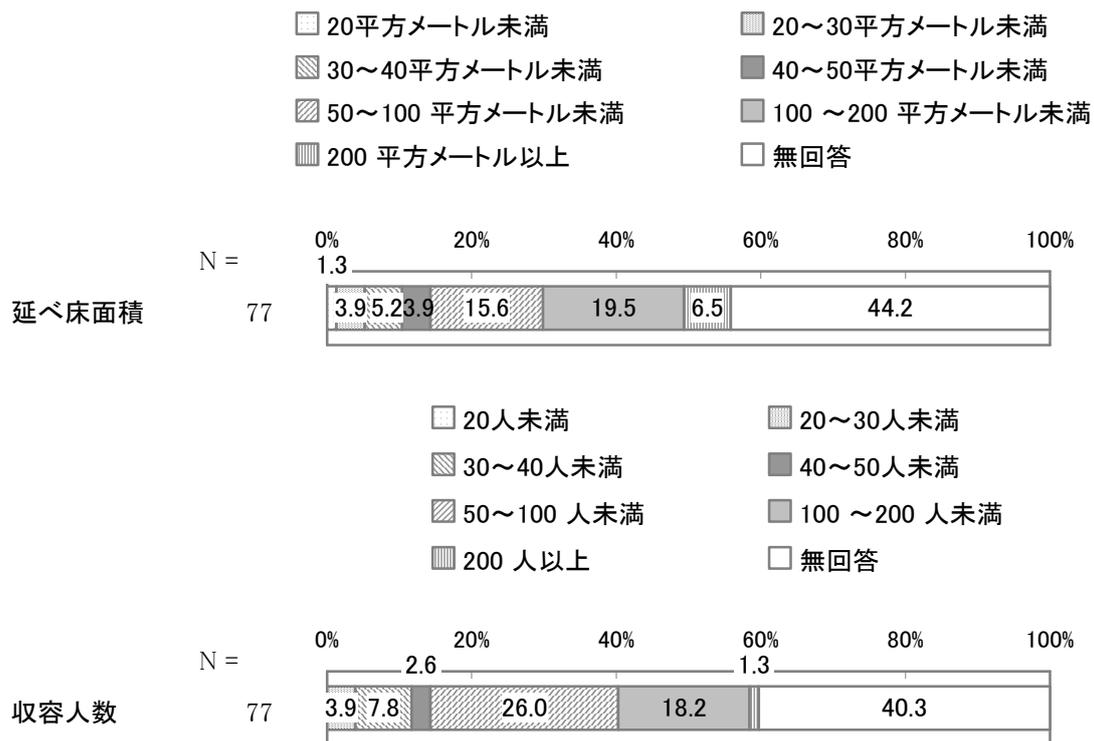
「昭和50～60年以前」の割合が18.2%と最も高く、次いで「昭和40～50年以前」の割合が13.0%、「平成元～10年以前」の割合が10.4%となっています。



問 7-3 建物の延べ床面積及び収容人数は。

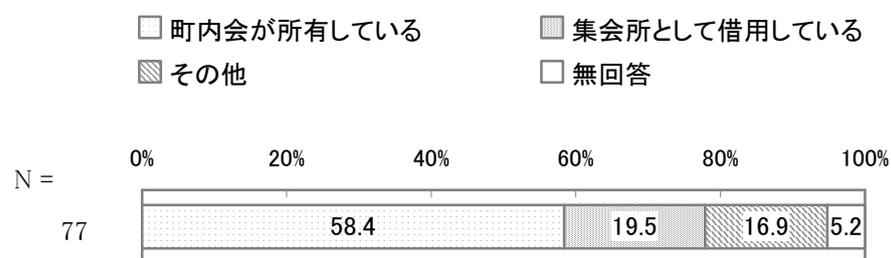
延べ面積では、「100～200 平方メートル未満」の割合が 19.5%と最も高く、次いで「50～100 平方メートル未満」の割合が 15.6%、「200 平方メートル以上」の割合が 6.5%となっています。

収容人数では、「50～100 人未満」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「100～200 人未満」の割合が 18.2%、「30～40 人未満」の割合が 7.8%となっています。



#### 問 7-4 建物は、町内会の所有ですか。

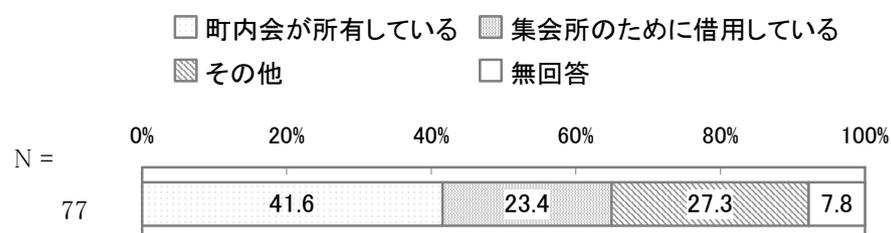
「町内会が所有している」の割合が 58.4%、「集会所として借用している」の割合が 19.5%となっています。



その他意見として、「規約における共用部」「マンション内共有スペース」「地縁団体」などがありました。

#### 問 7-5 土地は、町内会の所有ですか。

「町内会が所有している」の割合が 41.6%、「集会所のために借用している」の割合が 23.4%となっています。

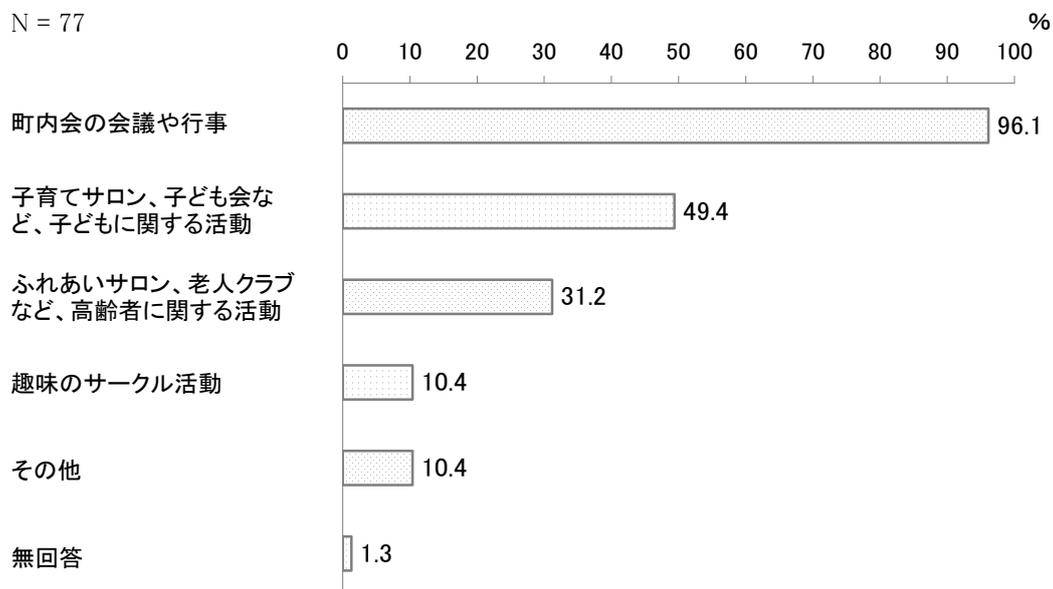


その他意見として、「市所有地」、「市からの無償貸与」、「マンション住民の共有」「地縁団体」などがありました。

問 7-6 主にどんな活動に利用されていますか。(あてはまるものすべてに○)

「町内会の会議や行事」の割合が 96.1%と最も高く、次いで「子育てサロン、子ども会など、子どもに関する活動」の割合が 49.4%、「ふれあいサロン、老人クラブなど、高齢者に関する活動」の割合が 31.2%となっています。

N = 77



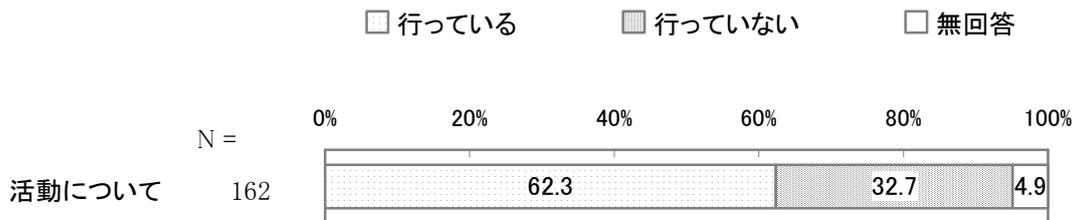
その他意見として、「避難所」「消防活動」「管理組合の会議や行事」などがありました。

## ウ 町内会活動について（町内会長が回答）

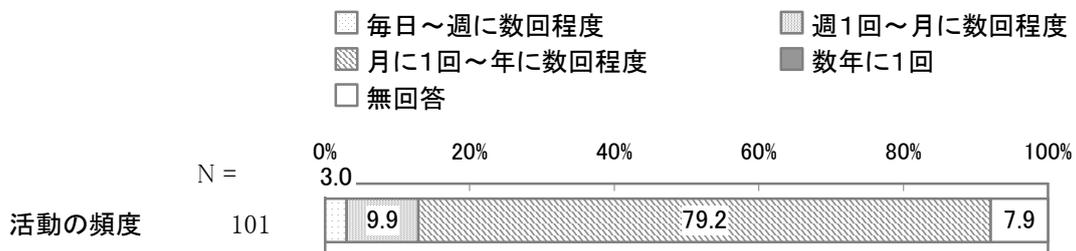
問8 町内会では下記の①から⑪までの活動を行っていますか。また、活動の頻度、参加者数、共に活動している団体について、番号でお答えください。

### ① 地域美化活動（清掃活動、リサイクル活動など）

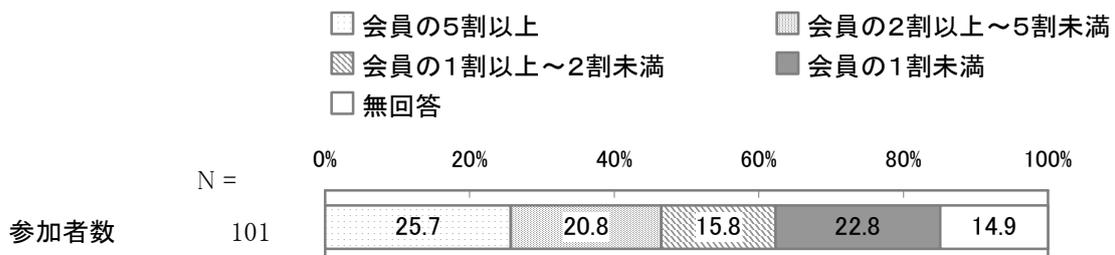
活動については、「行っている」の割合が62.3%、「行っていない」の割合が32.7%となっています。



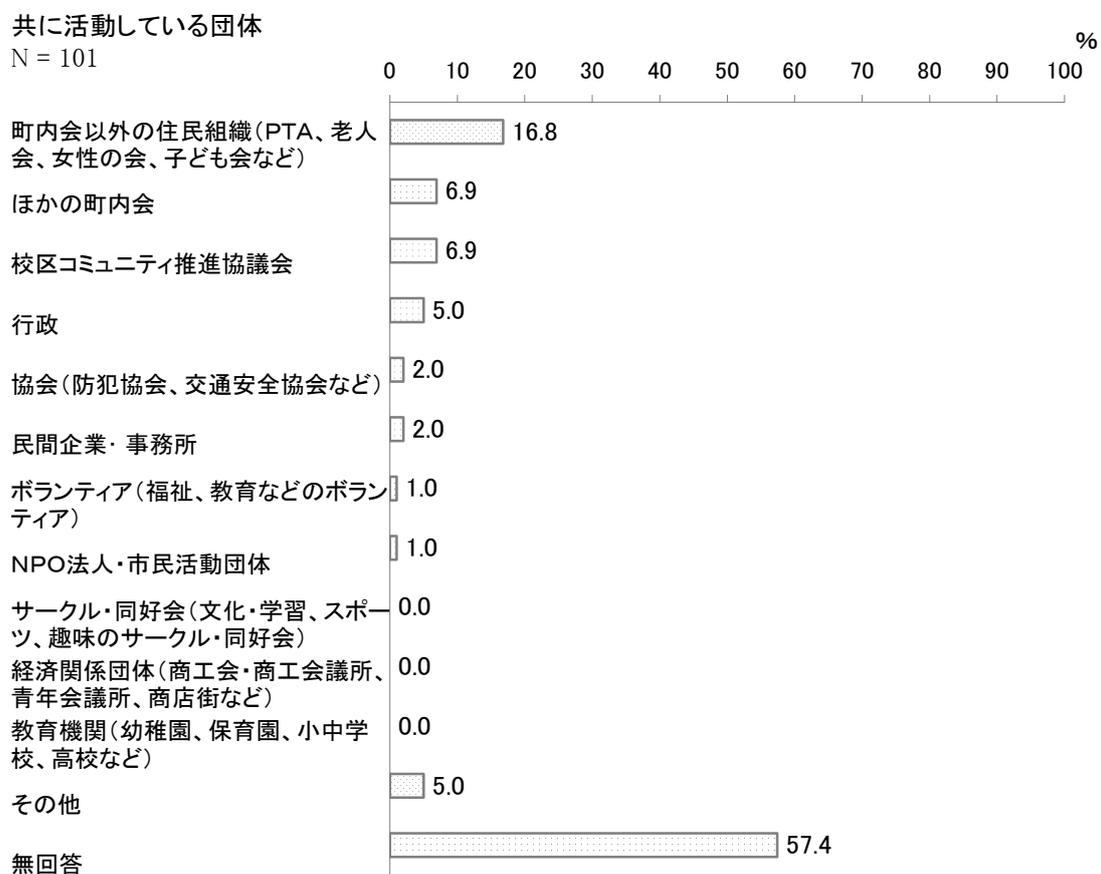
活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が79.2%と最も高く、次いで「週1回～月に数回程度」の割合が9.9%、「毎日～週に数回程度」の割合が3.0%となっています。



参加者数は、「会員の5割以上」の割合が25.7%と最も高く、次いで「会員の1割未満」の割合が22.8%、「会員の2割以上～5割未満」の割合が20.8%となっています。

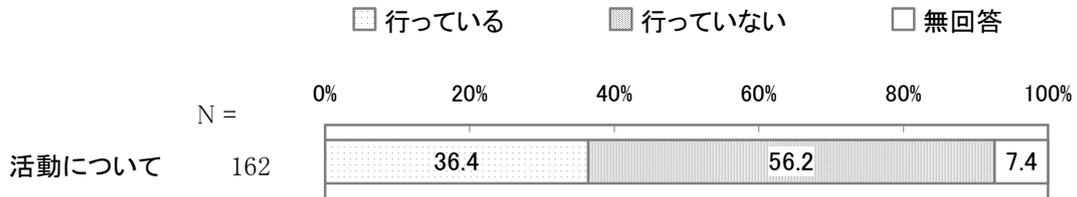


共に活動している団体は、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が16.8%と最も高く、次いで「ほかの町内会」「校区コミュニティ推進協議会」の割合が6.9%、「行政」の割合が5.0%となっています。

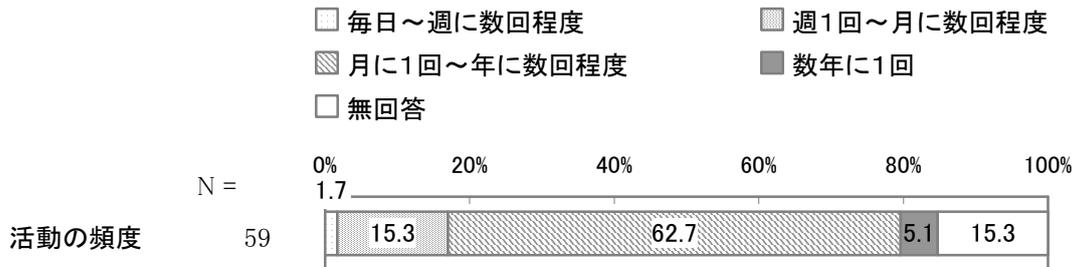


② 交通安全推進活動（交通安全教室など）

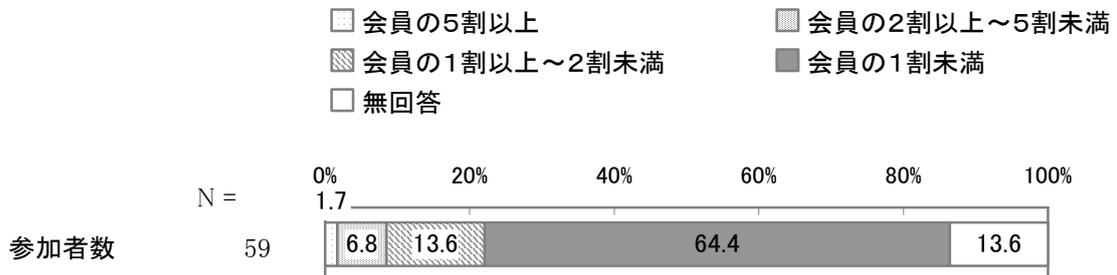
活動については、「行っている」の割合が 36.4%、「行っていない」の割合が 56.2%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「週1回～月に数回程度」の割合が 15.3%、「数年に1回」の割合が 5.1%となっています。



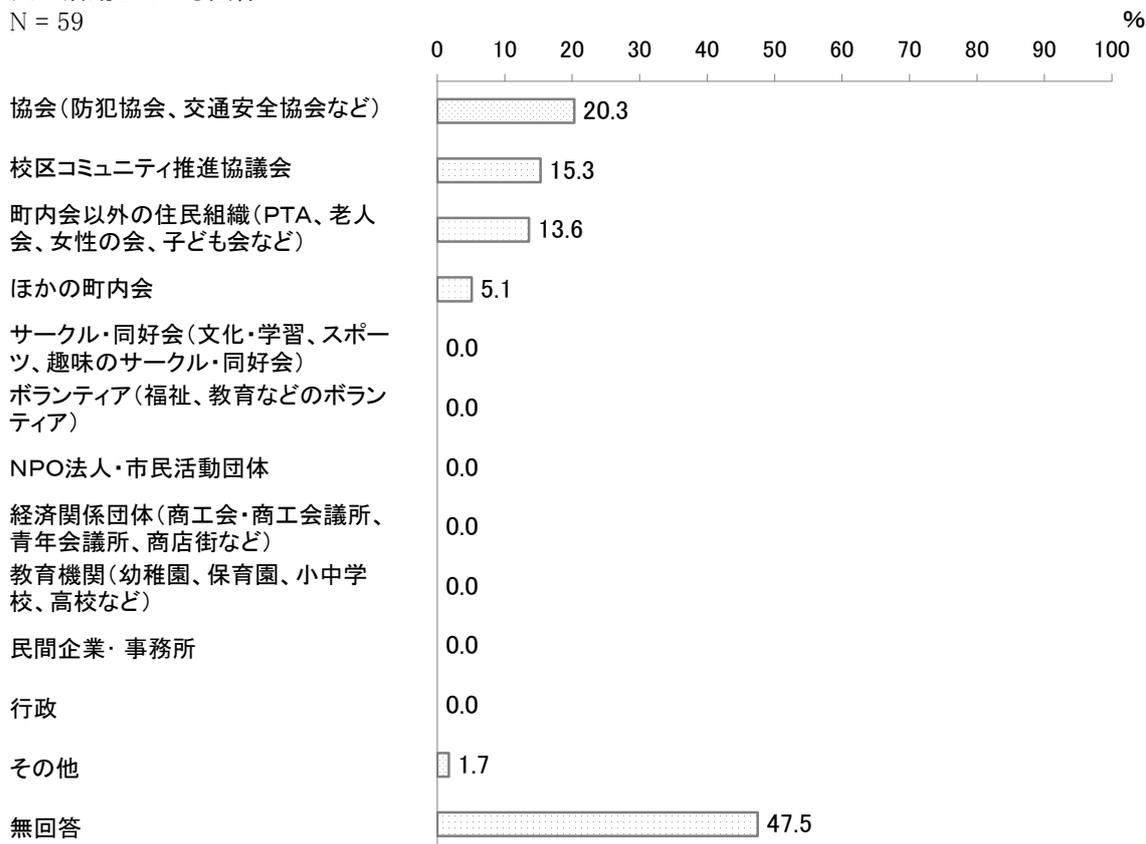
参加者数は、「会員の1割未満」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「会員の1割以上～2割未満」の割合が 13.6%、「会員の2割以上～5割未満」の割合が 6.8%となっています。



共に活動している団体は、「協会（防犯協会、交通安全協会など）」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「校区コミュニティ推進協議会」の割合が 15.3%、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が 13.6%となっています。

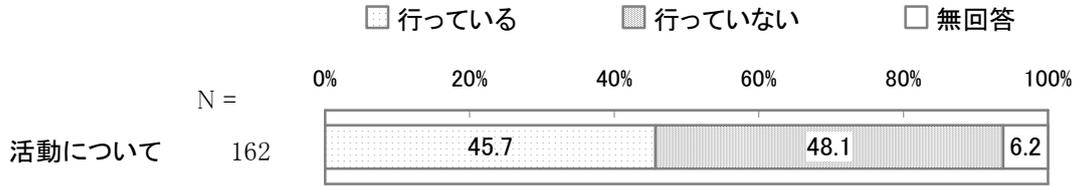
### 共に活動している団体

N = 59

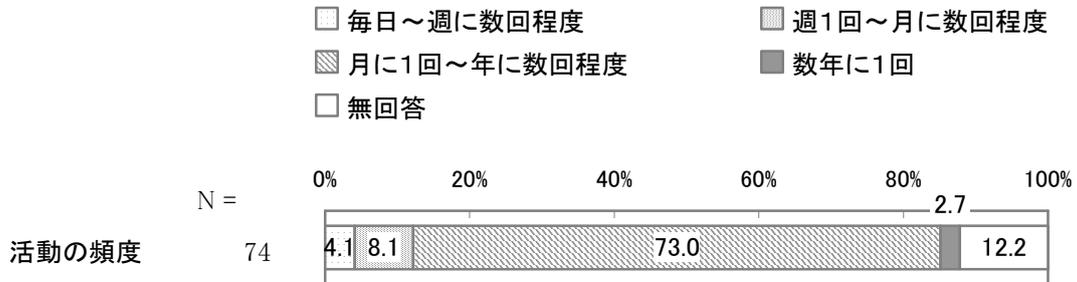


### ③ 犯罪防止活動（防犯パトロールなど）

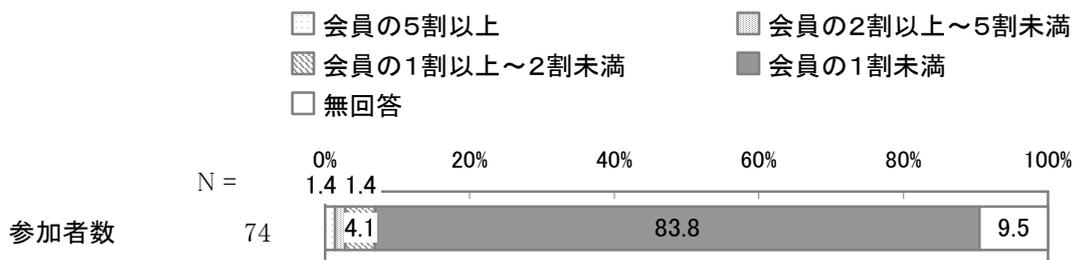
活動については、「行っていない」の割合が48.1%、「行っている」の割合が45.7%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が73.0%と最も高く、次いで「週1回～月に数回程度」の割合が8.1%、「毎日～週に数回程度」の割合が4.1%となっています。



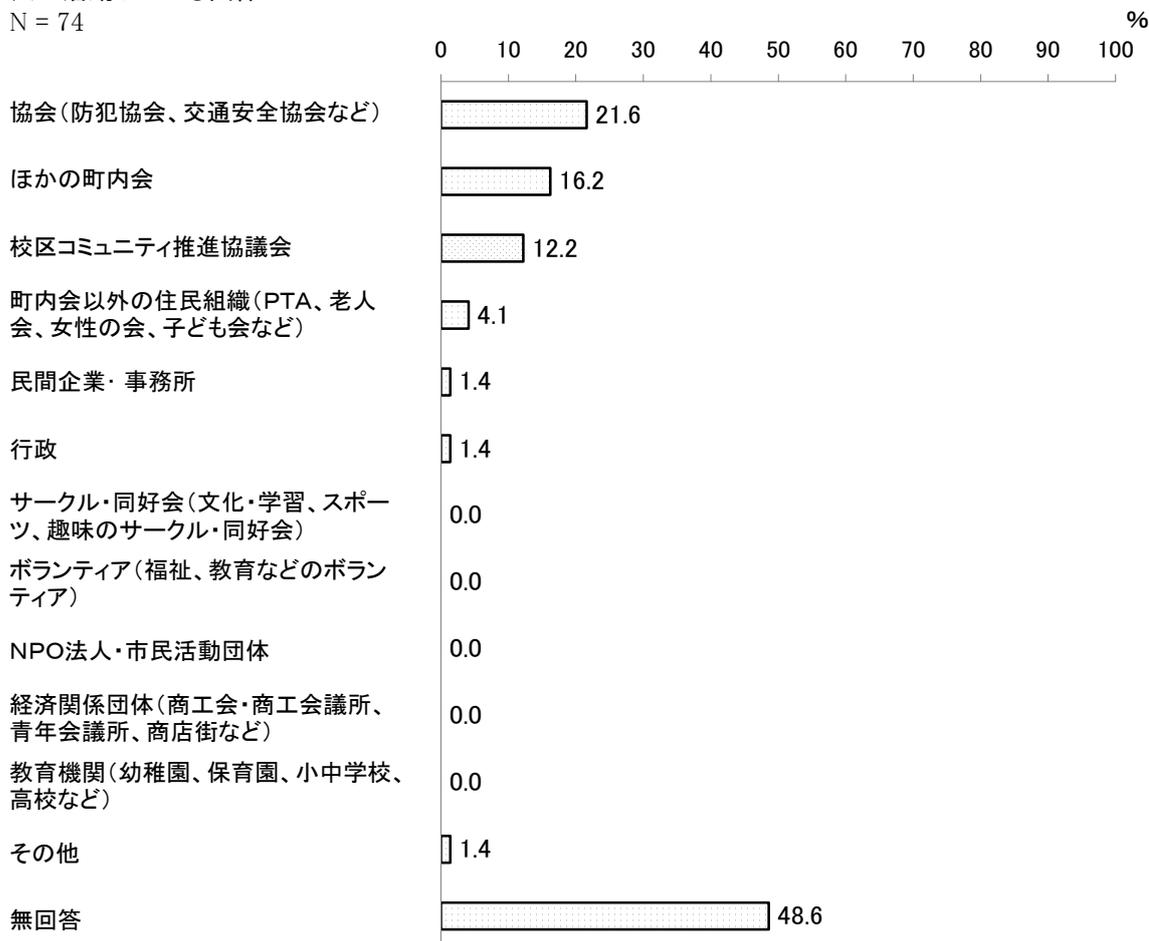
参加者数は、「会員の1割未満」の割合が83.8%と最も高く、次いで「会員の1割以上～2割未満」の割合が4.1%、「会員の5割以上」「会員の2割以上～5割未満」の割合が1.4%となっています。



共に活動している団体は、「協会（防犯協会、交通安全協会など）」の割合が 21.6%と最も高く、次いで「ほかの町内会」の割合が 16.2%、「校区コミュニティ推進協議会」の割合が 12.2%となっています。

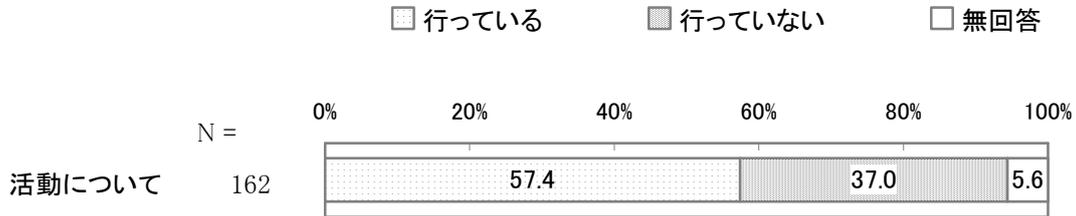
### 共に活動している団体

N = 74

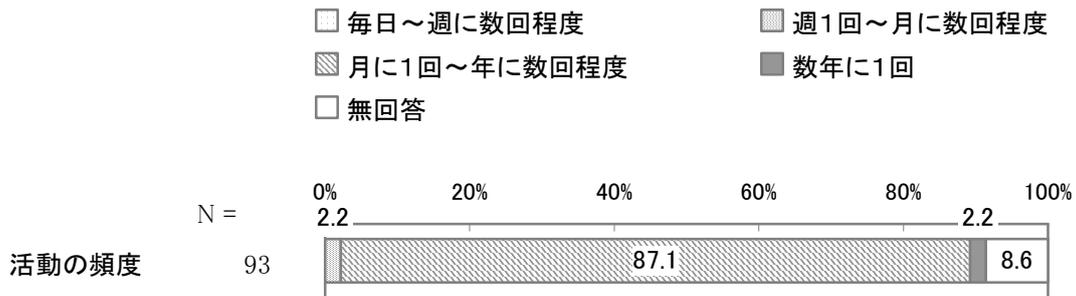


#### ④ 災害時の対策（防災訓練など）

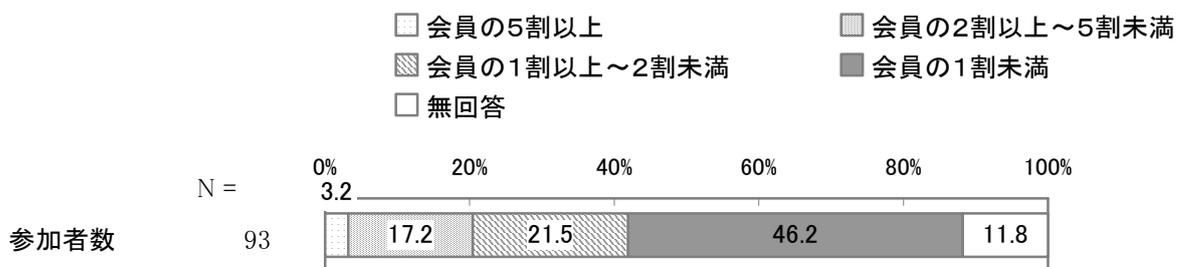
活動については、「行っている」の割合が 57.4%、「行っていない」の割合が 37.0%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が 87.1%と最も高く、次いで「週1回～月に数回程度」「数年に1回」の割合が 2.2%となっています。



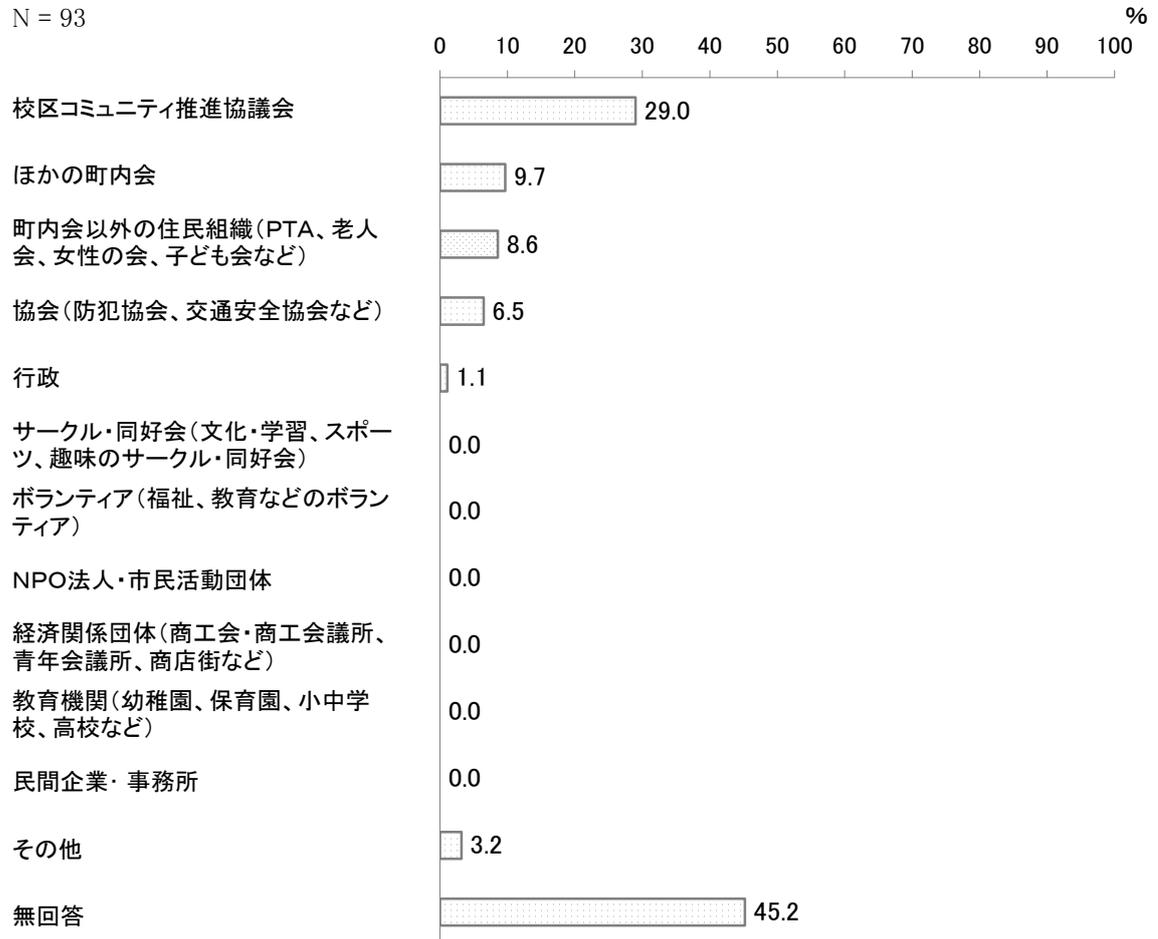
参加者数は、「会員の1割未満」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「会員の1割以上～2割未満」の割合が 21.5%、「会員の2割以上～5割未満」の割合が 17.2%となっています。



共に活動している団体は、「校区コミュニティ推進協議会」の割合が29.0%と最も高く、次いで「ほかの町内会」の割合が9.7%、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が8.6%となっています。

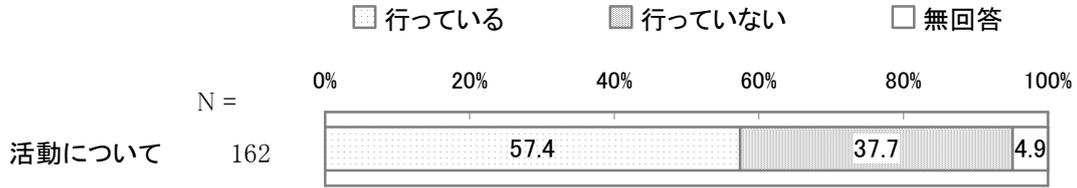
共に活動している団体

N = 93

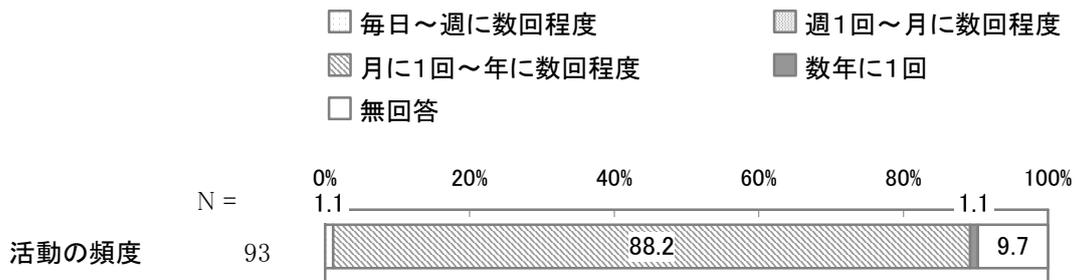


### ⑤ 親睦の行事

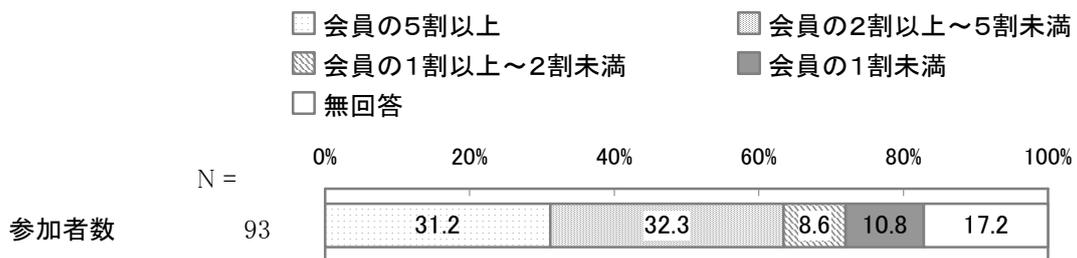
活動については、「行っている」の割合が 57.4%、「行っていない」の割合が 37.7%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「毎日～週に数回程度」「数年に1回」の割合が 1.1%となっています。



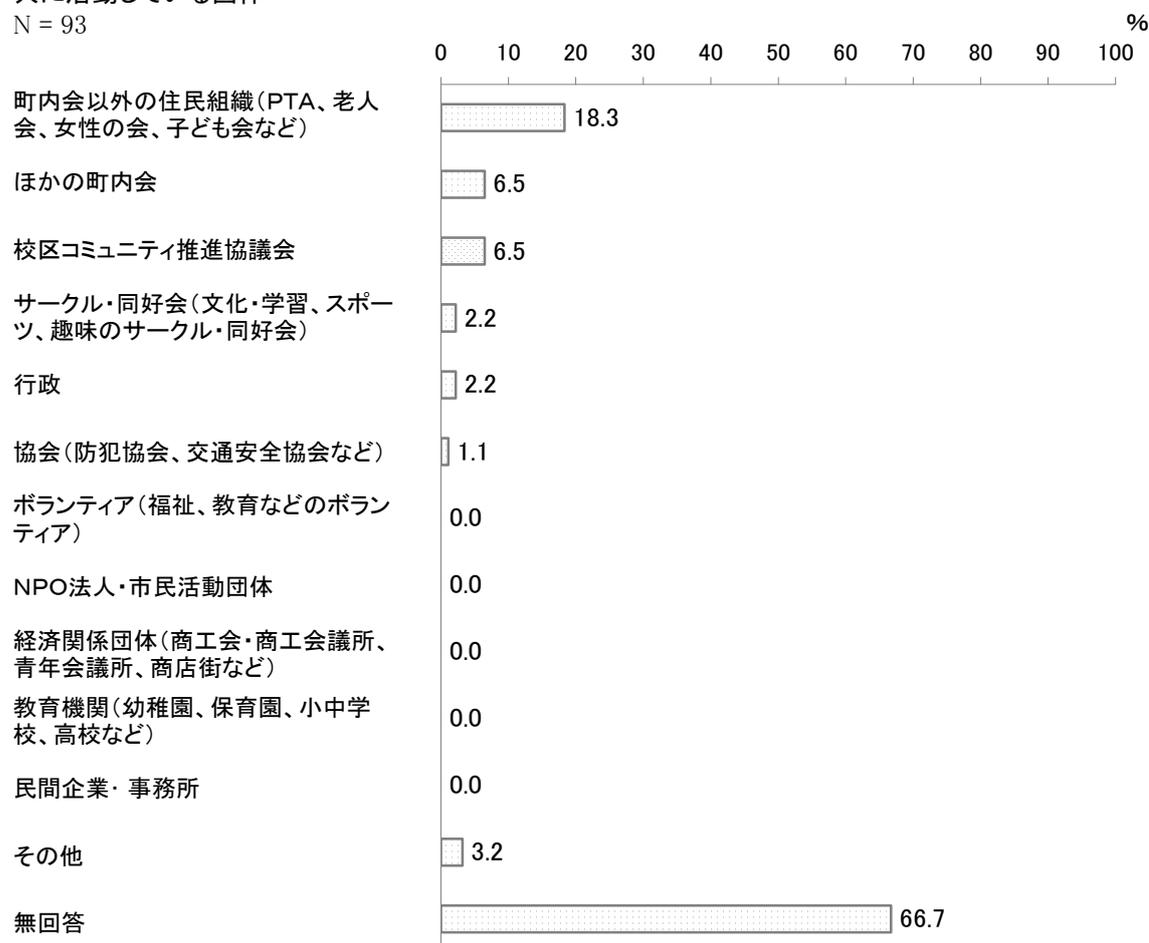
参加者数は、「会員の2割以上～5割未満」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「会員の5割以上」の割合が 31.2%、「会員の1割未満」の割合が 10.8%となっています。



共に活動している団体は、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「ほかの町内会」「校区コミュニティ推進協議会」の割合が 6.5%、「サークル・同好会（文化・学習、スポーツ、趣味のサークル・同好会）」「行政」の割合が 2.2%となっています。

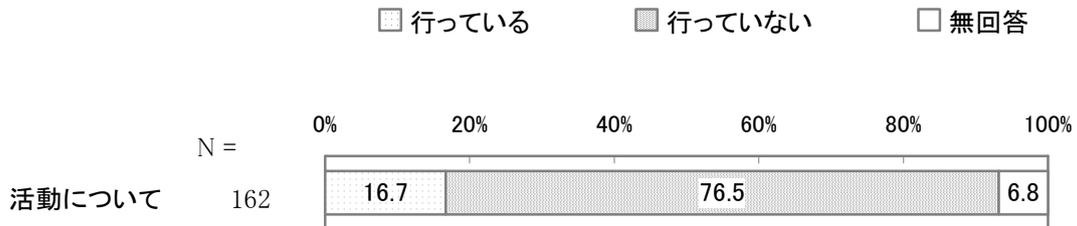
### 共に活動している団体

N = 93

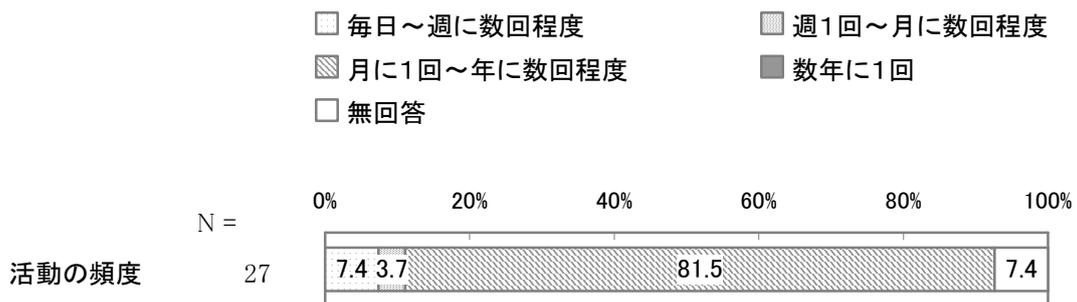


⑥ スポーツ、レクリエーション活動（ウォーキング、グラウンドゴルフ大会など）

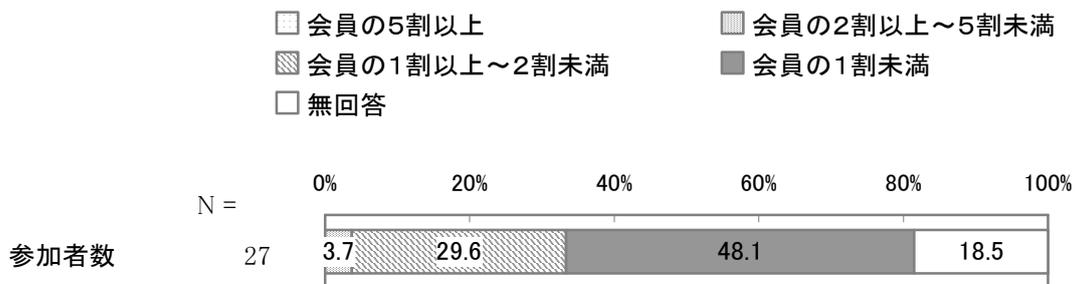
活動については、「行っている」の割合が 16.7%、「行っていない」の割合が 76.5%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「毎日～週に数回程度」の割合が 7.4%、「週1回～月に数回程度」の割合が 3.7%となっています。



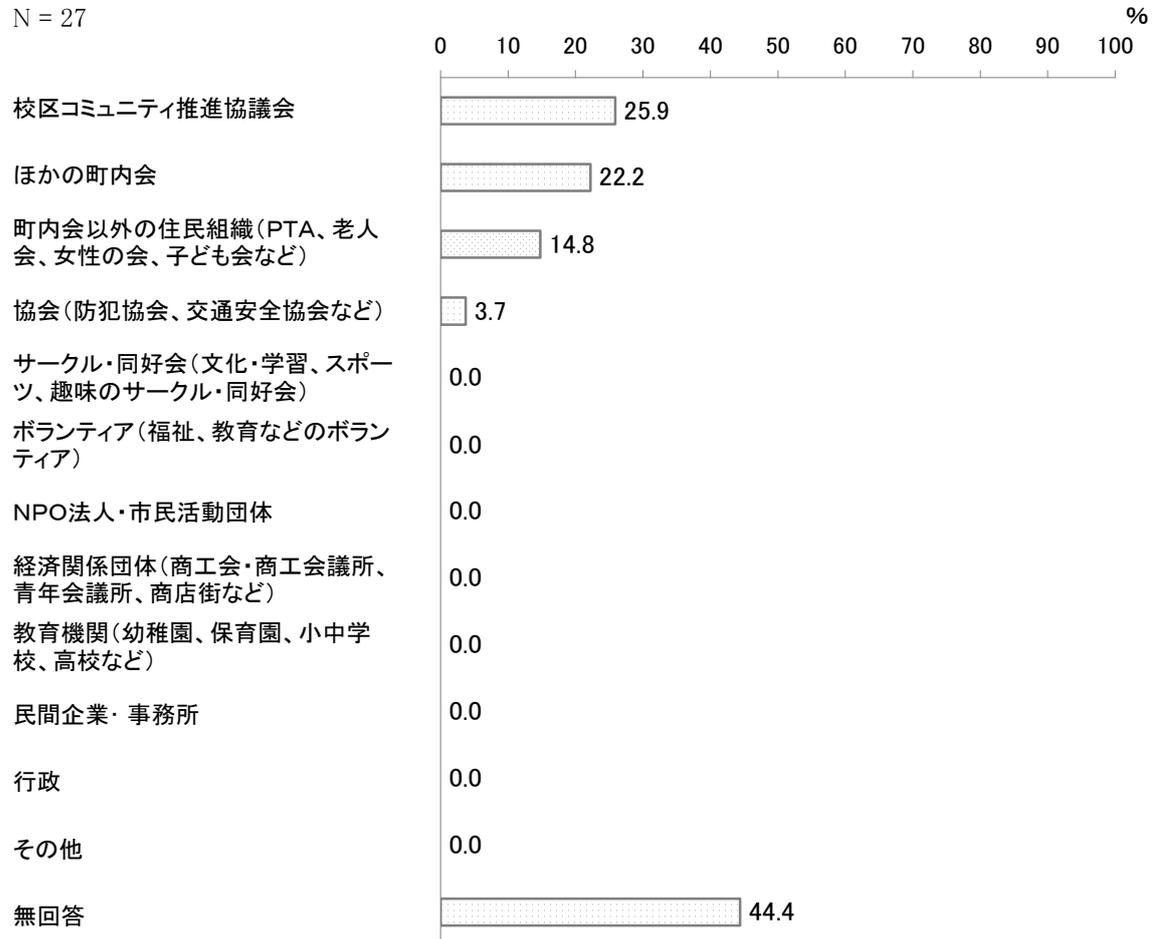
参加者数は、「会員の1割未満」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「会員の1割以上～2割未満」の割合が 29.6%、「会員の2割以上～5割未満」の割合が 3.7%となっています。



共に活動している団体は、「校区コミュニティ推進協議会」の割合が25.9%と最も高く、次いで「ほかの町内会」の割合が22.2%、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が14.8%となっています。

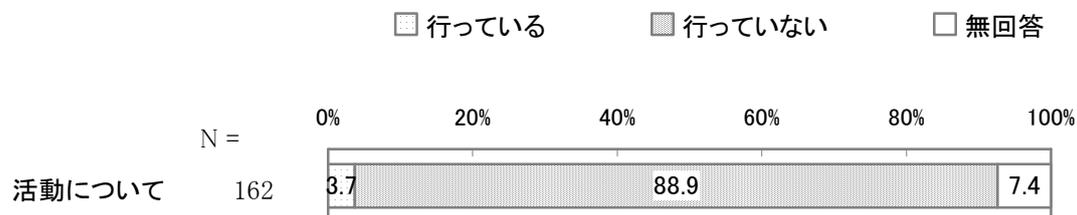
#### 共に活動している団体

N = 27



⑦ 芸術、文化活動（文化祭など）

活動については、「行っている」の割合が 3.7%、「行っていない」の割合が 88.9%となっています。



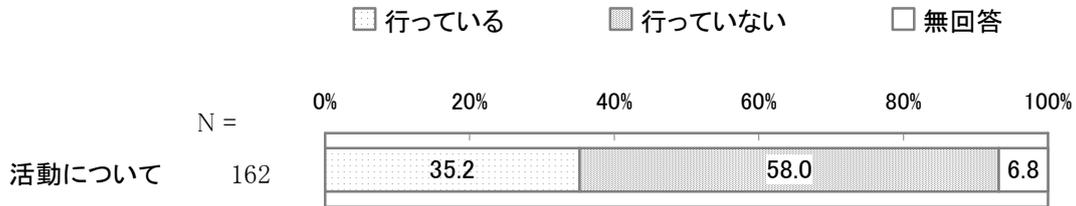
活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」が4件と最も高く、次いで「週1回～月に数回程度」「数年に1回」がそれぞれ1件となっています。

参加者数は、「会員の2割以上～5割未満」が3件、「会員の1割未満」が2件となっています。

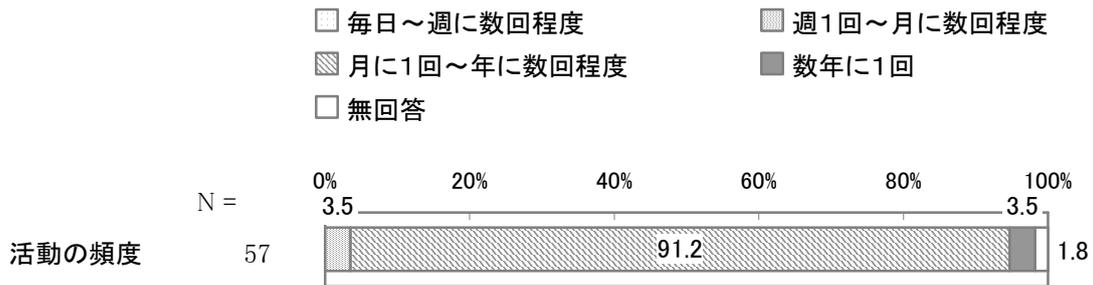
共に活動している団体は、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」「サークル・同好会（文化・学習、スポーツ、趣味のサークル・同好会）」「NPO法人・市民活動団体」「校区コミュニティ推進協議会」がそれぞれ1件となっています。

⑧ 祭りや伝統芸能などの維持保存活動

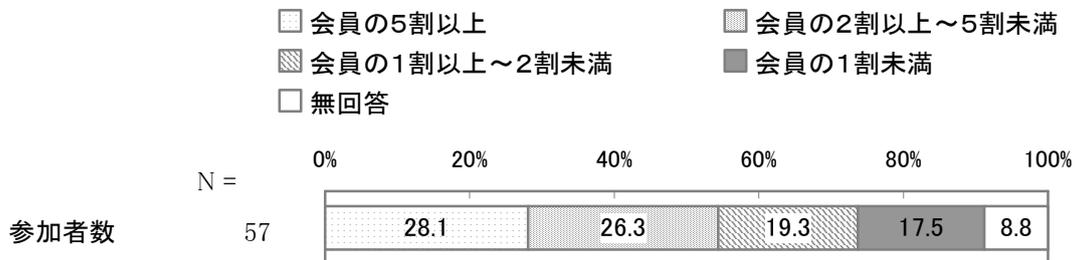
活動については、「行っている」の割合が 35.2%、「行っていない」の割合が 58.0%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が 91.2%と最も高く、次いで「週1回～月に数回程度」「数年に1回」の割合が 3.5%となっています。



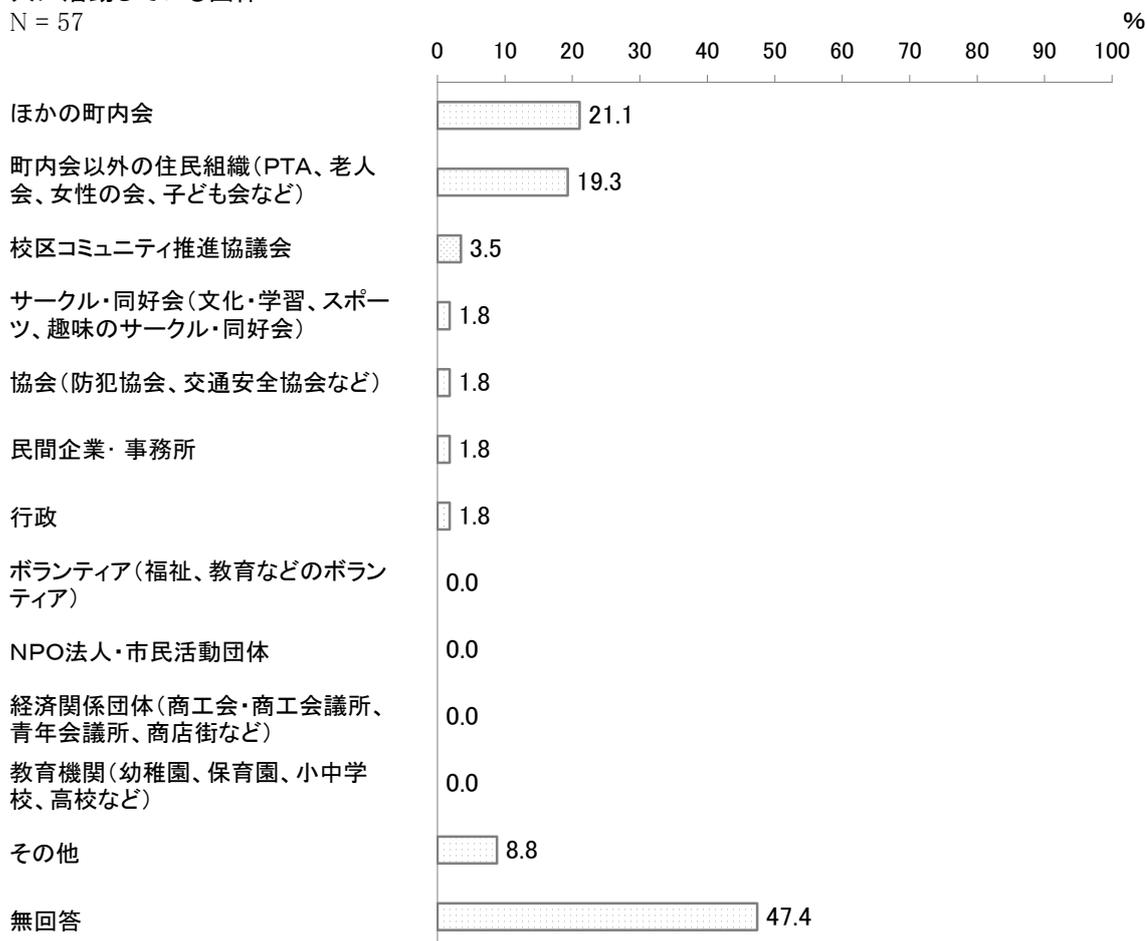
参加者数は、「会員の5割以上」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「会員の2割以上～5割未満」の割合が 26.3%、「会員の1割以上～2割未満」の割合が 19.3%となっています。



共に活動している団体は、「ほかの町内会」の割合が21.1%と最も高く、次いで「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が19.3%、「校区コミュニティ推進協議会」の割合が3.5%となっています。

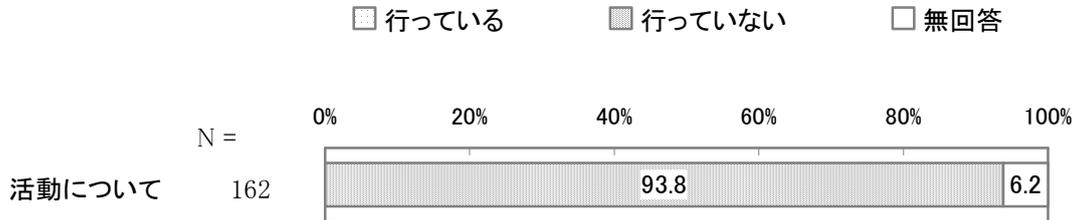
共に活動している団体

N = 57



⑨ 子育て活動（子育てサロン、乳幼児保育など）

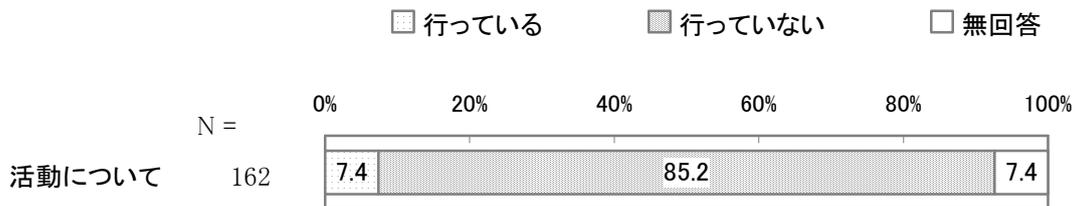
活動については、「行っていない」の割合が93.8%となっています。



活動の頻度、参加者数、共に活動している団体については、回答はありませんでした。

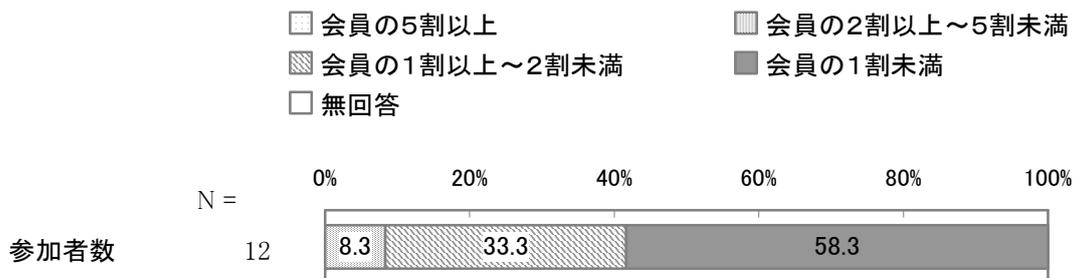
⑩ 地域福祉活動（独居老人の訪問、老人と子どもとの交流など）

活動については、「行っている」の割合が7.4%、「行っていない」の割合が85.2%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」が12件となっています。

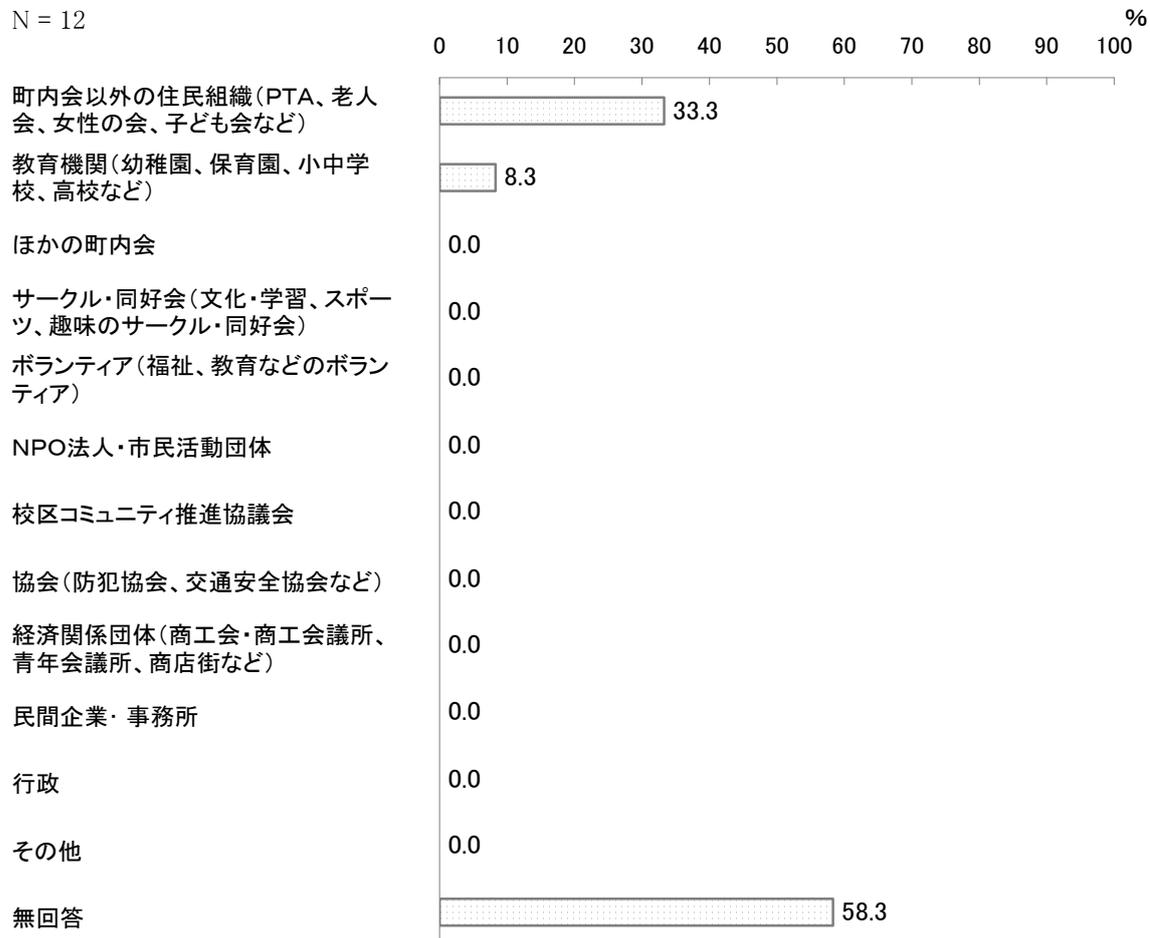
参加者数は、「会員の1割未満」の割合が58.3%と最も高く、次いで「会員の1割以上～2割未満」の割合が33.3%、「会員の2割以上～5割未満」の割合が8.3%となっています。



共に活動している団体は、「町内会以外の住民組織（PTA、老人会、女性の会、子ども会など）」の割合が33.3%、「教育機関（幼稚園、保育園、小中学校、高校など）」の割合が8.3%となっています。

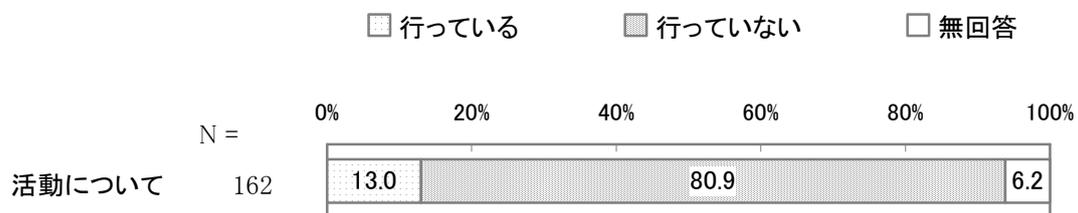
### 共に活動している団体

N = 12

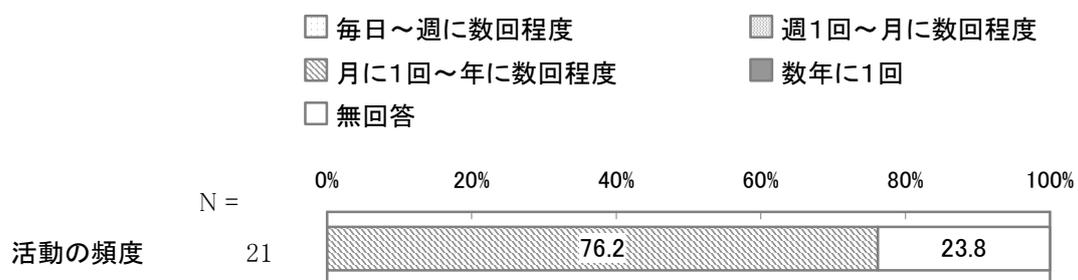


### ⑪ 町内会「会報」の発行

活動については、「行っている」の割合が13.0%、「行っていない」の割合が80.9%となっています。



活動の頻度は、「月に1回～年に数回程度」の割合が76.2%となっています。



問9 特に力をいれている活動や、ユニークな活動があったら教えてください。

## 総括

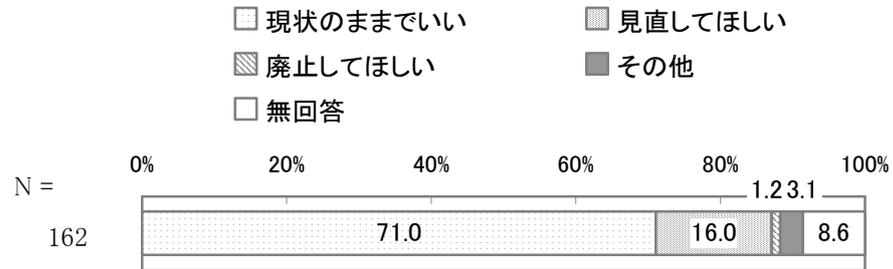
「環境美化、清掃」や「神事、祭り」「子供会と敬老会の親睦」などの活動において力をいれている自治会が多くなっています。

《アンケート結果》（特にユニークな事例にアンダーラインを記しました）

環境美化、清掃（6件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通し毎週日曜日に班の順番に公民館清掃を行っている</li> <li>・春と秋に町内一斉清掃を実施している</li> <li>・年6回のいこいの家の掃除</li> </ul>
神事、祭り（6件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新開神楽太鼓の保存、伝承のため、7月～9月毎週1回子どもを中心に練習会を実施</li> <li>・尾張津島の秋祭りに参加（山車）している</li> <li>・隣接する別自治会の子ども会と共に毎年1回秋祭りを開催</li> </ul>
子供会と敬老会の親睦（5件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会と敬老会とのコミュニケーションの向上化</li> <li>・<u>老人会を中心として子供を対象に竹とんぼ、紙ひこうき、凧揚げ大会を町内会の予算内で支援し開催</u></li> </ul>
町内行事、年寄り表彰見守りパトロール（3件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜のパトロール。<u>毎日高齢者の見守り活動</u></li> <li>・<u>70才になった人へのプレゼント</u></li> </ul>
防災整備防犯対策（3件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理組合と共に災害備蓄倉庫の運用</li> <li>・通学路の（穴、アスファルトと側道部分のくずれなど）見廻りと防犯灯の点検及び設置要望</li> </ul>
あいさつ運動（2件）	
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>通学路での「あいさつ」運動</u>を早朝及び帰校時に役員や役員OB、地元住民の方が率先して行っている</li> </ul>

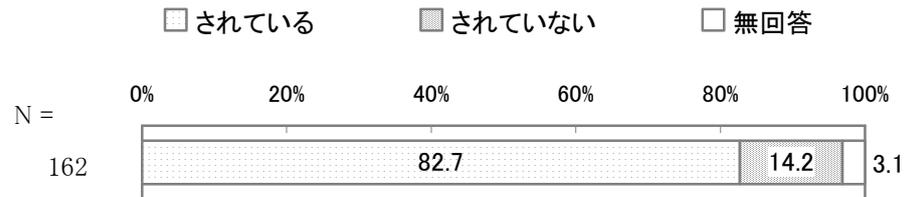
問 10 町内会業務助成金について、どう思いますか。(〇は1つだけ)

「現状のままでいい」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「見直してほしい」の割合が 16.0%、「廃止してほしい」の割合が 1.2%となっています。



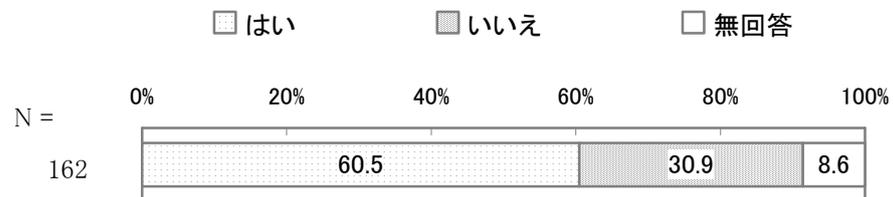
問 11 助成金は、町内会の会計に入金（収入）されていますか。(〇は1つだけ)

「されている」の割合が 82.7%、「されていない」の割合が 14.2%となっています。



問 12 町内会として、役員や囑託員に報酬を支払っていますか。(〇は1つだけ)

「はい」の割合が 60.5%、「いいえ」の割合が 30.9%となっています。



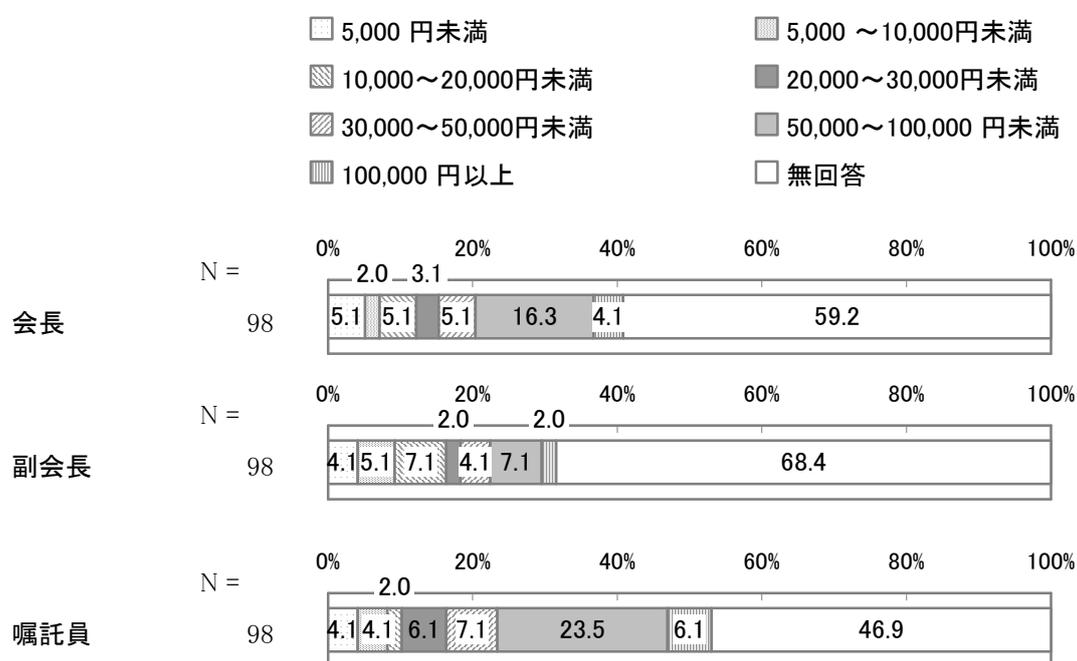
問 12 で「はい」と回答された方にお聞きします。

**問 12-1 報酬は年額いくらですか。**

会長では、「50,000～100,000 円未満」の割合が 16.3%と最も高く、次いで「5,000 円未満」「10,000～20,000 円未満」「30,000～50,000 円未満」の割合が 5.1%となっています。

副会長では、「10,000～20,000 円未満」「50,000～100,000 円未満」の割合が 7.1%と最も高く、次いで「5,000～10,000 円未満」の割合が 5.1%となっています。

嘱託員では、「50,000～100,000 円未満」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「30,000～50,000 円未満」の割合が 7.1%、「20,000～30,000 円未満」「100,000 円以上」の割合が 6.1%となっています。





問 14 町内会の運営について、工夫していることや、成果が上がったことなどがあれば、教えてください。

## 総 括

町内会を運営していくためには、課題や問題点がありますが、各町内会はさまざまな工夫をしています。

「班長、役員について」は、できるだけ多くの町民に役員を経験してもらうための工夫などが行われています。

また、「情報の伝達、業務のマニュアル化」については、文書などをデータとして残し、引き継ぎを行いやすくする工夫などを実施している町内会もあります。

このような、さまざまな取り組みを、行政は他の町内会などに周知し、各町内会が運営しやすい取り組みを支援していくことが必要であると考えられます。

《アンケート結果》 （特に工夫している事例にアンダーラインを記しました）

班長、役員について（12件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの町民に役員を経験してもらうため、3役を経験したら5年間は役員を免除している</li> <li>・役員の65才での定年制</li> <li>・<u>毎年役員の交代ができるように業務を簡素化している</u>。役員をすることにより、町内の状況が分かる</li> </ul>
運営について・老人会と子供会等（12件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率を高くするため<u>役員だけではなく、子ども会及び防災委員に協力を依頼</u></li> <li>・役員の経験者が老人会の役員を引き受けて、町内行事を一部共有し協力</li> <li>・子ども会と役員とが情報を密にして協力</li> </ul>
情報の伝達、業務のマニュアル化（11件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引継ぎ書類を累積し、マニュアル化していくことでできるだけ輪番のデメリットをなくす</li> <li>・<u>班を2つ合わせて組とし、2班に一人の組長体制とすることで輪番の周期を遅くした</u></li> <li>・<u>次期役員に参加を呼びかけ、ノウハウを伝える仕組づくりをしている</u></li> <li>・班長の役割を重視し各班からの情報（葬式、防犯灯の玉切れ、事故）等を連絡してもらうようにしている</li> </ul>
環境美化ゴミゼロ全員参加（4件）	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>子ども会、生活改善グループ、老人会が参加する共催行事を行う</u></li> <li>・<u>ごみ出し場所に班長が立ち分別出しができていないか経験をさせており、分別出しが浸透する等の成果があった</u></li> </ul>

## 会則、規約について（2件）

### 意見

- ・町内会の規約を現状に即した内容に改正した
- ・年間行事を会則で決めている

#### ④ 今後の活動について（町内会長が回答）

問 15 どのような活動を、今後していきたいと考えていますか。

### 総 括

多くの町内会では「町内会の運営」について考えています。  
 町内会独自の活動を増やしていくことや、子ども会や老人クラブなどの育成によって町内会を活性化していくことなどを考えています。  
 また、「防犯、災害対策」や「環境美化運動」「伝統行事、祭りの維持」などの活動を実施していきたいと考えています。

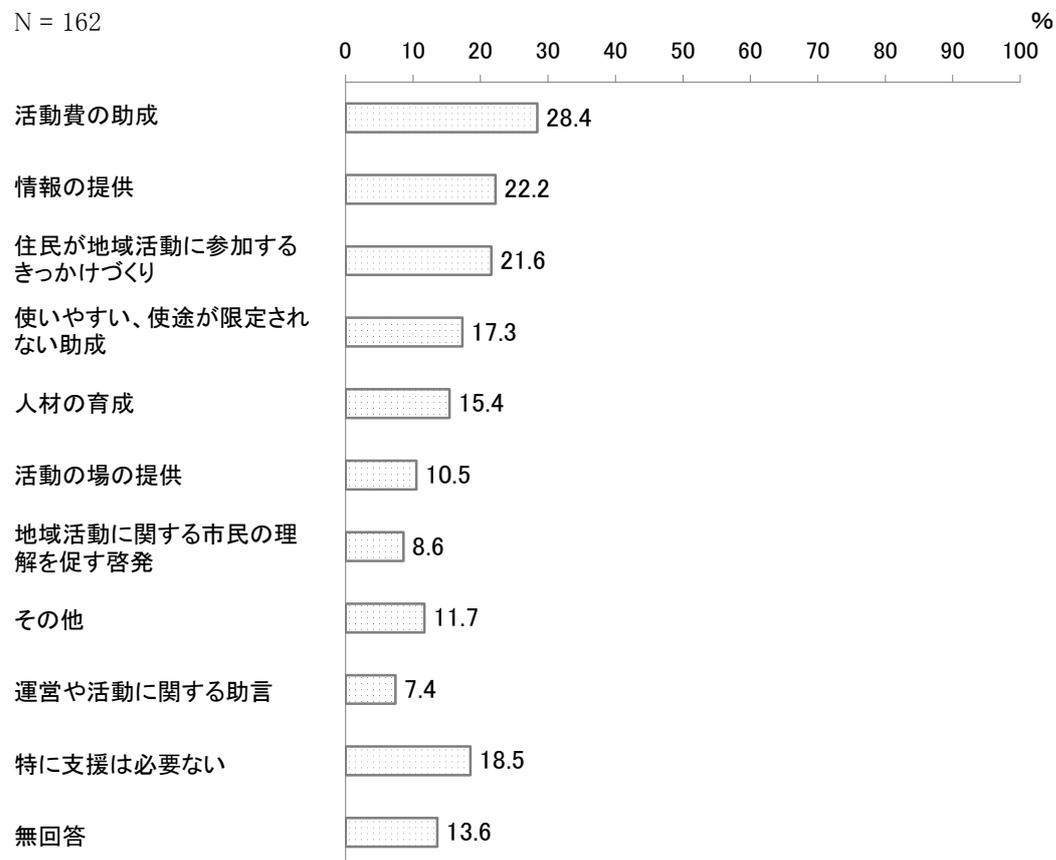
#### 《アンケート結果》

町内会運営について（15件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会所有のいつも使える集会所ほしい</li> <li>・今後自治会、独自の活動を増やしてマニュアルを作りたい</li> <li>・子ども会、老人クラブを育成することで町内会の活性化は始めていきたい</li> </ul>	活動の拠点の整備や地域の団体の育成が必要と考えています。
防犯、災害対策について（10件）		地域の住民情報を把握することで地域の運営に活かしていきたいと考えています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、障がい者のいる要支援世帯の把握と見守りの強化</li> <li>・災害等の万一の場合に町内会で助け合うために住民情報を把握</li> </ul>	
現状維持（9件）		/
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族とふれあう時間を大事にしたいので、役員等の町内の仕事の負担が増えないようにしたい</li> <li>・役員だけでなく住民の参加を多くすることを考えたい</li> </ul>	
環境美化運動（7件）		地域の清掃活動を継続的に行っていくことでの活性化を考えています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動を年に2回実施しているが清掃活動に絡めた何かの別の運動を若干増やしたい</li> <li>・ごみゼロの運動を今後も継続して取り組んでいきたい</li> </ul>	
伝統行事、秋祭りの維持（6件）		まつり等の伝統行事について地域だけでなく、市全体で考えていく必要があると思われます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の町内行事（町内神明社秋祭りの神楽奉納、地藏盆祭り）が将来世代まで継続できる制度の設定</li> <li>・山車祭を維持していく事は小さな町内にとっては負担が大きいが何とか努力していきたい</li> <li>・将来的には市全体で何らか根本的な維持方法を考えることが必要</li> </ul>	
親睦深める行事企画（5件）		高齢社会にあった行事を考えていく必要があると思われます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が病気や引きこもりにならないように温泉等の外でのレクリエーションが時々出来れば良い</li> <li>・毎年役員が変わり親睦は秋祭りのみの状態であるので、いきがいクラブで何か行事を立ち上げたい</li> </ul>	

問 16 あなたの町内会の活動を、さらに充実させるために、行政に対して、どのような支援を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

「活動費の助成」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「情報の提供」の割合が 22.2%、「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」の割合が 21.6%となっています。

N = 162

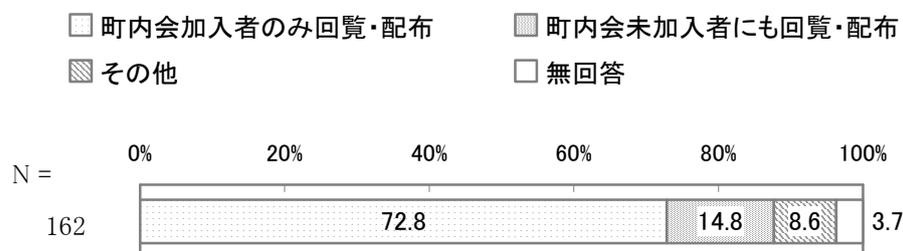


その他意見として、「地域を支える機関を充実させること」「マップづくり参加」などがありました。

## ⑤ 広報紙等の配布について（嘱託員が回答）

問 17 どのように広報紙等の配布や回覧をしていますか。（○は1つだけ）

「町内会加入者のみ回覧・配布」の割合が 72.8%、「町内会未加入者にも回覧・配布」の割合が 14.8%となっています。



問 18 広報紙等の配布や回覧について、困ったことがあれば記入ください。

### 総 括

広報紙等の配布や回覧について、困っていることとして、「配布方法」があがっています。配布には、嘱託員を介していますが、仕分け作業が大変であることや留守家庭が多いことなどが問題点としてあがっています。また、「回覧、チラシ数が多い」ことなどもあがっています。

今後、自治会や嘱託員の問題点や課題を把握し、これらを解決していくための方法を検討していくことが必要です。

### 《アンケート結果》

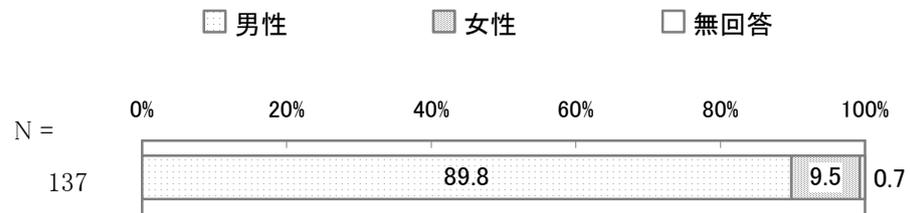
配布方法について（15件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嘱託がアパート全戸に広報等の配布を行っているため負担が大きい。アパートに班長を作って欲しい</li> <li>・ 不在の班長さんが多く、またポストも小さいため配布物が入らず何回も訪問する事がある</li> <li>・ 市からの配布物が多く、それを町内の班分に仕訳しなければならぬ分滞留してしまう</li> </ul>	行政からの配布物の多さに嘱託員の負担感が高まっています。
配布物について（12件）		広報等の配布日を早める対策が必要と思われます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布する数日前に広報が欲しい</li> <li>・ 数日前でも世帯数が変わった場合は部数の変更の対応をしてほしい</li> <li>・ 現在の回覧板は右側で用紙をはさみ込む形式なので、市からの配布物も上部右側をとじるように統一してほしい</li> <li>・ 配布を一度にまとめて行いたいので各関係機関まとめて届けてほしい</li> </ul>	

<b>回覧、チラシ数が多い（８件）</b>		行政からの配布物の多さに問題があります。本当に必要な文書かどうかの選別が必要と思われる。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく配布するものが多く各班に区別する時間が２～３時間かかり、それをさらに２回にわけて各班に配布している</li> <li>・広報紙以外のチラシ類等が多すぎる。行政側は配布する事でアリバイ作りにはなると思うがゴミを増やしている感じが強い。まとめて編集するなり、市政のひろばを活用するなりしてほしい</li> </ul>	
<b>掲示板の問題（３件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示場所が危険である</li> <li>・掲示板へのはり出しは反応が少なく感じる</li> </ul>	
<b>文書内容について（３件）</b>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼文書等が入っている大封筒の無駄が多いと感じる</li> <li>・紙面の活字に制限があるかと思うが字を大きくしてほしい</li> </ul>	

## ⑥ 町内会長について

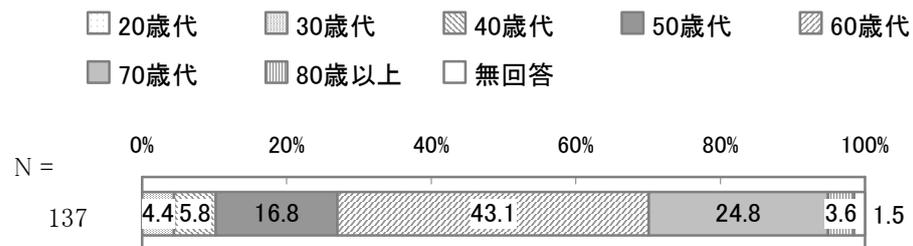
### 問 19 性別は（○は1つだけ）

「男性」の割合が89.8%、「女性」の割合が9.5%となっています。



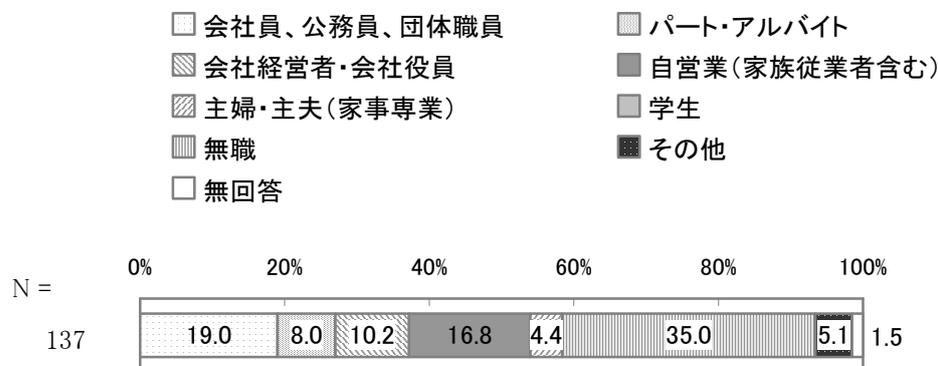
### 問 20 年齢は（10月1日現在）

「60歳代」の割合が43.1%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が24.8%、「50歳代」の割合が16.8%となっています。



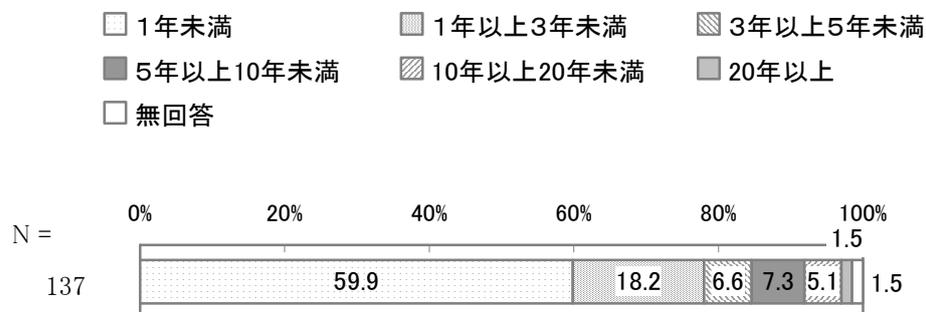
### 問 21 職業は（○は1つだけ）

「無職」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「会社員、公務員、団体職員」の割合が 19.0%、「自営業（家族従業者含む）」の割合が 16.8%となっています。



### 問 22 町内会長としての通算年数は（○は1つだけ）

「1年未満」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「1年以上3年未満」の割合が 18.2%、「5年以上10年未満」の割合が 7.3%となっています。



問 23 町内会の運営・活動について、思うこと・希望することがあれば記入してください。

### 総 括

思うこと・希望することとして組織のあり方や担い手についての意見が多くなっています。「町内会運営、組織」については、役員の担い手の問題や、引き継ぎなどの情報伝達の方法などが問題となっています。また、「嘱託員」についても、負担が大きいことや、仕事が忙しく、嘱託員のなり手がいないことなど今後、検討していく必要があります。

「地域コミュニティ」のあり方についても課題となっています。コミュニティの活動や行事のあり方を検討して、有効な地域コミュニティの活動を実施していくことが求められています。

#### 《アンケート結果》

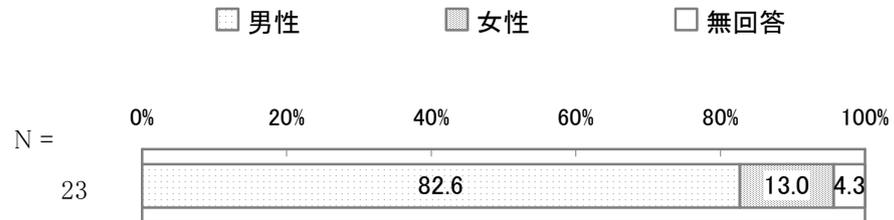
町内会運営、組織（13件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションを1つの独立した町内会としての扱いとなっているが、班として区別するような形のほうがやり易い</li> <li>・昔からの引継行事が多く、また一部の方の影響で組織のまとめが難しく役員の引受者の選任に苦慮している</li> <li>・市で嘱託員にはこの仕事をお願いしたい等の会議をしてほしい</li> </ul>	町内会全体をまとめたり、役員の引継ぎ事項に苦慮しているようです。
参加者が少ない（7件）		少子高齢化や地域活動への関心の低さに苦慮しているようです。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は行っていたが、参加者が少ないのでやめたと言う活動が多々あり啓蒙や宣伝に努めているが町民の関心が低い</li> <li>・高齢化、世帯の減少により活動が停滞しており町内会の合併等の必要性を感じる</li> </ul>	
嘱託員について（7件）		制度上の問題や業務が負担であるとの問題が挙げられました。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託員は2年間程で交代するのが理想だと思う</li> <li>・校区コミュニティができて嘱託員の負担がふえた</li> <li>・嘱託員では責任の重さを感じられないので「町内会長」として呼称への統一化を希望</li> </ul>	
地域コミュニティについて（5件）		各町内会単位をコミュニティとして組織化する意見や現在のコミュニティにおける問題点が述べられてします。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から当町内にはコミュニティ事業が数多くあり、そこに校区単位のコミュニティ事業が数多く入ってくるならばいずれかを止めなければならなくなる。行政が考える程コミュニティは単純なものではなく基本は各町内のコミュニティと考えるべきだと思う</li> <li>・現在の町内会やコミュニティ活動は、行政の便利屋として利用されているにすぎない。これでは町内会（コミュニティ）の自立は期待できない</li> </ul>	

<b>行政の取り組みについて（５件）</b>		行政からの財政的補助を期待する意見が述べられています。
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの助成金または、補助金が支出されれば、それだけ活発すると思う。自主財源のみでは、最低の活動となる</li> <li>・老人ばかりで活動するよりも補助する方法をどうするかが問題</li> </ul>	
<b>防災防犯対策（３件）</b>		/
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会と個人とは別と思われる方が多いがこれからは災害が起こった場合に仲間意識を持って行動できる町内にしたい</li> <li>・青塚駅から神守までの県道は、通学者や通勤者が多いわりに暗くて狭いので道路拡幅と街灯の設置を希望</li> </ul>	
<b>環境美化対策（３件）</b>		/
<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの出し方マニュアルや毎月会報などで知らせているが一向によくないので講習会など設けてほしい</li> <li>・町内の田畑に比較的大きな廃プラや壊れた電化製品を放置していくケースが多発し、大変苦慮している</li> </ul>	

## ⑦ 嘱託員について

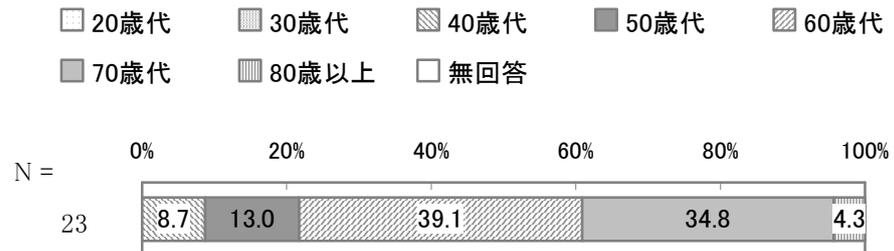
### 問 24 性別は（○は1つだけ）

「男性」の割合が82.6%、「女性」の割合が13.0%となっています。



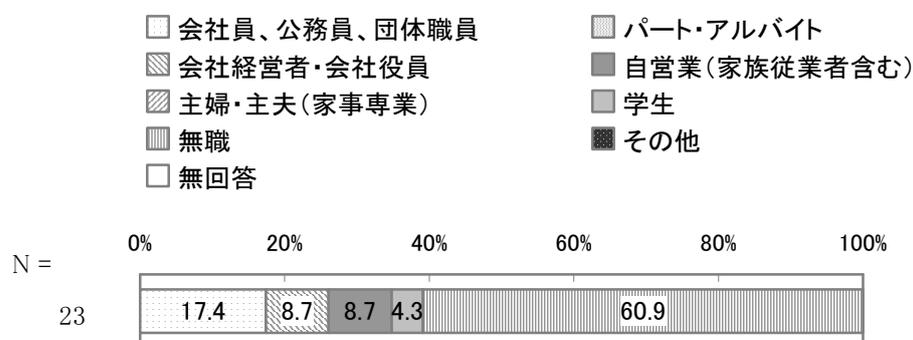
### 問 25 年齢は（10月1日現在）

「60歳代」の割合が39.1%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が34.8%、「50歳代」の割合が13.0%となっています。



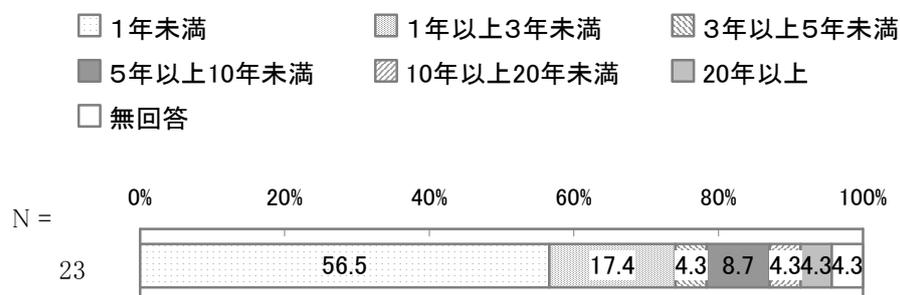
### 問 26 職業は (○は1つだけ)

「無職」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「会社員、公務員、団体職員」の割合が 17.4%、「会社経営者・会社役員」「自営業 (家族従業者含む)」の割合が 8.7%となっています。



### 問 27 嘱託員としての通算年数は (○は1つだけ)

「1年未満」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「1年以上3年未満」の割合が 17.4%、「5年以上10年未満」の割合が 8.7%となっています。



問 28 嘱託員制度について、思うこと・希望することがあれば記入してください。

### 総 括

思うこと・希望することとして、「役員の輪番制について」の意見があがっています。嘱託員が毎年変わることにより、引き継ぎがうまくいっていないことや、高齢者が嘱託員となることのむずかしさなどが問題となっています。

今後、それぞれの地域にあった嘱託員制度のあり方や役員の担い手について検討をしていくことが必要であると考えられます。

#### 《アンケート結果》

嘱託員について（9件）		考 察
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長、嘱託員の名称を一本化されたい</li> <li>・コミュニティにしる防災にしるメンバーは殆どが嘱託員のあて職であり、見た目の組織は立派だが中身は無しに等しい</li> <li>・今後は町内単位でのコミュニティ、防災体制の強化が必要では？</li> <li>・総会を1回にしてほしい。コミュニティ、消防団、自主防災会、交通安全協会と別れていても実質、同じような感じ</li> </ul>	嘱託員が地域や地区の役員を重複ことへの業務負担が問題点となっています。
行政の取り組みについて（6件）		津島市が嘱託員制度自体を見直す必要にせまられています。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託員は行政、コミュニティ、防災等々の下請人にされている。行政側の一方的な都合での”校区”を単位としたコミュニティで本当に今後発展すると考えているのであれば考え直してほしい</li> <li>・市長との意見交換会を実施するよう要望していたが嘱託員制度を続けるのであれば、嘱託員に対して説明会を開催すべきと思う</li> </ul>	
町内会活動について、（5件）		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの自主管理組合が、町内会以上の組織を持っているが一本化したほうがよいと思う。</li> <li>・募金などお金を集めることは個人の自由だと思うので嘱託員を通さず、希望者が公共の施設などで払う</li> </ul>	
役員の輪番制について（4件）		役員を1年交代とすることの問題点や引き継ぎ時の問題が挙げられました。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当町内は嘱託員、その他役員が定年退職されたメンバーで構成され、全ての事をやっていただいております理想的な制度だと思う</li> <li>・嘱託員制度は私の町内では十何年も前から改制したいとの意見があっても、良い案がなく、結局は当番に当たった者がやっている</li> <li>・嘱託が毎年かわり、また町内役員も毎年かわるので、引き継ぎがうまくいっていない。一定の期間は、同じ方がやれば、引き継ぎももっとスムーズにいくと思う（年配の方、若い世代の方、混ざっていた方がいいのでは？）</li> </ul>	

嘱託員報酬について（3件）	
<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託員、衛生委員の報酬については明文化されていて無報酬となっていますが有償にされたい</li> <li>・嘱託員制度がどのようにして津島市に生まれたのか知らないが、広報紙等の配布や、何か事が起こった時は、行政の手伝をする嘱託員が条例により無報酬である事に理解できない。現制度にたよらず、別の方法で広報紙の配布を考えてほしい</li> </ul>
	<p>行政の仕事を請け負ってやっているなので報酬制にしてほしいとの意見が出ました。</p>